

平成 26 年度

新居浜市の教育

平成 26 年度の計 画

平成 25 年度のあゆみ

新居浜市教育委員会

望ましき市民像

- 文化を尊重し、そのために貢献する創造的で教養ある市民
- すべての人々を敬愛するとともに、真理と正義にたって行動する市民
- 科学精神を身につけ、生活の合理化を図り、勤労にいそしむ市民
- 健康明朗で強い精神力を持ち、情操豊かな市民
- 社会の改良、公共の福祉に参加して、郷土の発展に努める市民

(市の教育方針として昭和29年4月教育委員会が策定)

めざす都市像

第五次新居浜市長期総合計画では、将来都市像を「— あかがねのまち、笑顔輝く — 産業・環境共生都市」と定め、次の4つの理念を基本にまちづくりを推進しています。

- 1 市民が安全・安心を実感できるまちづくり
- 2 市民、団体、事業者と行政が一体となったまちづくり
- 3 市民が郷土に誇りと愛着を持てるまちづくり
- 4 子どもたちの未来に責任が持てるまちづくり

目 次

平成26年度の計画	1
平成26年度教育基本方針	3
教育委員会の沿革	4
教育委員、歴代教育委員	8
教育委員会事務局組織図、職員数	10
事務局事務分掌	11
教育費歳出予算（目別、平成25・26年度当初予算）	12
年度別教育費歳出決算（目別、平成20～25年度）	13
社会教育課	
1 重点目標、最重要課題、重点事項	14
2 社会教育委員名簿、放課後児童クラブ一覧表	16
3 公民館等一覧表	17
4 公民館事業計画	18
青少年センター	
1 重点目標、課題	36
2 施設状況、地区別少年補導委員の状況	37
生涯学習センター	
1 重点目標、重点事項、施設状況	38
高齢者生きがい創造学園	
1 重点目標、事業、施設状況	39
学校教育課	
1 重点目標、めざす子ども像、スローガン、最重要課題、重点事項	40
2 新居浜市教育研究所の概要	42
3 学校教育計画資料	44
4 平成26年度児童・生徒・園児・教職員数	46
5 学校等一覧	50
6 通学区域	54
7 園児・児童・生徒数の推移（平成21～30年度）	56
8 中学校卒業者の進路状況	57
発達支援課	
1 重点目標、最重要課題、重点事項	58
2 発達支援システムイメージ図	60
学校給食課	
1 重点目標、重点事項、施設状況	61
2 学校給食運営組織図	62
3 新居浜市学校給食の推移	63

スポーツ文化課	
1 重点目標、主要事業、課題	64
2 体育施設一覧表	65
3 教育施設一覧表	65
4 文化施設一覧表	66
5 国指定文化財	67
6 県指定文化財	67
7 市指定文化財	68
8 登録有形文化財	69
郷土美術館	
1 重点目標、主要事業、施設状況、資料の収集状況	70
2 平成26年度事業計画	71
広瀬歴史記念館	
1 重点目標、課題、施設状況	72
2 平成26年度事業計画	73
図書館	
1 基本方針、重点目標、重点事項、施設状況	74
2 蔵書冊数	75
平成25年度のあゆみ	77
教育委員会 の主な施策と実績	79
1 平成25年度決算額	79
2 主な施設の建設及び環境整備事業	82
社会教育課 の主な施策と実績	83
1 青少年を対象とした事業	83
2 家庭を対象とした事業	83
3 女性を対象とした事業	83
4 高齢者を対象とした事業	83
5 成人を対象とした事業	84
6 新規事業及び強化事業	84
7 別子ハイツ自然学習館の利用状況	84
8 学校体育施設開放の利用状況	85
9 公民館事業報告	86
新居浜公民館	86
口屋跡記念公民館	88
地域交流センター	90
金栄公民館	92
高津公民館	94
浮島公民館	96
惣開公民館	98
若宮公民館	100
垣生公民館	102
神郷公民館	104

多喜浜公民館	106
大島公民館	108
泉川公民館	110
中萩公民館	112
船木公民館	114
大生院公民館	116
角野公民館	118
別子山公民館	120
青少年センターの主な施策と実績	122
1 運営協議会	122
2 街頭補導	122
3 相談活動	122
4 関係機関・団体との連絡連携	123
5 青少年善行表彰	123
6 青少年健全育成の活動状況	123
生涯学習センターの主な施策と実績	124
1 生涯学習センター事業報告	124
2 生涯学習大学の開設	124
高齢者生きがい創造学園の主な施策と実績	125
1 高齢者生きがい創造学園事業報告	125
学校教育課の主な施策と実績	126
1 教職員研修の推進	127
2 教育研究所の歩み	128
3 適応指導教室(あすなろ教室)の歩み	129
4 教育における国際化への対応	129
5 中学生による国際交流事業	130
6 奨学金等	132
7 新居浜市寺尾音楽教育振興基金	134
8 新居浜市工藤交通災害遺児修学基金	135
9 就学援助制度	135
10 幼稚園就園奨励事業	136
11 私学助成	137
12 学校保健	137
13 学校体育活動の推進	138
14 人権・同和教育実践の状況	139
発達支援課の主な施策と実績	140
1 学校特別支援教育支援員の配置	140
2 就学指導委員会の開催状況	141
3 校区外自閉症・情緒障がい学級通学費補助	141
4 新居浜市地域発達支援協議会の開催状況	141
5 総合相談の実施状況	141
6 巡回相談の実施状況	142

7	早期療育通園事業(親子通園事業)の実施状況	142
8	講演会等の開催状況	143
9	発達障がい支援者のための実践セミナー	144
10	ソーシャルスキル支援事業	144
11	聴覚障がい児相談事業	145
12	特別支援教育就学奨励費	145
	学校給食課の主な施策と実績	146
1	学校給食の意義	146
2	学校給食の運営等	146
3	学校給食の充実等	146
4	主な主催行事	146
5	給食の状況	146
	スポーツ文化課の主な施策と実績	147
1	市民体育・スポーツの振興	147
2	市民体育振興事業	147
3	競技力向上事業	147
4	講習会・研修会事業	147
5	野外活動施設整備と運営	147
6	芸術文化活動	148
7	文化財の保存活用	148
8	体育文化施設の充実	148
9	総合文化施設建設計画	148
10	総合体育施設建設計画	148
11	総合型地域スポーツクラブ設立	148
12	公益財団法人新居浜市文化体育振興事業団	148
13	銅山の里自然の家利用状況	149
14	体育施設・文化施設年度別利用状況	149
15	平成25年度体育施設等月別利用状況	150
16	平成25年度月別利用状況(市民文化センター)	152
	郷土美術館の主な施策と実績	154
1	展示内容と開設教室	154
2	文化教室	155
	広瀬歴史記念館の主な施策と実績	156
1	展示内容等	156
2	資料の収集状況	156
3	平成25年度事業実績	156
4	平成25年度月別観覧者内訳	156
	図書館の主な施策と実績	157
1	図書館の利用状況	157
2	主な事業	158

平成 26 年度の計画

平成26年度 教育基本方針

すべての市民が、健康で心豊かな人間性を自ら
養い、個性を発揮できる教育の充実に努める。

- 1 誰もが学べる環境を整備し、生涯にわたる学習機会を提供する。
- 2 学びの成果を活かし、よりよい地域づくりを推進する。
- 3 家庭・学校・地域の連携の下、子どもたちの健全な育成を支える。
- 4 基本的な生活習慣や社会規範を身につける温かい家庭教育を進める。
- 5 開かれた特色ある学校づくりを推進し、「生きる力」・「確かな学力」を育む。
- 6 国際化、情報化、環境、防災、食育等現代的課題に対応する教育を進める。
- 7 子ども一人一人の教育的ニーズに応じた特別支援教育の充実に努める。
- 8 お互いを尊重し認め合う人権・同和教育を推進する。
- 9 自然を守り育て、郷土を学び愛する教育を進める。
- 10 伝統文化を保存・継承するとともに、芸術文化の香るまちづくりを推進する。
- 11 スポーツの振興を図り、市民の健康増進、体力・競技力向上に努める。

教育委員会の沿革

- 27年 4月 市庁舎落成
8月 「義務教育費国庫負担法」公布
11月 新居浜市教育委員会設置 新居浜市教育委員会事務局設置
- 28年 5月 神郷村・垣生村・多喜浜村・大島村合併
7月 「青少年問題協議会設置法」公布
12月 市営野球場設置
- 29年 6月 「へき地教育振興法」「学校給食法」公布
- 30年 3月 泉川町・中萩町・船木村・大生院村合併
泉川公民館・船木公民館設置
4月 社会教育委員会設置
6月 青年学級開校
- 31年 2月 大島公民館・惣開公民館設置
3月 「就学奨励援助法」公布
6月 「地方教育行政の組織及び運営に関する法律」公布
7月 「文化財保護条例」制定
12月 「幼稚園設置基準」告示 多喜浜公民館設置
- 32年 6月 川東支所開所
- 33年 4月 神郷公民館・高津公民館設置 教育研究所設置
「義務教育学校施設費国庫負担法」「学校保健法」公布
5月 「公立義務教育諸学校の学級編成及び教職員定数の標準に関する法律」公布
- 34年 4月 郷土館設置 角野町合併 王子幼稚園・神郷幼稚園設置
12月 「日本学校安全会法」公布
- 35年 4月 市立商業高等学校設置
10月 上部支所開所
- 36年 6月 「スポーツ振興法」公布
9月 大島地域・離島振興法適用
10月 中学校全国一斉学力テスト実施
- 37年 3月 「教科書無償法」公布
11月 市民文化センター設置 中央公民館設置
- 39年 1月 東予新産業都市指定
4月 記念会館設置 重量挙練習場設置 弓道場設置 武徳殿設置
奨学資金貸付基金条例制定
7月 青少年問題協議会設置 少年補導センター設置
- 40年 5月 勤労青少年ホーム設置
- 42年 3月 市樹“クスノキ” 市花“つつじ”制定
- 44年 7月 「同和対策事業特別措置法」公布
- 45年 4月 入学準備金貸付基金条例制定
10月 第1回市民体育祭開催（以後毎年開催） 口屋跡記念公民館設置
12月 山根市民グラウンド設置
- 46年 5月 「義務教育教員給与特別措置法」公布
7月 第1回憲法を暮らしに生かす市民の集い開催
10月 テニスコート設置
12月 特別奨学基金条例制定 スポーツ振興審議会設置
- 47年 4月 川東中学校開校（神郷中・垣生中・多喜浜中・大島中統合）
市民プール開設 体育施設建設基金設置 第一次長期総合計画策定

6月 社会教育指導員設置
 11月 市民憲章制定
 48年 4月 桃山学院短期大学開校 別子銅山休山
 49年 2月 「教員人材確保法」公布
 5月 市立学校体育施設開放
 8月 市民福社会館設置
 50年 4月 金子公民館設置 心身障害児就学指導委員会設置
 7月 「私立学校振興助成法」公布
 50年 8月 市立商業高校夏の高校野球で準優勝
 51年 3月 泉川公民館新築
 9月 身体障害者福祉センター設置 台風17号
 12月 青野記念奨学基金条例制定
 52年 7月 市民体育館設置
 54年 2月 中央児童センター設置
 6月 滝の宮トリム公園設置 角野公民館新築
 55年 3月 新庁舎落成 惣開公民館新築 船木公民館新築
 4月 第二次長期総合計画策定 生徒指導推進事務局設置 新設校推進臨時事務局設置
 10月 郷土美術館設置
 56年 3月 大島公民館新築
 4月 金栄公民館設置
 57年 4月 豊かな心を育てる施策推進モデル指定 若宮公民館・浮島公民館設置
 58年 4月 新居浜公民館設置
 59年 4月 青少年健全育成推進事務局設置
 12月 美術館建設推進臨時事務局設置
 60年 3月 新居浜市文化振興基金条例制定
 東中・中萩小・船木小校舎増改築
 中萩中プール増改築
 6月 市営野球場改築
 61年 2月 重量挙げ練習場改築 中萩小プール増改築
 3月 神郷公民館新築 生徒指導推進事務局廃止
 8月 財団法人新居浜市文化体育振興事業団設立
 62年 1月 中学校柔剣道場新築（～元年度）
 2月 新居浜小学校改築 東中体育館増改築
 3月 山根総合体育館設置 多喜浜公民館増改築
 63年 3月 船木中・泉川中・北中校舎改築 宮西小プール増改築
 10月 山根屋内プール完成
 11月 銅山の里自然の家新築
 元年 1月 角野中校舎増築
 3月 若宮小校舎改築 南中体育館増改築
 10月 寺尾音楽教育振興基金条例制定
 2年 2月 部室整備（中萩中・大生院中） 大生院中体育館増改築
 3月 プール増改築（新居浜小・惣開小） 垣生公民館新築
 桃山学院短期大学閉校 市立商業高校県立移管
 2年 4月 第三次長期総合計画策定
 3年 3月 船木中体育館増改築 泉川中体育館、屋上プール増改築
 部室整備（船木中・泉川中） 中萩公民館増改築 大島教育集会所新築
 4月 生涯学習センター設置

- 12月 パソコン教室設置（西・南・北中）
- 4年 2月 川東中部室整備
- 3月 金栄小体育館増改築 金子小プール増改築 口屋跡記念公民館改修
銅山の里自然の家集会所棟新築 別子銅山記念図書館住友より寄贈
- 4月 広瀬記念邸設置
- 5年 3月 大生院公民館増改築 文化振興会館改築
北中プール増改築 北中部室整備
パソコン教室設置（川東・東・船木・泉川・角野・中萩・大生院中）
- 4月 高齢者生きがい創造学園設置
- 6年 3月 部室整備（東中・西中・南中・角野中）
高津小プール増改築
- 7年 3月 高津公民館増改築
多喜浜小屋内運動場改築
泉川小プール増改築
船木小運動場造成
- 9月 小学校パソコン教室設置
- 8年 3月 若宮小プール改築
川東中屋内運動場大規模改造
- 9年 3月 広瀬歴史記念館完成
神郷小屋内運動場大規模改造
大島小プール新築
- 9月 生涯学習都市宣言制定
- 10年 2月 高津小北校舎大規模改造
- 10月 東中完全給食開始
- 11年 1月 心の教室整備（東中）
- 7月 市営サッカー場（グリーンフィールド新居浜）完成
- 8月 心の教室整備（中萩中、川東中）
- 10月 泉幸吉文庫開設（別子銅山記念図書館）
- 12年 3月 西中北校舎棟改築
男女共同参画都市宣言制定
- 4月 地方分権の推進を図るための関係法律の整備等に関する法律（地方分権一括法）施行
- 9月 心の教室整備（北中、泉川中）
- 13年 3月 学校給食センター完成
- 4月 西・南・北・船木・泉川・角野・中萩・川東中学校完全給食実施
船木小学校わかば分教室開設
船木中学校ひびき分校開校
- 6月 第四次長期総合計画策定
- 10月 心の教室整備（南中・角野中）
- 11月 西中南校舎棟外改築
- 14年 4月 学校週5日制の完全実施
- 15年 1月 心の教室整備（船木中・大生院中）
- 15年 3月 垣生小学校プール改築
- 4月 別子山村との合併により別子小学校、別子中学校、教職員住宅、別子山公民館、別子山ふるさと館、別子山市民プール、別子山市民グラウンドが加わる
総務課を廃止、同課の業務を社会教育課と学校教育課に移管
同和教育課を廃止、同課の業務と大島教育集会所を人権擁護課に移管
生涯学習センター、高齢者生きがい創造学園を市民活動推進課に移管

- 多喜浜体育館(旧勤労者体育センター)を商工観光課から体育文化課に移管
 新設校推進臨時事務局廃止
 視聴覚ライブラリー廃止
 教職員住宅保土野寮B棟焼失
- 6月 旧広瀬家住宅が国の重要文化財に指定
- 7月 泉川公民館新築
- 16年 3月 武徳殿 国の登録有形文化財登録
- 16年 台風の被害、避難所の設置
- 17年 1月～ 子ども見守り隊結成
- 3月 角野小学校プール改築
- 18年 3月 新居浜市伝える力を育てる教育特区(英語で話そう科・表現科)認定
- 9月 新居浜市こども夢未来基金創設
- 18年 耐震補強工事の実施
 (角野小・宮西小・高津小・若宮小・泉川小・惣開小・中萩小・浮島小) 体育館
- 19年 耐震補強工事の実施(金子小・大生院小・西中・川東中) 体育館
 (船木小・金子小・泉川小・中萩中) 校舎
- 20年 4月 発達支援準備室設置
 新居浜・西条地区広域市町村圏事務組合の解散により、同組合の施設「別子ハイツ自然学習館」が新居浜市に帰属
 地域主導型公民館へ移行(金子公・惣開公・若宮公・泉川公)
- 20年 耐震補強工事の実施(金栄小・中萩小・高津小・垣生小・東中) 校舎
- 21年 4月 発達支援課設置
 地域主導型公民館へ移行(新居浜公・金栄公)
- 21年 耐震補強工事の実施(角野小・神郷小・大生院小・惣開小・角野中・船木中・泉川中) 校舎
- 22年 4月 新居浜市地域交流センター設置(金子公民館廃止)
 地域主導型公民館へ移行(口屋跡記念公・高津公・浮島公・垣生公・神郷公・多喜浜公・船木公・大生院公)
- 10月 こども発達支援センター開所
- 22年 大規模改造工事の実施(神郷小・中萩小・角野小・別子小中・川東中) 校舎
 太陽光発電設備設置工事(新居浜小外26校)
- 23年 3月 北中学校体育館改築
- 4月 生涯学習センター、高齢者生きがい創造学園が市民活動推進課から移管
 放課後児童健全育成事業の移管
 地域主導型公民館へ移行(中萩公民館・角野公民館)
 第五次長期総合計画策定
 体育文化課を廃止、スポーツ文化課設置
 耐震補強工事の実施(多喜浜小・北中・角野中) 校舎
- 24年 3月 新居浜市神郷学習館及び垣生学習館を廃止
 大規模改造工事の実施(角野小) 校舎
 耐震補強工事の実施(宮西小・浮島小・南中) 校舎
- 25年 3月 神郷公民館駐車場を拡張
- 26年 アセットマネジメントにより、公民館施設環境整備事業で、公民館の外壁塗装(惣開公民館・若宮公民館・大生院公民館)、公民館の屋上防水(神郷公民館・大生院公民館体育館)、公民館のエアコン更新(若宮公民館・大生院公民館)を実施
 金栄小学校プール建設
 多喜浜体育館防水外壁改修を実施

教 育 委 員

職 名	氏 名	就 任 年 月 日	備 考
教 育 委 員 長	宮 内 文 久	平成23年12月24日	
教 育 委 員	長 野 美和子	平成23年12月24日	
教 育 委 員	三 木 由紀子	平成21年6月27日	
教 育 委 員	伊 藤 嘉 秀	平成22年12月24日	
教 育 長	阿 部 義 澄	平成14年4月1日	

歴 代 教 育 委 員

公選された教育委員

氏 名	就 任 年 月 日	離 任 年 月 日	備 考
小 野 基 道	昭和27年11月1日	昭和31年9月30日	初代教育委員長
大 場 英 雄	" 27年11月1日	" 31年9月30日	二、三代教育委員長
村 上 精 逸	" 27年11月1日	" 31年9月30日	四代教育委員長
加 藤 長 次	" 27年11月1日	" 30年4月22日	
青 野 重 馬	" 27年11月1日	" 30年4月22日	議会選出
黒 川 晋	" 30年5月2日	" 31年9月30日	
高須賀 佐太郎	" 30年5月2日	" 31年9月30日	議会選出

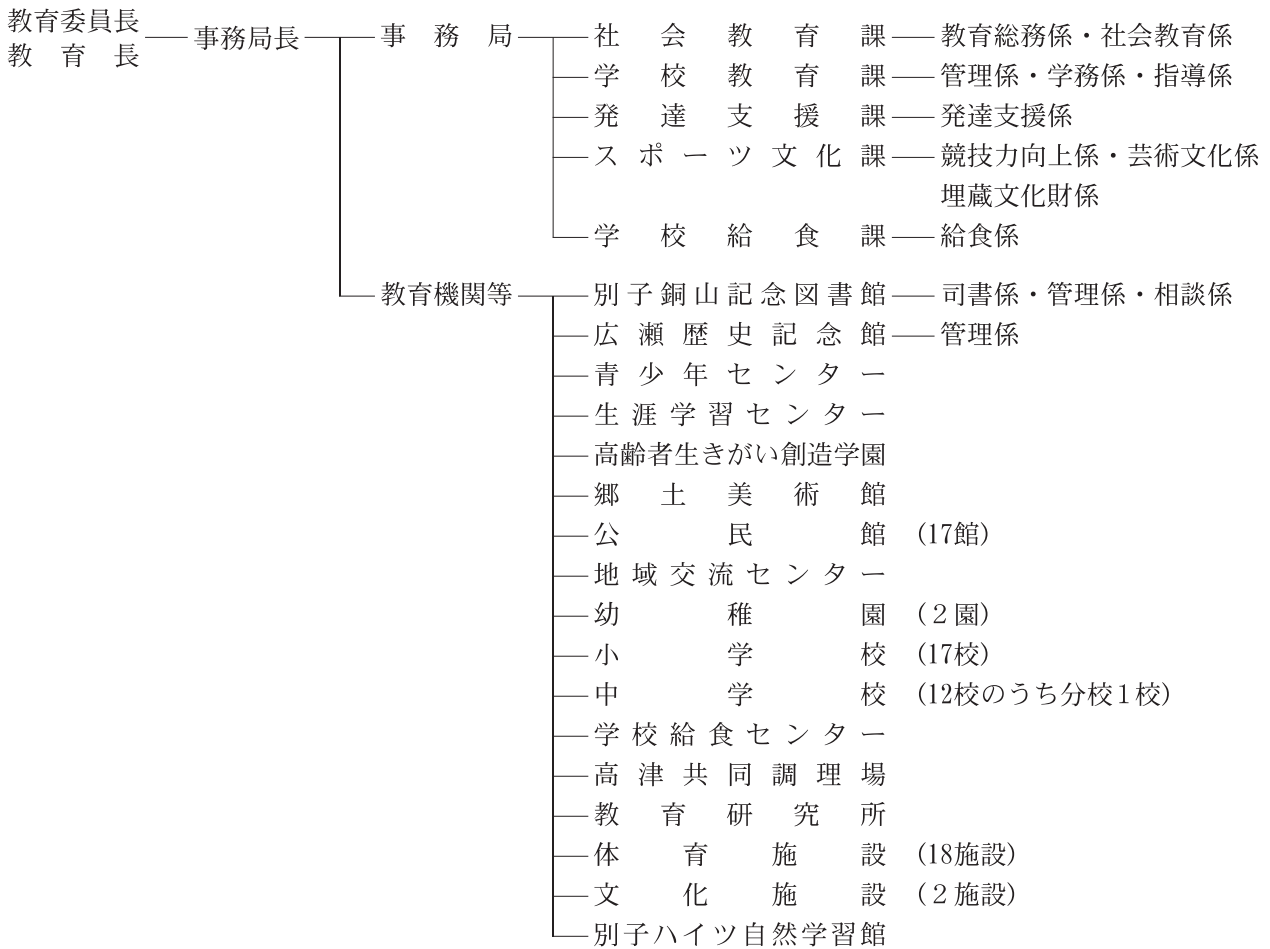
任命された教育委員

氏 名	就 任 年 月 日	離 任 年 月 日	備 考
大 場 英 雄	昭和31年10月1日	昭和33年9月30日	五代教育委員長
久 門 英 雄	" 31年10月1日	" 33年9月30日	六代 "
黒 川 晋	" 31年10月1日	" 33年9月30日	七代 "
三 浦 義 一	" 31年10月1日	" 35年9月30日	八代 "
加 藤 実	" 31年10月1日	" 39年7月10日	教育長を兼ねる
三 野 担	" 32年10月1日	" 34年4月3日	
高 橋 玉 置	" 33年10月1日	" 37年9月30日	九代教育委員長
永 井 伊三郎	" 34年10月20日	" 36年9月30日	
山 下 桂太郎	" 34年10月8日	" 38年10月7日	十代教育委員長
久 米 申	" 35年10月1日	" 39年9月30日	十一代教育委員長
亀 井 清太郎	" 36年11月1日	" 40年10月30日	十二代 "
神 野 一 郎	" 37年10月11日	" 41年10月10日	十三代 "
山 下 桂一郎	" 38年10月8日	" 42年10月7日	十四代 "
岡 本 悦 良	" 39年10月1日	" 43年9月30日	十五代 "
岡 虎 義	" 40年12月3日	" 44年12月2日	十六代 "
神 野 一 郎	" 41年10月11日	" 45年6月30日	十七代 "
栗 原 利得喜	" 41年10月11日	" 45年10月10日	教育長を兼ねる
藤 田 秀 朋	" 42年12月21日	" 46年12月20日	十八代教育委員長
近 藤 統 行	" 43年12月21日	" 47年2月21日	十九代 "
斉 藤 一	" 45年7月4日	" 49年7月3日	二十代 "
岡 虎 義	" 45年12月21日	" 49年12月20日	二十一代 "
藤 田 秀 朋	" 46年12月24日	" 50年12月23日	二十二代 "
村 上 哲 亮	" 46年8月1日	" 50年7月31日	教育長を兼ねる
神 野 忠 利	" 48年4月2日	" 52年4月1日	二十三代教育委員長

氏名	就任年月日	離任年月日	備考
藤田 凶南夫	昭和49年12月24日	昭和53年12月23日	二十四代教育委員長
藤田 秀朋	" 50年12月24日	" 54年12月23日	二十五代 "
坂口 勲	" 50年12月14日	" 54年12月23日	二十六代 "
村上 哲亮	" 51年3月18日	" 55年3月17日	教育長を兼ねる
神野 忠利	" 52年4月2日	" 56年4月1日	二十七代教育委員長
堀越 和衛	" 53年12月24日	" 57年12月23日	二十八代 "
印南 忠一	" 54年12月24日	" 58年12月23日	二十九代 "
坂口 勲	" 54年12月24日	" 58年12月23日	三十代 "
伊達 孝	" 55年3月26日	" 59年3月25日	教育長を兼ねる
大西 博臣	" 56年6月6日	" 60年6月5日	三十一代教育委員長
堀越 和衛	" 57年12月24日	" 61年12月23日	三十二代 "
印南 忠一	" 58年12月24日	" 62年12月23日	三十三代 "
坂口 勲	" 58年12月24日	" 62年12月23日	三十四代 "
伊達 孝	" 59年3月26日	" 63年3月25日	教育長を兼ねる
篠原 利光	" 60年6月6日	平成元年6月5日	三十五代教育委員長
守谷 照男	" 61年12月24日	" 2年12月23日	三十六代 "
千葉 文政	" 62年12月24日	" 3年12月23日	三十七代 "
田坂 富美子	" 62年12月24日	" 3年12月23日	三十八代 "
伊達 孝	" 63年3月26日	" 4年3月25日	教育長を兼ねる
篠原 利光	平成元年6月27日	" 5年6月26日	三十九代教育委員長
真鍋 栄	" 2年12月24日	" 6年12月23日	四十代 "
天野 征郎	" 3年12月24日	" 7年12月23日	四十一代 "
田坂 富美子	" 3年12月24日	" 7年12月23日	四十二代 "
渡邊 健	" 4年4月1日	" 8年3月31日	教育長を兼ねる
近藤 求	" 5年6月27日	" 9年6月26日	四十三代教育委員長
千葉 昭夫	" 6年12月24日	" 10年12月23日	四十四代 "
千葉 陽三	" 7年12月24日	" 11年12月23日	四十五代 "
小野 卜ヨミ	" 7年12月24日	" 11年12月23日	四十六代 "
西原 洋昂	" 8年4月1日	" 12年3月31日	教育長を兼ねる
一原 康範	" 9年6月27日	" 13年6月26日	四十七代教育委員長
加藤 信一	" 10年12月24日	" 14年12月23日	四十八代 "
千葉 陽三	" 11年12月24日	" 15年12月23日	四十九代 "
小野 卜ヨミ	" 11年12月24日	" 15年12月23日	五十代 "
西原 洋昂	" 12年4月1日	" 14年3月31日	教育長を兼ねる
桑田 敬子	" 13年6月27日	" 17年6月26日	五十一代教育委員長
阿部 義澄	" 14年4月1日	" 16年3月31日	教育長を兼ねる
小野 正師	" 14年12月24日	" 18年12月23日	五十二代教育委員長
宇野 征一	" 15年12月24日	" 19年12月23日	五十三代 "
太田 恵理子	" 15年12月24日	" 19年12月23日	五十四代 "
阿部 義澄	" 16年4月1日	" 20年3月31日	教育長を兼ねる
桑田 敬子	" 17年6月27日	" 21年6月26日	五十五代教育委員長
小野 正師	" 18年12月24日	" 22年12月23日	五十六代 "
宇野 征一	" 19年12月24日	" 23年12月23日	五十七代 "
太田 恵理子	" 19年12月24日	" 23年12月23日	五十八代 "
阿部 義澄	" 20年4月1日	" 24年3月31日	教育長を兼ねる
三木 由紀子	" 21年6月27日	" 25年6月26日	五十九代教育委員長
伊藤 嘉秀	" 22年12月24日		六十代 "
宮内 文久	" 23年12月24日		六十一代 "
長野 美和子	" 23年12月24日		
阿部 義澄	" 24年4月1日		教育長を兼ねる
三木 由紀子	" 25年6月27日		

組 織 図

(平成26年5月1日現在)



職 員 数

(平成26年5月1日現在)

	定 数	現 員
事 務 局	45	41
教 育 機 関	64	48

(事務局現員においては、新居浜市職員定数条例第4条第3号の規定による定数外の職員1名を含む。)

	課 所 別	職員	臨時職員	非常勤職員	委託職員	短時間再任用職員	計
事務局	社 会 教 育 課	11	2	60	2		75
	学 校 教 育 課	13		11			24
	発 達 支 援 課	7		20			27
	ス ポ ー ツ 文 化 課	7	2				9
	学 校 給 食 課	3	1				4
教育機関	別子銅山記念図書館	9	8	8		1	26
	広瀬歴史記念館	2		4			6
	青少年センター	1	1				2
	生涯学習センター・高齢者生きがい創造学園		3	9			12
	郷土美術館		2	2			4
	公 民 館	1		69			70
	幼 稚 園	7	5	4			16
	小 学 校 (県費教職員を除く。)	24	3	165	7		199
	中 学 校 (県費教職員を除く。)			57			57
	学 校 給 食 セ ン タ ー			21	15		36
	高 津 共 同 調 理 場	4		10			14
教 育 研 究 所				1		1	
計	89	48	435	9	1	582	

事務局事務分掌

課	事 務
社会教育課	<p>教育委員会の招集、議案作成、配布、告示及び議事の整理に関すること。 市長及び各方面との連絡協議に関すること。 教育委員会委員の報酬、費用弁償、請求、支払、儀式及び交際に関すること。 職員(県費負担教職員を除く。)の任免、給与、分限、褒賞、懲戒、服務、福利及び厚生に関すること。 教育委員会職員の定数配置に関すること。 公印の管守に関すること。 教育委員会の規則及び規程の制定及び改廃並びに規則の公布に関すること。 情報公開の調整に関すること。 個人情報保護の調整に関すること。 事務局の庶務に関すること。 予算経理の指導助言に関すること。 社会教育施設の設置及び廃止に関すること。 社会教育施設の管理、営繕及び保安に関すること。 社会教育委員会の庶務に関すること。 成人教育の学級、教室、講座等の開設事務、運営指導及び調整に関すること。 社会教育指導者の育成及び社会教育関係団体の育成指導に関すること。 公民館、地域交流センター、生涯学習センター、高齢者生きがい創造学園、図書館、別子ハイツ自然学習館及び青少年センターに関すること。 青少年健全育成の推進に関すること。 青少年団体指導者の育成に関すること。 放課後児童健全育成事業の実施に関すること。 家庭教育の学級、教室、講座等の開設事務、運営指導及び調整に関すること。 関係機関及び団体との連絡調整に関すること。 学校体育施設開放の事務及び運営指導に関すること。 学校体育施設開放に伴う使用許可及び使用料収納に関すること。</p>
学校教育課	<p>学校及び幼稚園の設置及び廃止に関すること。 学校敷地及び建物の設置及び変更に関すること。 学校施設及び幼稚園施設の管理、営繕及び保安に関すること。 学校及び幼稚園の管理運営の指導に関すること。 学校休業日の決定に関すること。 学校行事等の調整、指導及び承認に関すること。 教育団体関係事務に関すること。 児童・生徒の就学事務に関すること。 通学区域の設定変更事務に関すること。 学級編制関係事務に関すること。 教科書関係事務に関すること。 県費負担教職員の人事、給与、福利及び厚生事務に関すること。 就学援助事務に関すること。 奨学資金事務に関すること。 教育課程及び教育内容の編成に関すること。 教科用図書の採択に関すること。 学校及び幼稚園の教育指導に関すること。 教員の現職教育研修に関すること。 児童・生徒活動の指導に関すること。 教育研究所事務に関すること。 就園奨励関係事務に関すること。 中学生等の国際交流に関すること。 児童・生徒の生活指導に関すること。 学校体育に関すること。 就学時の健康診断事務に関すること。 児童・生徒及び学校職員の健康診断事務に関すること。 学校保健に関すること。 学校安全に関すること。</p>
スポーツ文化課	<p>体育文化施設の設置及び廃止に関すること。 体育文化施設の管理、営繕及び保安に関すること。 市民体育の振興に関すること。 スポーツ推進審議会の庶務に関すること。 スポーツ推進委員に関すること。 スポーツの指導者等の養成及び資質の向上並びにその活用に関すること。 体育及びスポーツの行事の企画、運営及び指導に関すること。 市民体育関係団体の育成に関すること。 文化財保護委員会の庶務に関すること。 芸術文化の振興に関すること。 文化財の保存活用に関すること。 郷土美術館及び広瀬歴史記念館に関すること。 体育文化施設の使用許可及び使用料収納に関すること。 関係機関及び団体との連絡調整に関すること。 公益財団法人新居浜市文化体育振興事業団に関すること。</p>
学校給食課	<p>学校給食に関すること。 共同調理場に関すること。</p>
発達支援課	<p>特別支援教育に関すること。 発達支援に関すること。</p>

教育費歳出予算（目別、平成25・26年度当初予算）

（単位：千円）

区 分	平成 25 年度		平成 26 年度		前年度比較
	当 初 予 算		当 初 予 算		
費 目	金 額	構 成 比	金 額	構 成 比	
教 育 総 務 費	812,143	21.0 %	990,860	24.4 %	122.0 %
教育委員会費	6,709	0.2 %	6,719	0.1 %	100.1 %
事務局費	383,327	9.9 %	401,223	9.9 %	104.7 %
諸 費	422,107	10.9 %	582,918	14.4 %	138.1 %
小 学 校 費	798,710	20.6 %	632,691	15.6 %	79.2 %
学校管理費	397,230	10.3 %	413,431	10.2 %	104.1 %
教育振興費	175,664	4.5 %	184,766	4.5 %	105.2 %
学校建設費	225,816	5.8 %	34,494	0.9 %	15.3 %
中 学 校 費	382,681	9.9 %	505,474	12.4 %	132.1 %
学校管理費	285,836	7.4 %	234,725	5.8 %	82.1 %
教育振興費	96,845	2.5 %	94,499	2.3 %	97.6 %
学校建設費	0	0.0 %	176,250	4.3 %	0.0 %
幼 稚 園 費	123,106	3.2 %	116,704	2.9 %	94.8 %
幼稚園費	123,106	3.2 %	116,704	2.9 %	94.8 %
社 会 教 育 費	815,991	21.1 %	769,515	19.0 %	94.3 %
社会教育総務費	286,759	7.4 %	163,142	4.0 %	56.9 %
公民館費	228,689	5.9 %	432,547	10.7 %	189.1 %
図書館費	245,871	6.3 %	99,424	2.5 %	40.4 %
郷土美術館費	15,662	0.4 %	13,981	0.3 %	89.3 %
青少年教育費	328	0.1 %	364	0.0 %	111.0 %
青少年センター費	3,633	0.1 %	3,849	0.1 %	105.9 %
広瀬歴史記念館費	35,049	0.9 %	56,208	1.4 %	160.4 %
保 健 体 育 費	940,106	24.2 %	1,041,747	25.7 %	110.8 %
保健体育総務費	34,140	0.9 %	44,965	1.1 %	131.7 %
保健体育施設管理費	26,250	0.6 %	119,609	3.0 %	455.7 %
体育施設費	350,160	9.0 %	338,485	8.3 %	96.7 %
学校給食費	529,556	13.7 %	538,688	13.3 %	101.7 %
合 計	3,872,737	100.0 %	4,056,991	100.0 %	104.8 %
一 般 会 計 総 額	47,550,404		46,816,278		98.5 %
教 育 費 の 割 合	8.1 %		8.7 %		0.6 p 増

放課後児童クラブ運営費 …… 放課後児童対策費（民生費 児童福祉費 児童福祉総務費）93,310千円

年度別教育費歳出決算（目別、平成20～25年度）

（単位：千円）

年度 費目	20年度	21年度	22年度	23年度	24年度	25年度
教育総務費	615,156	567,506	693,796	721,288	637,705	727,882
教育委員会費	6,648	6,640	6,622	6,655	6,551	6,535
事務局費	386,922	340,669	422,127	407,280	372,420	373,111
諸費	221,586	220,197	265,047	307,353	258,734	348,236
小学校費	1,289,633	894,607	2,167,815	645,316	1,042,661	797,032
学校管理費	393,817	383,784	572,912	409,111	388,962	442,469
教育振興費	134,094	144,504	405,448	136,467	136,421	155,305
学校建設費	761,722	366,319	1,189,455	99,738	517,278	199,258
中学校費	457,286	701,878	1,776,537	492,875	410,134	348,480
学校管理費	212,953	212,637	340,423	214,519	253,306	266,679
教育振興費	92,614	97,450	300,704	73,892	90,640	81,801
学校建設費	151,719	391,791	1,135,410	204,464	66,188	0
幼稚園費	110,212	97,742	104,980	92,760	106,067	105,057
幼稚園費	110,212	97,742	104,980	92,760	106,067	105,057
社会教育費	448,214	458,292	466,189	502,498	501,533	630,153
社会教育総務費	205,431	183,458	144,840	162,626	170,010	175,329
公民館費	113,499	136,114	156,851	160,949	184,339	199,360
図書館費	81,711	88,578	92,622	83,913	87,732	203,809
郷土美術館費	8,950	9,198	9,015	18,567	21,304	14,139
青少年教育費	1,664	1,518	2,316	1,933	1,037	298
青少年センター費	3,134	3,001	3,052	3,145	3,163	3,084
広瀬歴史記念館費	33,825	36,425	57,493	71,365	33,948	34,134
保健体育費	863,979	842,658	799,367	783,977	866,887	1,133,849
保健体育総務費	23,291	25,207	25,219	23,785	33,170	35,133
保健体育施設管理	0	0	0	0	42,140	233,388
体育施設費	358,535	324,541	274,572	262,510	299,494	383,841
学校給食費	482,153	492,910	499,576	497,682	492,083	481,487
合計	3,784,480	3,562,683	6,008,684	3,238,714	3,564,987	3,742,453

ただし、繰越分含む。

平成25年度放課後児童対策費決算額（民生費、児童福祉費、児童福祉総務費）83,266千円

平成25年度公立学校災害復旧費及び保健体育施設災害復旧費決算額（災害復旧費、文教施設災害復旧費）
8,337千円

社 会 教 育 課

重点目標

- 1 市民の自ら学ぶ意欲を喚起し、市民生活に即したさまざまな活動の拠点としての公民館の機能を再構築する。
- 2 地域ぐるみで子どもたちの居場所づくりに取り組むとともに、安全・安心の確保に努める。
- 3 社会教育関係団体をはじめ市民活動のネットワークを構築し、よりよい地域づくりを推進する。
- 4 地域主導型公民館の基盤を固めるため、支援体制の整備を図る。

最重要課題

地域住民が主役になった公民館活動の推進

重点事項

I 各世代に対応した事業の推進

1 青少年を対象とした事業

- (1) 子どもの居場所づくりを推進するために、放課後子ども教室推進事業に取り組む。
- (2) 公民館を中心に、地域の伝統行事、自然体験、職業体験等を推進する。
- (3) 子ども会、愛護班、目的少年団体等の活動促進を図る。
- (4) 青少年の社会参加、ボランティア活動を促進する。
- (5) 地域全体で子どもの成長を見守るために指導者やボランティアの発掘、育成、人材バンクの整備に努める。

2 家庭を対象とした事業

- (1) 未就学児を持つ親を対象とした子育て教室を開設する。子育てサロンとの連携に努める。
- (2) 親の責任と家庭の役割について学習する家庭教育講座等を通じて、保護者としての意識向上を図る。
- (3) 地域において情報や学習機会の提供を行い、相談体制の充実等、地域全体で家庭教育を支えていくえひめ地域家庭教育・子育てサポート事業に取り組む。
- (4) いじめ・不登校等の問題に対して、地域・家庭・学校が連携して取り組む体制を整備する。

3 女性を対象とした事業

- (1) 女性の自主学習や社会参画の促進を図り、エンパワメントにつなげる。
- (2) 公民館における女性を対象とする講座の開設、地域活動への参画を促進する。
- (3) 婦人会等の地域の女性団体の育成、指導者養成に努める。

4 高齢者を対象とした事業

- (1) 高齢者が地域、家庭の一員として果たすべき役割、健康づくり、社会の変化への対応などについて学習するための講座を開設する。
- (2) 高齢者の知識や経験を活用し、地域文化の伝承、世代間交流事業等を推進する。
- (3) 高齢者が地域で活躍する人材バンクの構築、見守り隊などのボランティア活動の推進を図る。

5 成人を対象とした事業

- (1) 急激な社会の変化に対応するために、今日的な社会課題を解決する講座や事業に取り組む。出前講座の積極的活用。「役に立つ社会教育」を目指す。
環境問題・男女共同参画・国際化・安全安心・介護福祉・子育て支援・自主防災組織など

- (2) 市民の多種・多様な学習ニーズに対応するために、生涯学習センター、NPO等との連携をとり、高度化・専門化した学習機会を提供する。
- (3) 人権感覚を磨き、差別をしないまちづくりを推進する。
- (4) 地域の各種団体との連携を密にし、心豊かなコミュニティづくり、ボランティア精神の定着に努め、市民と行政の協働のまちづくりを推進する。
- (5) 情報化社会の中で、すべての市民がITを有効に活用できるよう公民館等で学習を推進する。
- (6) 社会体育を推進するために、学校の体育館、グラウンド等の学校開放事業を行う。
- (7) 各種団体のリーダーを対象に研修を実施し、指導者としての資質向上を図る。

II 新規事業及び強化事業

1 地域教育力向上プロジェクト推進事業

従来あった委託事業を統合し、①学ぶ②活かす③創るを三本柱に、地域住民が自ら考え、学び、行う。その活動を通し、よりよい地域づくりができるような仕組みづくりへの転換を図る。

2 こども夢未来基金事業の実施

子どもたちの豊かな心の成長と夢広がる未来のふるさとづくりに資するため、平成18年9月に設置した新居浜市こども夢未来基金を活用し、事業を行う。

- (1) 震災を知らない子どもたちのリーダー研修

3 『こころのことばコンクール』の実施

子どもたちが日頃抱えている悩みや将来への期待、夢など、様々な心のメッセージを綴ってもらい、子どもの表現する力を育み、大人の子どもに対する感性や受容力を高めるために「こころのことばコンクール」を行う。

4 『子ども見守り隊』活動の拡充

地域社会が子どもたちの安全と安心を確保するために平成17年度に結成した子ども見守り隊の地域への浸透、定着を図るために、見守り活動に関する講習会や各地域の活動実態を情報交換する研修会を開催する。

5 放課後児童クラブ

就労等により昼間家庭に保護者がいない児童(小学1年～3年生)を対象に、その児童の健全育成を図るため、放課後児童クラブを開設する。

平成25年度の夏休みから長期休業中に限り小学4年生の受入れを行う。

III 別子ハイツ自然学習館

市民に豊かな自然環境の中での学習や研修等の場を有料で提供し、青少年の健全な育成と社会教育活動の推進を図るため、設置している。

施設状況

所在地	設立年月日	構造	敷地面積 (㎡)	建物延面積 (㎡)	電話
立川町1番地1	平成20.4.1	鉄筋コンクリート造2階建	3,207.00	566.50	41-0443

社会教育委員名簿

(平成26年7月1日 現在) 50音順

氏名	性別	備考
有吉 瑞穂	女	女性連合協議会代表
安藤 進一	男	体育協会代表
遠藤 敦子	女	公民館連絡協議会代表
大野 聖司	男	企業代表
大橋 勝英	男	新居浜市医師会代表
佐々木 靖夫	男	高等学校校長会代表
篠原 雅士	男	文化協会代表
西岡 圭	男	P T A連合会代表
野村 大介	男	愛媛新聞社新居浜支社長
秦 榮子	女	ボランティア連絡協議会代表
濱野 剛年	男	青年会議所代表
日野 幸彦	男	連合自治会代表
藤原 雅彦	男	市議会福祉教育委員長
星川 孝徳	男	小学校校長会代表
森 正男	男	中学校校長会代表

任期 平成25年7月1日～平成27年6月30日

放課後児童クラブ一覧表

クラブの名称	設置場所	クラブの名称	設置場所
たねっこクラブ1	高津小学校	ひまわりクラブ	垣生小学校
たねっこクラブ2	同上	のぞみクラブ	惣開小学校
ひかりクラブ1	中萩小学校	あじさいクラブ	多喜浜小学校
ひかりクラブ2	同上	さくらクラブ1	泉川小学校
なかよしクラブ	新居浜小学校	さくらクラブ2	同上
たんぼぼクラブ	金栄小学校	こねこクラブ	若宮小学校
こぼとクラブ1	角野小学校	かがやきクラブ1	金子小学校
こぼとクラブ2	同上	かがやきクラブ2	同上
うずいクラブ	大生院小学校	きりんクラブ	上部児童センター
かぶとクラブ	船木小学校	ぴかっこクラブ	川東児童センター
あひるクラブ	神郷小学校	ともだちパーク	コミュニティハウス三恵
すみれクラブ	宮西小学校		

公 民 館 等 一 覧 表

(平成26年5月1日現在)

施設名	所在地	設 立 年月日	新改築 年度	人 口 26. 3. 31	世帯数	構 造	建 築 延 面積(㎡)	敷地面積 (㎡)	施設長氏名
新 居 浜 32-8312	新居浜市新須賀町 三丁目2番17号	昭和 58. 4. 1	昭57年度 新築	4,671	2,305	鉄 筋 2階建	535.50	1,586.00	高田 実
口屋跡記念 32-8430	〃 西町 6番2号	〃 45.10. 3	平 3 〃 改築	5,076	2,558	鉄 筋 3階建	949.44	2,214.87	平野 繁市
地域交流センター 34-6320	〃 庄内町 一丁目14番7号	平成 22. 4. 1	平21 〃 新築	11,847	5,390	鉄 筋 2階建	945.02	2,021.40	越智 保二
金 栄 33-3212	〃 高木町 6番25号	昭和 56. 4. 1	昭55 〃 新築	5,696	2,624	鉄 筋 2階建	456.00	1,758.00	遠藤 敦子
高 津 32-3320	〃 沢津町 二丁目3番30号	〃 33. 4. 1	平 7 〃 改築	12,037	5,668	鉄 筋 2階建	987.25	2,220.77	柴田晋八郎
浮 島 34-7617	〃 八幡 二丁目6番52号	〃 57. 4. 1	昭56 〃 新築	3,786	1,698	鉄 筋 2階建	456.00	1,480.48	片村 源二
惣 開 33-1031	〃 王子町 1番3号	〃 31. 2. 24	昭54 〃 新築	4,157	1,995	鉄 筋 2階建	456.00	1,130.81	久石 保
若 宮 34-7612	〃 新田町 一丁目8番37号	〃 57. 4. 1	昭56 〃 新築	1,892	1,043	鉄 筋 2階建	456.00	1,124.96	木下 信
垣 生 45-0024	〃 垣生 二丁目12番26号	〃 24.12. 1	平元 〃 新築	4,437	1,906	鉄 筋 平屋建	483.00	1,985.80	岡部 益夫
神 郷 46-1181	〃 郷 三丁目7番20号	〃 33. 4. 1	昭60 〃 新築	10,205	4,495	鉄 筋 2階建	624.00	1,803.58	永易 良樹
多 喜 浜 45-0014	〃 多喜浜 五丁目7番27号	〃 31.12.27	昭61 〃 改築	4,004	1,882	鉄 筋 2階建	545.63	1,245.00	真鍋 淳江
大 島 45-1006	〃 大島 甲128番地の1	〃 31. 2. 24	昭55 〃 新築	256	152	鉄 筋 2階建	414.00	515.53	矢野 秀綱
泉 川 41-6463	〃 瀬戸町 12番34号	〃 30. 3. 31	平15 〃 新築	11,782	5,604	木 造 平屋建	公民館 693.00 体育館 286.00	2,966.00	今西 光昭
中 菽 41-6735	〃 菽生 740番地の1	〃 22.11. 1	平 2 〃 改築	20,042	8,958	鉄 筋 2階建	984.00	2,024.02	衣川 裕二
船 木 41-6003	〃 船木 2579番地の1	〃 24. 9. 14	昭54 〃 新築	7,393	3,291	鉄 筋 2階建	456.00	1,917.99	徳田 勝英
大 生 院 41-6604	〃 大生院 1063番地の1	〃 25. 9. 28	平 4 〃 改築	4,152	1,885	鉄 筋 2階建	公民館 562.70 体育館 233.20	4,324.28	松本 彰
角 野 41-6224	〃 中筋町 二丁目4番24号	〃 23.11. 3	昭54 〃 新築	12,085	5,504	鉄 筋 2階建	864.00	2,963.24	稲見 弘
別 子 山 64-2211	〃 別子山 甲347番地の1	〃 59. 4. 1	昭59 〃 新築	178	97	鉄 筋 2階建	631.00	821.54	和田 仲吉
合 計				123,696	57,055				

※ 改築は、増築・大規模改修等とする。

公 民 館 事 業 計 画

新 居 浜 公 民 館

公民館重点目標		<p>～夢・ロマン・感動を求めて～</p> <ol style="list-style-type: none"> 1 ボランティア活動の推進 2 学校・家庭・地域を結ぶ青少年健全育成と見守り隊の推進 3 生涯学習の活性化と推進 4 三世代交流を活かした地域文化の伝承活動とリーダーの育成 5 小学生・中学生の居場所づくりと交流
事業名		事業内容
地域教育力向上プロジェクト推進事業	女性講座	地域の女性を対象とし、多種多様な講座を開催し、文化教養を高める。(年6回)健康教室・手芸教室・料理教室 等
	シニアネットワーク	段階世代の方が中心となり、豊かな技能や技術を発揮し、健康で生きがいのある人生を送ることの出来る学習の機会や他世代との交流を促進していく。
	小学生夏休み講座	未来を担う子どもたちを、健やかに育むため、活力ある、絵画教室・宿題デー・パソコン教室を行う。
	小・中学生料理教室	地域の方が講師となり新たな交流関係を生みだし、料理を学ぶ事により家庭での仕事を体験し、理解できるよう取り組む。(各年4回)
	浜っこ教室	あいさつが出来る子を目標に、新居浜小学校へ通う児童を対象とし、昔遊び・科学実験・自然体験活動等の事業を地域協力で行い、協調性を養う。
	小学生通学合宿	公的施設で宿泊しながら通学し、集団活動や生活活動体験を行い、自主性・協調性など心豊かな人間性を育む。(挨拶から始めよう！)
	地域づくり推進事業	「活き生きセミナー」と題して、地域の声や意見を把握し地域発信の地域づくりを推進し、地域住民が楽しく、元気になる場所づくりや、伝統的な食文化や装飾などを活かして、地域が一体となって「熟議」し取り組める事業を行う。
	三世代交流健康ウォークラリー	三世代交流活動の一環として、塩田歴史の町などを散策し、健康づくりと三世代の地域交流を目的とする。
	新小夜市	夏祭りを開催し、幼児・小・中学生や高齢者との交流を図り、地域の活性化を促進する。
	三世代交流事業	餅つき・しめ縄づくり・凧づくりを各種団体が共同で実施し、伝統的文化・技術の継承を行い、各世代間交流と親睦を深める。
	地域自主防災組織の強化	新居浜校区自主防災会を再構築し、単位自治会相互の連携で、熟議に取り組み、災害時においての高齢者対策、地域課題解決を行う。また地域防災知識を高めるため、神戸防災センターへ研修に行く。
地域活性化事業	若水の一角にある、つづら淵の湧き水を活用して「つづら淵の湧き水で、元気が湧き出る」企画を検討し、「水」を使って事業計画を熟議し、魅力ある地域づくりを行う。	
公民館部活動	広報部・健康体育部・文化部	
校区内行事	校区文化祭・校区運動会	
その他特記事項	観月会&一夜限りのキャンドルアート開催	

公 民 館 事 業 計 画

口屋跡記念公民館

公民館重点目標		<p>～心触れ合う、住みよい地域づくりをめざして～</p> <ol style="list-style-type: none"> 1 豊かな心を育てる生涯学習の充実 2 青少年の健全育成 3 社会教育関係団体相互の連携・交流 4 人権・同和教育の推進 5 生涯スポーツの振興、生活文化活動の育成
事業名		事業内容
地域教育力向上プロジェクト推進事業	家庭教育 (家庭教育講座)	親子料理教室、人権・同和教育、軽スポーツ、手芸教室、一日研修 他
	女性教育 (女性講座)	軽スポーツ、人権・同和教育、防災教室、陶芸教室、AED研修 他
	高齢者教育 (高齢者講座)	奉仕活動、史跡探訪、防災教室、保育園児との交流、軽スポーツ、交通安全教室、人権・同和教育、健康教室 他
	高齢者・女性 合同講座	県内外から講師の先生を呼んで人権・同和教育を学ぶ
	生活文化講座	一日親子研修、凧づくり
	スポーツ健康教室	バタンク、グラウンドゴルフ、シャフルボード、スマイルボウリング
	三世代交流講座	地域支え合いで購入した備品を活用して、口屋の歴史等を小学生や地域住民に学んでもらう講座を開催する。また、健康器具を利用して、高齢者の健康維持・促進につながる講座を開催する。また、小学校の始業式に合わせて、4年生を対象とした七草粥講座を開催。校区女性部、民生女性委員を中心にして粥をつくり児童たちが手伝い、その後一緒に食べた。また七草粥の由来や七草の種類について学んだ。
	三世代交流福祉もちつき大会	小学6年生、PTA、老人会、自治会等でもちつき、赤飯作り及び紙ひこうき作りを行う。その後、地域の独居老人宅に赤飯と児童の手紙を添えて持っていく。
	先進地研修	地域の問題点が似ている先進地に出向き、どのようにして地域の活性化を図ることに成功したか等のノウハウを学び活かすための研修を実施する。
	北中校区子ども絵画展	地域の元美術の先生を中心として、子どもたち(小・中学生対象)から絵を募集して展示・審査・指導等の教室を開く。この事業を通して、PTA、学校、地域が協力し合い、子どもたちの文化的な活動を後押しし心を癒し育てるための事業。
三世代で考える防災訓練	毎年開催することで、防災意識を常に持ち、災害に際したときの連携を深めるための訓練を実施する。今年度は市役所が行う防災訓練に参加し、訓練を実施。	
口屋あかがねプロジェクト事業	口屋あかがねの会・くちやあゆみの会と2つの会が次世代に残していきたい口屋の歴史をこどもたちに伝えていくために活動した。また地域住民自体が地域の歴史・文化を学び、後世に語り続けるための勉強会を実施した。	
校区内行事	文化祭、運動会	
その他特記事項	人権・同和教育お茶の間懇談会	

事業計画

地域交流センター

公民館重点目標		<p>～笑顔あふれる地域交流センター～</p> <ol style="list-style-type: none"> 1 地域ふるさとづくりの推進 2 生涯学習・スポーツの推進 3 各種団体との連携・協力体制の強化 4 地域が一体となった青少年の健全育成 5 自主防災組織の充実と意識の向上
事業名		事業内容
地域教育 力向上 プロ ジェ クト 推 進 事 業	高齢者講座	高齢者の健康と活力を高めるとともに学習を通じて親睦交流、仲間づくりと教養を高める講座を行う。 ・高齢者を狙う悪徳商法 ・グランドゴルフ大会 ・料理教室 ・手芸教室等 ・昔の遊び 等
	家庭教育講座	金子小学校PTAを中心とした、学習と親子で楽しむ講座を行う。 ・親子陶芸教室 ・救急法 ・親子工作教室 ・親子科学実験教室 ・人権同和教育研修
	スポーツ健康教室	校区住民を対象に、スポーツを通じて各世代間交流を図り健康づくりを行う。 ・カローリング 等
	宿泊合宿	「おやじの会」を中心に、保護者の連携と子供たちとの関わりを大切にし、皆で協力して色々なことに挑戦する。 また、地域の歴史も勉強する。
	文化講座	金子校区に伝わる踊りや歴史文化を学習する。 ・たぬき踊りの練習 ・ふるさと探訪
	三世代交流	三世代交流を目的とし、地域の人たちがふれあいながら、四季を感じられる講座を行う。 ・七夕 ・しめ縄作り ・凧作り ・七草を知る会
	乳幼児講座	未就学児を持つ親同士の交流を図り、親子で楽しめる講座を行う。 ・親子3B体操 ・英語で遊ぼう ・料理教室 ・親子リトミック教室 ・クリスマス会 等
	まちづくり事業	自治会および各種団体の連携を図りながら熟議に取り組み、自主防災組織の強化と災害時における対策と訓練を行う。 ・防災運動会 ・運審研修旅行
放課後子ども教室 推進事業	金子校区に伝わる「小女郎たぬき」の民話を継承していくために、地域の大人から子供へ踊り、篠笛、太鼓の技術指導をする。 また、そろばん教室や習字教室も実施する。	
交流センター部活動	総務文化部、青少年部、保健体育部、広報部	
校区内行事	ラブ金子ふるさと夏まつり、芸能発表会、文化祭、高齢者軽スポーツ大会	
その他特記事項		

公 民 館 事 業 計 画

金 栄 公 民 館

公民館重点目標		～地域と共に歩む公民館を目指して～ 1 事業の企画・運営への住民の参画促進 2 地域の絆を深め連携を図る 3 安全・安心の校区づくりと見守りボランティアの推進 4 自主防災組織の充実と意識の向上
事業名		事業内容
地域教育力向上プロジェクト推進事業	家庭教育 (家庭教育講座)	人権学習、銅版レリーフなど
	婦人教育 (婦人講座)	人権学習、料理教室、史跡めぐり、健康体操、干支のちぎり絵、手芸教室など
	高齢者教育 (高齢者講座)	人権学習、軽スポーツ教室、美化作業、子育てサロンとの交流など
	料理講座	男性料理教室、防災料理教室
	文化講座	手芸教室など
	環境保護実践講座	ぼかし作り、花いっぱい運動
	親子のつどい	親子のつどい
	ドリームツリー	ドリームツリー金栄ふれあい広場
	ドッジボール大会	ドッジボール大会
	金栄安心まちづくり事業	地域パトロール、熟議
	芸能発表会	サークル活動の発表を通じて、世代間交流を深め親睦を図る。
	地域コミュニティ活性化事業	校区の活性化を目指し、「金栄よりみち」を気軽に集い学べる地域コミュニティの場にする。
	校区盆踊り大会	地域住民の夏の交流の場として、また三世代交流の場として更なる充実を図る。
	子育て支援講座	未就園児とその親を対象とし、情報交換や交流の場を提供し、子育て支援を目指す。
ボランティアスタッフ養成講座	ボランティアリーダースタッフの人材発掘・育成・養成のため研修等を行う。	
放課後子ども教室 推進事業	かるがもクラブ (原則月2回)	
公民館部活動	広報部、総務部、防犯防災部、文化教養部、保健体育部	
校区内行事	文化祭 (11月9日) 盆踊り (8月14日) 運動会 (5月18日)	
その他特記事項	金栄ふれあいの家 (月1回) 金栄ふれあいの集い (平成27年1月23日)	

公 民 館 事 業 計 画

高 津 公 民 館

公民館重点目標		～住民が主体的に携わる公民館を目指して～ 1 自治能力の向上と安全な地域づくりに努める 2 住民が自ら考え行動する生涯学習の推進とまちづくり構想の策定 3 学校、家庭、地域が一体となった青少年の健全育成 4 地域の連帯を図る三世代交流とふれあい活動の充実 5 人権・同和教育の推進
事業名		事業内容
地域教育力向上プロジェクト推進事業	高齢者講座	健康、人権・同和学习、環境、交通安全教室、防災、別子銅山教室等
	女性講座 (女性セミナー)	人権・同和学习、環境フラワーアート、コーラス、防災講座、環境、フラワーアート等
	健康講座	歩け歩け大会
	スポーツ健康教室	各種軽スポーツを実施して、校区住民の親睦交流・健康づくりを推進する。
	健康ウォーキング	ウォーキングを通して自然に親しみ、親子、子どもからお年寄りまで異世代間の交流を図る。
	れんげ祭り	自然体験の少ない子どもたちのために農地を借り上げネイチャーム、昔遊び、防災交通安全の啓蒙等を行うとともに三世代の交流を図る。
	たかつ納涼夏祭り	校区の夏のイベントとして、子どもからお年寄りまで皆が楽しめる夏祭りを実施する。盆踊り・模擬店・迷路・ゲーム大会等
	たかつ花あふれるまちづくり	ボランティアによる花苗の栽培と花壇の植え込み、管理等のまちの環境美化を行うとともに、花作りを通して心豊かな人間形成を行う。
	たかつ史跡めぐり	地域についての史跡を学び、地域への関心を育むと同時に、地域の人々の親睦・交流を深める。
	文化部発表会	公民館利用サークルの発表の場を設け、サークル間の情報交換や技術向上を目的とする。
	青少年育成事業	児童に様々な体験学習を行うと共に成年・青少年に対し長期的視点でリーダー養成を行う。
	たかつ防災事業	国領川・沢津垣生海岸の隣接自治会から順次、地震・津波・豪雨の災害時への対応の啓蒙・周知を図る。
家庭教育講座	親子関係が希薄になり児童虐待等の家庭問題が頻発している昨今、親への教育も重要であることから親への講演会を実施する。	
放課後子ども教室 推進事業	地域社会の中で子どもたちの安全で健やかな居場所づくりを推進する（やんちゃクラブ）毎週土曜日開催	
公民館部活動	総務広報部（公民館報の編集、各種団体役員名簿の作成等） 文化部（文化サークル発表会の開催等） 青少年部（青少年健全育成の講演等）	
校区内行事	校区運動会、校区文化祭、文化部発表会	
その他特記事項	高津よみきかせクラブの活動により低学年の道徳、創造力等を養う。	
防災親子キャンプ	高津公民館を避難所として地域住民や保護者の協力で子供達の自助共助の精神と地域の防災意識の高揚を図る。	
高津まちづくり 構想の策定	高津地区の環境、健康、地域福祉、都市基盤、防災、青少年教育等、長期的視点に立って策定する。	

公 民 館 事 業 計 画

浮 島 公 民 館

公民館重点目標		<p>～明るく元気な浮島校区の構築～</p> <ol style="list-style-type: none"> 1 青少年の健全育成を地域の課題として取り組む。 2 高齢者も児童も気軽に参加できる事業の推進。 3 「安全・安心」の地区の拠点としてのレベルアップ。
事業名		事業内容
地域教育力向上プロジェクト推進事業	総合講座	校区住民を対象に、人権同和教育・防災・健康などに関する講座を開催する。
	男性料理教室	男性料理教室は校区内男性を対象に、季節の食材を使った料理や一人で手軽にできる料理などを作る。(年間12回)
	家庭教育講座	校区内小学校の児童とPTAを対象に、家庭教育力を高めるための講座を開催する。(年間9～10回程度)
	婦人講座	校区内女性を対象に日常的で、興味のある教室・講座を開催し、交流を深める。(年間10回程度)
	高齢者講座	校区内高齢者を対象に、学ぶ・体験する講座を開催する。(年間10回程度)
	子ども教室	校区内児童を対象に学ぶ・体験する講座を開催する。(年間4回)
	軽スポーツ教室	校区住民を対象に手軽で、健康に良い軽スポーツを開催し、交流を深める。(年間3回)
	伝統を伝える講座	材料から採取する「門松」作りと七草粥や児童としめ縄作りや昔遊びを行う。
	明るく元気の出る標語看板作り	児童の「明るく元気の出る標語」を看板に作成し、校区内に設置する。
	幼児&児童の健全育成講座	幼児と児童の健全育成を目的に「まもるくん活動」などを推進する。
	人材の育成講座	ボランティア研修や、先進地への研修を行い、人材の育成を目指す。
双子クラブ	双子及び保護者を対象とした育成指導・情報交換等	
校区内行事	校区歩け歩け大会、浮島校区文化祭、七草粥を食べる会、小学校運動会(小学校、地域と共同開催)	
その他特記事項	<ul style="list-style-type: none"> ○まもるくんパトロール隊による地域に根ざした防犯活動 ○学校・地域が一体となった運動会 	

公 民 館 事 業 計 画

若 宮 公 民 館

公民館重点目標		～家庭・学校・地域の連帯をはかり、安全・安心で住みよい若宮校区づくりを目指す～
事業名		事業内容
地域教育 力向上 プロ ジェ クト 推 進 事 業	環境にやさしい まちづくり	美しい地球を未来に残すため、環境意識の高揚と実践。 美しい地域づくり。(花いっぱい運動)
	安全・安心な まちづくり	校区防災活動への支援。防災組織力の向上。防災意識の高揚。 災害時要援護者支援体制づくり支援。
	子どもが主役の まちづくり	学びの場・癒しの場を提供し、校外生活の充実を図る。 子どもの居場所づくりの推進。
	高齢者が安心して 暮らせるまちづくり	高齢者が出来るだけ自立した生活を送るため、活動の機会を提供する。 高齢者の軽スポーツと健康維持。
	スポーツと健康	三世代交流軽スポーツの実施。 健康ウォーキング。
	地域の伝統・ 歴史の伝承	年中行事の伝承。三世代交流。 昔の遊びを子どもたちと手づくり。(竹とんぼづくり、紙飛行機づくり、凧づくり、七夕飾り、七草がゆ、もちつき)
	趣味と教養	文学に挑戦することなど、家庭教養を学び、生活の知恵や手仕事を通して生活に潤いを得る。
	地域づくり	地域の方向性を決定するための事業として他市町村の進んだ社会教育施設・活動を研修し今後の活動に活かす。
放課後子ども教室 推進事業		地域の教育力を結集し、様々な体験活動を子どもたちに提供することにより、 地域全体で健全な子どもを育む。
校区内行事		
その他特記事項		

公 民 館 事 業 計 画

垣 生 公 民 館

公民館重点目標		～地域と共に歩む公民館～ 1 地域住民に親しまれ支えられる公民館づくり 2 自ら学ぶ生涯学習の推進 3 各種団体・機関との連携強化 4 生活文化活動の振興 5 安全で住みたい垣生づくり
事業名		事業内容
地域教育 力向上 プロジ ェクト 推進事 業	家庭教育講座 (家庭教育コース)	親の役割、健康づくり、料理、環境問題、世代間交流等の講座を実施し、家庭教育の責任者としての自覚を促し、開かれた家庭、明るい家庭づくりを図る。
	婦人講座 (婦人コース)	教養講座及び奉仕活動、健康づくり、郷土理解、料理、世代間交流等の講座を実施し、婦人の家庭や地域における役割を考える。
	高齢者講座 (高齢者コース)	輝く老人(生きがいづくり)、体の健康、心の健康づくり、奉仕活動、レクリエーション、世代間交流等の講座を実施し、社会の一員としての自覚を促すとともに、高齢社会への対応を考える。
	ふるさと文化講座 (文化コース)	郷土芸能「じょうさ節」の保存、伝承を中心に、郷土理解を図り、明るく住みよい郷土づくりを考える。
	成人講座	家庭や地域の黒柱である成人(中高年男子)を対象に成人大学を開設し、料理教室、史跡探訪、参禅等の学習を通して、家庭・地域の活性化を図る。
	パソコン教室	パソコン初心者を対象とし、Word・Excelなどの基本的な使い方を学ぶ。また、インターネットの正しい使い方を学ぶ。
	スポーツ健康教室	軽スポーツ、ニュースポーツの実施を通してスポーツの浸透を図り、主体的な健康管理を促進する。
	えひめA I - 2	環境微生物「えひめA I - 2」による環境美化活動等、地域全体で取り組める事業を実施し、地域連帯感、郷土愛の醸成と青少年の健全育成を図る。
	イルミネーション ファンタジー	毎年、年末年始の数日間、垣生公民館の駐車場の木々を装飾する。12月23日にイルミネーション点灯式が行われ、来館者に豚汁を振る舞う。
	農業体験教室	休耕田を利用して小学生に田植え、稲刈り、芋掘りなどの体験実習を行う。
	校区納涼祭	花火大会、盆踊り、出店等を開き、校区住民の親睦を図る。
	校区史跡めぐり ウォーキング	校区文化財ウォーキングマップを利用して、子どもからお年寄りまでがウォーキングを楽しみながら交流を図る。
	垣生山遊歩道整備	地域をあげて校区のシンボルである垣生山の環境保持作業に努めることにより、愛着を深めてもらう。また、市民の方々に健康づくりや憩いの場として利用してもらうために遊歩道整備を行う。
自主防災	防災組織力の向上を図るとともに、今後予想される災害に備えて、防災意識を高める。	
子育て支援	子育て中の母親たちの交流の場を提供する。	
校区内行事	校区文化祭・芸能祭、大運動会、納涼祭、敬老会、少年式、一日敬老の家、生き生きサロンなど。	

公 民 館 事 業 計 画

神 郷 公 民 館

公民館重点目標		家庭・学校・地域の連帯強化を図り、一人ひとりが大切にされる、安全・安心で 住みよいまちづくりを目指す。								
		<table border="0"> <tr> <td>1 青少年の健全育成</td> <td>6 お茶の間懇談会の拡充・強化</td> </tr> <tr> <td>2 地域の安全と安心の推進</td> <td>7 自主防災組織づくりの拡充・強化</td> </tr> <tr> <td>3 地域福祉の拡充</td> <td>8 地域の環境美化の推進</td> </tr> <tr> <td>4 生涯学習の推進と各サークル活動の支援</td> <td></td> </tr> <tr> <td>5 スポーツの振興と健康づくりの推進</td> <td></td> </tr> </table>	1 青少年の健全育成	6 お茶の間懇談会の拡充・強化	2 地域の安全と安心の推進	7 自主防災組織づくりの拡充・強化	3 地域福祉の拡充	8 地域の環境美化の推進	4 生涯学習の推進と各サークル活動の支援	
1 青少年の健全育成	6 お茶の間懇談会の拡充・強化									
2 地域の安全と安心の推進	7 自主防災組織づくりの拡充・強化									
3 地域福祉の拡充	8 地域の環境美化の推進									
4 生涯学習の推進と各サークル活動の支援										
5 スポーツの振興と健康づくりの推進										
事業名		事業内容								
地域教育 力向上 プロジェクト 推進事業	婦 人 講 座	手芸教室・環境教室・健康教室・料理教室など、健康づくり、趣味や教養を高め、地域への関わりを深められるよう講座を実施。								
	高 齢 者 講 座	歴史教室・安全教室・健康教室・男性の料理教室・文化教室など、体と心共に健康であり、地域での生きがいづくりを図る。								
	乳 幼 児 期 家庭づくり教室	防災教室・人権教室・三世代交流サマーレクリエーションなど、乳幼児を持つ父母のための情報交換の場を作り明るい家庭づくりを図る。								
	三 世 代 交 流 事 業	三世代交流おはよう体操・大風づくり教室、軽スポーツ体験教室など、三世代交流を図り、古くからの伝統文化を継承する。								
	神 郷 夏 まつり 開 催 事 業	青少年の健全育成とふれあいのまちづくりを目標に、高齢者が幼児まで広く参加できる三世代交流の場として、地域の活性化に資するため、神郷夏まつりを実施する。								
	観 月 会	地域の方々との交流を目的とし実施する。郷土食ともいわれるいも炊きで季節感を味わう。								
	神郷まちづくり事業	熟議を重ね、住みよいまちづくりを目指し、問題を発掘し、解決に向けて地域全体で取り組む。								
わくわく小学生	小学生が様々な体験活動を通じて地域の人と触れ合いながら交流を深め郷土を愛する心を育むことを目的とする。									
校 区 内 行 事		大運動会・文化祭・芸能発表会・夏まつり・自治会対抗ソフトボール大会・自治会対抗レクバレーボール大会								
そ の 他 特 記 事 項		文化活動の推進・神郷史情保存会による神郷史情の普及を図る。								

公 民 館 事 業 計 画

多喜浜公民館

公民館重点目標		～笑顔にあふれ、元気の出る公民館を目指して～ 1 潤いと生きがいのある安全・安心なふるさとづくりの推進 2 世代間の交流、人材の発掘 3 学校・家庭・地域が一体となった青少年の健全育成 4 郷土の伝統文化の継承と郷土意識の向上 5 人権・同和教育の推進
事業名		事業内容
地域教育力向上プロジェクト推進事業	スクール多喜浜	青少年健全育成団体連絡協議会、スポーツ健康教室、婦人講座、子育て講座
	高齢者大学	防災教室、交通安全教室、人権・同和教育、軽スポーツ、演芸大会
	三世代交流事業	多喜浜焼教室、しめ縄作り、少年の日を祝う会
	だいすき多喜浜夏祭り	地域の夏祭り開催
	塩田文化バンク	塩田ウォーク、塩を使ったレシピ研究、たきはま写真館
	環境講座	ゴミパトロール、環境活動、えひめA I - 2作成
	まちづくり講座	塩田カルタ作成、小学生リーダー育成プログラム、先進地研修、女性の防災
放課後子ども教室推進事業	ボンデン広場（軽スポーツ、工作教室、料理教室、宿泊体験教室、みかん狩り、もちつきなど）	
校区内行事	校区大運動会、夏祭り、校区文化祭、演芸大会	
その他特記事項	自治会対抗各種スポーツ大会、多喜浜塩田遺産を活かした諸活動	

公 民 館 事 業 計 画

大 島 公 民 館

公民館重点目標		<p>～地域に根ざした公民館づくり～</p> <ol style="list-style-type: none"> 1 生涯学習の拠点として、学習の推進を図る 2 各種団体との連携と協調・課題の解決 3 潤いと生きがいのあるふるさとづくりの推進 4 奉仕活動の強化、快適で潤いのあるまちづくりの推進 5 人権・同和教育の学習
事業名		事業内容
地域教育力向上プロジェクト推進事業	教養講座	個々の教養を深めながら、地域の人達との親睦を深める。 木版画・絵手紙・手芸教室等
	高齢者講座	生きがいを求め学習しながら、健康で共に楽しむ。 健康講座・段ボールコンポスト講習会等
	島体験講座	大島特産の「白芋」作りを通じて、地域外の人との交流を図る。 白芋作り
	とうど祭り	無形民俗文化財となっている「とうど祭り」や古来より伝わっている「念仏踊り」を次世代に継承すると共に講座を通して「島おこし」を図る。 とうど祭りと写真コンテスト・念仏踊り
	ふれあい交流	異年齢・多集団との交流を図りながら、自然のなかでの様々な体験を通し青少年の健全育成に役立てる。 異年齢体験交流キャンプ
	防災教室	自治会との連携で熟議に取り組み、災害時におけるの対策を防災運動会を通し、地域住民みんなで学ぶ。 防災訓練・防災運動会・研修
その他特記事項	市の無形民俗文化財となっている『とうど祭り』や、古来より伝わっている『念仏踊り』の保存と継承	

公 民 館 事 業 計 画

泉 川 公 民 館

公民館重点目標		<p>～新しい発見、気づこう、まちづくりの魅力～</p> <ol style="list-style-type: none"> 1 再発見事業 2 住民が総参加の事業展開 3 まちづくりの醸成
事業名		事業内容
地域教育力向上プロジェクト推進事業	ふるさと塾	不特定多数の人を対象にした講座は、多くの地域の住民の皆に参加して頂き、地域住民が主体的に取り組むことができる地域づくりや地域の課題解決に取り組む。
	なんでも楽習会	公民館までは少し遠いし、用事もあって…夜出かけるのはちょっと…近くの自治会館だったら気軽に参加できるのに…等々、また公民館で開催される講座に参加できなかった皆さんも対象として、自治会館での学習の機会を開設する
	子どもまつり事業	今年度は星原市と子どもまつり2大行事を一緒にし、新しい形でのイベントとする。まちづくりの中心に子どもを位置づけるために、子どもたちの活躍する場を設けた地域の大人とのコミュニケーションを図る事業を行うことによって、「子どもは地域の宝」であることを実践する。
	シニアネット事業	地域の老人会・婦人会等々の人の輪を広げるためにネットワーク化を確立し、知識と知恵を広げ、地域内の人材の掘り起こしなどを行うことによって、地域住民総参加の地域づくりを目指す。
	公民館まつり	まちづくり協議会、公民館利用グループ・サークルの発表会、児童・生徒の作品展示、その他、各種バザーなどを実施し、地域住民総参加の公民館まつりを目指す。
	その時、どうする？防災	地域を対象とした防災意識を養うために避難訓練、防災訓練を実施する。また子どもを対象にした通学合宿の際に1日を利用して、食事など生活一般の中で防災意識を養う防災宿泊研修を実施する。
	泉川感謝祭	地域住民の子どもたちからお年寄りまで参加し、金婚式該当者やその年にまちづくりで活躍された方、団体などを招聘し、讃える日を設け、式典やアトラクションで祝い、地域活動を次年度に繋げていく。
	伝統行事を伝える	核家族化が深刻となっており、残しておきたい伝統行事も体験する機会が不足している現状を踏まえ、高齢者に指導してもらい、三世代交流も行う。
	環境講座	段ボールコンポストで作った堆肥を家庭菜園化や花壇に使用し、ゴミの減量化と街の美化に繋がるように取り組む。
その他特記事項		泉川まちづくり協議会を中心とした花いっぱい運動、防災訓練、毎月第2日曜日「大好き泉川の日」の清掃ボランティアの実施、放課後子ども教室として「大好き泉川っ子体験教室」の実施、その他校区内行事

公 民 館 事 業 計 画

中 萩 公 民 館

公民館重点目標		～地域力の向上による住民主役の開かれた民主的な公民館運営を目指す～ 「目指せ!!住み良い町・住みたい町・行ってみたい町日本一の中萩」	
		1 生涯学習・生涯スポーツ活動の推進 2 青少年健全育成の推進 3 社会福祉活動の推進 4 人権・同和教育の推進 5 安心・安全な地域づくりの推進	
事業名		事業内容	
地域教育力向上プロジェクト推進事業	学 ぶ	女性セミナー 中萩セミナー	教養や趣味を高め、地域へのボランティア活動などを視野に入れた講座内容を企画運営し、充実を図る。
		高齢者セミナー	軽スポーツ競技、小学生とのふれあい活動、伝統文化継承、健康講座、交通安全等を通じて高齢者の生きがいづくりを進める。
		伝統文化講座	篠笛教室、男女共同料理教室、門松づくり、凧づくり教室
		食育と子どもの健康	より健康に生活していくために、生活の基本である食について子どものころから「食育」と学び、健康づくりを推進する。
		スポーツ健康教室	各種軽スポーツの実施
	活 か す	萩っ子生き生き活動	地区単位で分かれてスポーツで汗を流し、郷土愛と地域での絆を深めるため、子どもスポレク祭を開催する。
		十河信二を知り 学ぶ活動	十河信二についての講話等、十河信二の通学路を歩く会、十河信二展(写真・遺作品・図書等)等
		中萩三世代交流事業	地域の子どもたちに伝統や文化を継承していくための事業を企画運営する。
	創 る	環境改善事業	自然保護のために、家庭排水などの浄化を図る活動を推進する。
		コミュニティー 再生座談会	地域に活力をもたらす様々なことや地域の問題を話し合い、集うことで解決策を探り、地域力を養い、今後の公民館・地域の方向性を探る場となることを目指す。
消費者教育推進事業		賢い消費者となるために、様々な分野で消費者教育を実施、推進する。	
校区内行事		校区運動会、ほたる祭り、校区文化祭	

公 民 館 事 業 計 画

船 木 公 民 館

公民館重点目標		<p>～安全で安心して快適に暮らせるまちづくり～</p> <ol style="list-style-type: none"> 1 学校・家庭・地域の連携強化による青少年の健全育成 2 心豊かな福祉のまちづくりの推進 3 一人ひとりの学ぶ心を大切に生涯学習の推進 4 人権・同和学習の推進 5 地域に根ざした親しまれる公民館づくり
事業名		事業内容
地域教育力向上プロジェクト推進事業	人権講座	・家庭教育について
	健康講座	・健康ウォーキング ・太極拳を体験しよう！ ・認知症講座
	環境講座	・グリーンカーテンをつくろう！ ・ダンボールコンポストによる生ごみ堆肥化講習会
	伝統文化講座	・七夕かざり教室 ・盆踊り教室 ・昔の遊び教室 ・芸能祭 ・もちつき教室 ・七草がゆ教室 ・とうもろこしまつり ・仏教に学ぶ
	こども講座	・銅板しおり教室 ・ちぎり絵バッチ教室 ・空き缶でご飯を炊こう！ ・子どもスポーツ教室
	趣味講座	・銅板レリーフ教室 ・スマホ教室 ・エコクラフト教室 2回 ・ネクタイからポシェットをつくろう！ ・陶芸教室 ・プリザーブドフラワー教室
	H A P P Y クッキング講座	・男性健康料理教室 ・野菜ソムリエのかんたんクッキング ・韓国料理教室 ・ケーキサレ教室 ・親子クッキング教室
	池田池ラジオ体操とお池をかこむ会	船木のシンボルである池田池に住民が集まり、池田池太鼓寄せ広場で、日本中に元気な声が届くようにと力いっぱいラジオ体操する。その後、みんなで池田池の周囲をウォーキングする。地域の大きな輪をつくる。
	池田池をわたる風とマンドリン	池田池公園中之島広場野外ステージで《池田池をわたる風とマンドリン》を開催し、地域文化の向上と地域交流を図る。
	地域づくり講座	校区の子どもたちが将来戻ってきたいまちづくり・地域づくりのために、先進地研修等開催し、地域づくりをみんなで考える。 防災関係
ふるさと探訪講座	船木校区の貴重な郷土遺産、史跡を探訪し学び、また後世に継承していくことを考える。実際に歩いて史跡を巡り、学ぶ。	
校区内行事	・住民大運動会・池田池菖蒲まつり・夏まつり・長寿大運動会・芸能祭 ・文化祭・校区成人式・校区マラソン大会・校区徒歩探訪会	
その他特記事項		

公 民 館 事 業 計 画

大 生 院 公 民 館

公民館重点目標		～地域住民が集まり、共に進む公民館～ 1 事業の企画・運営への住民の参画促進 2 地域資源(自然)を生かした特色ある事業の推進 3 自主防災組織の更なる充実と意識の向上 4 子どもの居場所につくりと交流
事業名		事業内容
地域教育力向上プロジェクト推進事業	高齢者いきいきセミナー	落語・カローリング・輪投げ大会等
	くらしのセミナー	陶芸教室・男の料理・手芸教室等
	子育て支援セミナー	紙工作・リトミック・フラワー教室等
	スポーツ健康教室	ペタンク・スマイルボウリング等
	三世交代流事業	たのも団子作り、しめ縄作り、七草粥、昔のあそび、ふれあいの集い
	うずい教室	大生院小学校に通う児童を対象とした、昔のあそび・木工体験・塩作り等
	大野山プロジェクト	旧大生院村を歩く・マス釣り大会、ほたる祭り、ウォークラリー
	郷土の歴史と文化	大生院校区についての史跡や歴史を学び、地域への関心を育むと共に地域住民の親睦・交流を図り郷土愛を深める。また、次世代への伝承していくための後継者の育成を行い、まちづくりに繋げていく。
	地域自主防災会の強化	自主防災組織を再構築し、各団体との連携を図るとともに防災意識の高揚と次世代を担う若者の防災知識の向上の強化を図る。
放課後子ども教室推進事業	お化け屋敷、木工教室、篠笛作り・軽スポーツ等	
校区内行事	町民運動会、校区文化祭	
その他特記事項		

公 民 館 事 業 計 画

角 野 公 民 館

公民館重点目標		<p>～共に学び・話し・喜び合える地域づくりを目指して～</p> <ol style="list-style-type: none"> 1 思いやる心を育てる生涯学習を推進する地域づくり 2 伝統文化の継承と郷土愛を育てる地域づくり 3 学社融合で青少年健全育成、安全で安心の地域づくり 4 自分達で命を守る防災組織の確立を図る地域づくり 5 三世代交流や人と自然の調和、健康で笑顔あふれる地域づくり
事業名		事業内容
地域 教育 力 向 上 プ ロ ジ ェ ク ト 推 進 事 業	合同セミナー (三世代交流)	<p>異世代交流を目的とし、伝統行事の継承を図り、よりよい人間関係を築く。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・開講式記念講演・角野ウォークラリー・おはようラジオ体操(3回) ・三世代もちつき大会(餅花)・しめ縄作り・七草がゆ・閉講式記念講演
	手作りセミナー	<p>教養を高め趣味を幅広く生かした講座を企画する。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・簡単布ぞうり(2回)・ひな人形づくり(2回)・アロマハンドクリーム作り ・かわいい小物づくり・干支づくり・気軽に抹茶を楽しもう
	いきいき 生活セミナー	<p>高齢者を中心に情報交換の場を提供し、健康で生き生きとした生活を送ることを目的とする。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・カローリング体験・いきいきと輝くために(終活事業)・季節の料理教室2 ・生き生きコーラス・たのしいお家ヨガ・しまなみウォーキング
	家庭教育セミナー	<p>子ども達の健全育成、未来を担う子どもを地域で育てる。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・科学を楽しもう・親子deパン作り・平家平を訪ねて・けん玉に挑戦
	スポーツ健康教室	<p>各種スポーツを通じ地域の親睦を深め、生涯スポーツの普及を図る。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・軽スポーツを楽しむ(スマイルポーリング他)
	伝統文化プラン	<p>地域と学校が連携し、身近な歴史を深く知り学ぶことを目的とする。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ちびっこ相撲・角野校区に残る近代化産業遺産めぐり・地域探訪 ・とうどおくり
	未来まちづくり プラン	<p>将来のまちづくりを視野に入れ、環境に配慮したまちづくりを目指す。昔を知り将来を見つめ郷土を愛する心を育てる。研修により新たな問題点を洗い出し、より住みやすい地域とする。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・環境緑化推進5講座・すみの郷土館・生ごみ堆肥講習会・別子銅山の歴史
校区内行事		<ul style="list-style-type: none"> ・町民大運動会・すみの夏まつり・文化祭・芸能祭・地域清掃
その他特記事項		<p>防災組織作り及び防災訓練の取り組み</p>

公 民 館 事 業 計 画

別子山公民館

公民館重点目標		～地域づくりの拠点として、暖かく温もりのある公民館を目指して～ 1 学校・地域との連携を図り、地域活性化に繋げる 2 伝統文化の継承と郷土愛の醸成を図る 3 人権・同和教育の推進 4 青少年の健全育成を図る 5 世代間交流の充実強化
事業名		事業内容
地域教育力向上プロジェクト推進事業	健康づくり教室	地域を歩け歩け教室
	地域環境講座	木工体験教室・炭焼き炭アート体験
	まちづくり支援事業	市指定天然記念物周辺整備・雪合戦四国大会研修
	ふれあい体験学習	独居高齢者配布用餅つき・地域を知る登山体験
	いきいきまちづくり	校区秋季大運動会
校区内行事	校区大運動会・別子校区産業文化祭	
その他特記事項		

青少年センター

重点目標

- 1 「見せる補導」を徹底し、非行の未然防止に努める。
- 2 学校周辺を巡回し、児童生徒の安全確保に努める。
- 3 安全情報ネットワークの整備に努める。

課 題

1 健全育成活動の推進

- (1) 青少年の非行・被害防止全国強調月間(7月)、子ども・若者育成支援強調月間(11月)の推進
- (2) 青少年善行表彰

2 相談活動の推進

- (1) 相談業務の周知徹底、積極的な相談活動
- (2) 適切な資料提供並びに専門機関への紹介

3 少年補導委員による補導活動の充実

- (1) 地域に密着した昼夜の街頭補導
- (2) 夏祭り、花火大会、年末等における特別街頭補導
- (3) 支部長による広域補導

4 環境浄化活動の推進

- (1) 危険箇所、非行集団等のたまり場の早期発見と指導
- (2) 未成年者喫煙、飲酒防止の推進

5 情報収集と啓発活動の充実

- (1) 青少年健全育成入選標語の広報による周知、啓発
- (2) ホームページによる情報発信
- (3) センターだよりの発行

6 研修活動

- (1) 少年補導委員研修大会の実施
- (2) 各種研修会への派遣

7 関係機関・団体・学校等との連携強化

- (1) 学校・警察・児童相談所等との相互情報交換並びに連携の推進
- (2) 少年補導委員会等(支部長会)の開催
- (3) 青少年健全育成、非行防止に関する各種会合等への積極的な参加

施設状況

所在地	建設年月日	構造	面積(敷)	面積(建)	電話	所長氏名
繁本町8番65号	昭和37.11	鉄筋コンクリート造 2階建	m ² 403.68	m ² 403.68	33-4152	工藤 順

地区別少年補導委員の状況

(平成26年4月1日現在)

地区別	補導委員数		
	男(人)	女(人)	計(人)
川西地区	34	24	58
川東地区	34	20	54
上部地区	45	26	71
計	113	70	183

生涯学習センター

重点目標

生涯学習を広く市民に啓発し、自らの意思で学習に取り組むことができるための条件を整備するとともに、人材の発掘育成をすすめ、市民一人ひとりが主役となる生涯学習ネットワークづくりを目指す。

重点事項

1 生涯学習大学事業の推進

- (1) 大学、工業高等専門学校等の高等教育機関等との連携を図り、日本文学講座、松山大学公開講座、新居浜高専市民講座等、各種講座を開設する。
- (2) 市民のニーズ、時代の変化に対応した講座や必要課題に関する講座を開設する。
- (3) 市民への幅広いPRにより新たな層の参加を図るとともに、生涯学習大学の自主的運営を促進する。
- (4) 生涯学習推進員制度を設け、市民のニーズを反映した各種講座の企画・運営に努める。

2 生涯学習情報の収集・提供及び学習体制の充実

- (1) 県生涯学習情報システムの有効活用を図る。
- (2) 生涯学習に関する情報を収集するとともに、「悠游たより」等により情報の提供及び交換を行う。
- (3) 生涯学習の情報網を整備し、学習体制を充実させる。

3 生涯学習を推進するネットワークの促進

- (1) 公民館との連携を密にするとともに、市社会教育課をはじめ市内の生涯学習関連機関、施設、事業所等との協力のもと、生涯学習センターを核とした生涯学習ネットワークの構築に努める。
- (2) 社会教育団体をはじめとする生涯学習に関連する団体との連携の強化に努め、各種事業を展開する。
- (3) 市内の人材の掘り起こしを進め、リーダーバンクの有効活用を図る。

4 生涯学習に関連する指導者の育成と生涯学習のまちづくりの推進

- (1) 対象別の指導者養成講座の開設を図る。
- (2) 生涯学習スタッフを設置し、学習の企画立案・運営手法に習熟した人材の育成に努める。
- (3) 生涯学習ボランティアの実践活動をとおしてリーダー育成を目指す。

5 視聴覚ライブラリー機能の整備と有効活用

- (1) 自主教材の製作をすすめ、教材としての活用を図る。
- (2) 視聴覚指導者の育成を図る。

施設状況

所在地	設立年月日	構造	敷地面積(m ²)	建物延面積(m ²)	電話	館長等氏名
繁本町8番65号	平成3.4.1	鉄筋コンクリート造 (市民文化センター本館2階)	—	—	33-2991	所長 藤田恭一

高齢者生きがい創造学園

重点目標

高齢化が急速に進展する社会の中で、ボランティア活動を行い、共に学ぶ喜びを共有することによって、生きがいを見つける学習機会を提供する。

事業

1 講座の開設

概ね60歳以上の方を対象に、講座を開設して高齢者の要望に応え、高齢者の基本的要求である健康維持と、生活上の諸問題をテーマとする講座と講義や実技を通して学習を楽しみ、生きがいの創造をテーマとする講座を設ける。

2 サークル活動

講座終了者が、自主的で幅広い活動ができるようにする。

- (1) 週1回程度活動し、学習の深化・発展を図り、自由に積極的に学習する機会を提供する。
- (2) 各サークルごとに会員登録を行い、代表者を中心に年間計画を立てて自主的な運営を図るとともに、学園の全体活動への積極的な参加を促進する。

3 代表者会活動

学園の事業に積極的に参加し、その健全な発展を図る。代表者会は、学園の各講座受講者とサークル会員の互選により選出された代表者で構成され、総務・広報・体育・図書の内いずれかの委員会に属する。

4 ボランティア活動の推進

高齢者の豊かな経験と知識・技能を広く社会に還元できるよう学習をうながし、それによって自らの生きがい発見の場とさせる。

- (1) 受講者のボランティア活動について啓発を図る。
- (2) その活動を通して仲間作りに発展するように努める。
- (3) 関係諸団体との連絡を密にして、現地研修、講師を招いての学習をすすめることによってボランティア活動の推進を図る。

5 生き方の啓発や学習情報の提供

高齢者にとっての必要な情報を把握し、その提供に努める。

- (1) 学園月刊紙「生きがい」を発行し、学園の全体的な学習活動を中心とした情報の提供や生き方の啓発に努める。
- (2) アンケート調査やその他の方法によって受講者の要望を把握するとともに、掲示や学習資料・チラシ等を通してその期待に応えるようにする。

6 関係機関との連携

庁内関係各課はもちろん、各公民館・老人センターその他の関係機関との連携を密にし、協力する。講座編成については、他機関のものとの重複を避け、講座の設置目的を明確にする。

施設状況

所在地	設立年月日	構造	敷地面積(m ²)	建物面積(m ²)	電話	園長氏名
上原二丁目8番1号	平成5.4.1	鉄筋コンクリート造 陸屋根 2階建	18,684.23	3,759.85	44-4826	園長 小野健治

学 校 教 育 課

重点目標

基礎的・基本的な事項の確実な定着を図り、「生きる力」の基となる、確かな学力と豊かな心、健やかな体の育成をめざし、家庭や地域社会との連携を深めながら、個性を生かす特色ある学校教育の充実に努める。また、安全管理の徹底を図り、健やかな学習環境の整備に努める。

めざす子ども像　ふるさとを愛し　未来を拓く子

スローガン　愛情と信頼・深めよう　絆

最重要課題　ESDの推進による楽しい学校づくり

重点事項

※ 〈 〉は各種推進事業の実施事項

基本方針

1 開かれた学校づくりの推進 ※〈持続発展教育(ESD)支援事業等〉

- (1) 児童生徒及び地域の実態や課題を十分に踏まえ、創意工夫を生かした特色ある教育活動を展開する。
- (2) 学校評価システムの改善を図るとともに、自己評価・学校関係者評価を実施し、家庭や地域の人々に説明責任を果たすとともに理解や協力を求めるなど、開かれた学校づくりに努める。

※〈えひめ教育の日 11/1、学校へ行こうデー(日) 小学校 10/3・中学校 9/24、学校評価等の活用、グランドデザインの活用〉

2 教職員の資質と指導力の向上

- (1) 分かる楽しい授業の充実に努めるなど、実践的指導力と人間的魅力を備えた教職員となるよう、専門的・実践的な研修に努める。
- (2) 学校の教育目標の具現化を図るため、組織的・計画的な研修に努める。
- (3) 学習指導要領の理念に基づいた指導内容の充実に努める。

具体目標

1 確かな学力の定着と向上 ※〈標準学力検査実施事業〉

- (1) 「標準学力調査等」の結果をもとに学力向上に係る検証改善を行い、確かな学力の定着と向上を図るための学習指導の改善に努める。
- (2) 主体的に学ぶ力を身に付けるとともに、基礎的・基本的な知識及び技能を確実に習得させ、これらを活用して課題を解決するために必要な思考力や判断力、表現力などの資質や能力を育てるため、体験的な学習や問題解決的な学習の充実に努める。
- (3) 指導方法や指導体制を工夫改善し、個に応じたきめ細かな指導の充実に努める。
- (4) 基本的な学習習慣や学習規律を確立するとともに、家庭学習の充実に努める。
- (5) 放課後児童の学習支援、あかがね算数・数学コンテストの実施、新聞制作体験学習支援事業等の取組を通じて、小中学生の学力向上を図るとともに、社会変化に対応した多様な教育を推進し、子どもたちの生きる力を育む。

2 生徒指導の徹底と健全育成

- (1) いじめ・不登校・非行について、全教職員が一致協力して早期発見、早期解決、また未然防止に全力を尽くす。 ※〈校内生徒指導委員会・不登校対策検討委員会の充実、いじめ・不登校チェックシートの活用、心理検査Q-Uの活用、小・中学校連携の実践〉
- (2) 小・中学校の連携を深め、各中学校区において義務教育9か年を見通したグランドデザインを構築し、実践する。
- (3) 教育相談を充実させ、児童生徒を多面的、総合的に理解する。
- (4) 家庭や地域社会及び関係機関(適応指導教室、スクールソーシャルワーカー、ハートなんでも相談員、スクールカウンセラー、中1ギャップ対応非常勤講師等も含む。)との連携を密にし、開かれた生徒指導の推進に努める。
- (5) 基本的な生活習慣の徹底を図り、規範意識を育てることによって、積極的な生徒指導を推進する。

- (6) 「教育懇談会」「子ども会議」等の実施により、保護者・地域・市民への啓発を図る。
- (7) 「あいさつ日本一のまちづくり」を目指して、あいさつ運動を推進する。

3 人権・同和教育の推進

- (1) 一人一人の教職員が、同和問題をはじめとする様々な人権問題解決の力を確立するための研修に努め、差別解消に取り組む児童生徒を育成する。
- (2) 学力・進路を保障する教育を実践する。
- (3) 小・中学校の連携を図りながら、計画的な人権・同和教育の推進を図る。
- (4) 仲間意識を育て、いじめ等を生まない集団づくりに努める。
- (5) 家庭や地域等と連携し、「身元調査お断り運動」の推進を図る。

4 健康教育・安全教育の推進

- (1) 生涯を通じて、健康・安全で活力のある生活を送るための基礎を培う。
※〈AED講習の実施：中学2年生全員〉
- (2) 学校安全に関する校内の体制を整備し、教職員一人一人の危機管理意識を高める。
- (3) 防犯に関する実践的な研修や訓練の充実に努める。 ※〈CAP講習の実施：小学4年生全学級〉
- (4) 交通安全に関する校内の指導體制を整備し、組織的・計画的な指導に努める。
- (5) 家庭や地域社会及び警察等との連携を深め、児童生徒の安全を守る「地域ぐるみの取組」に努める。
- (6) 防災教育を推進し、児童生徒の生きる力を育てる。 ※〈10時間以上の実施〉
- (7) 性教育、薬物乱用防止教育(禁煙教育を含む。)等の指導を充実し、児童生徒の健全育成に努める。
- (8) 食育の充実に図り、望ましい食習慣の形成に努める。
- (9) 体育的活動の推進と運動の生活化を図ることにより、健康な心身を育てる。
※〈トップアスリート育成事業〉

- (10) 全国体力・運動能力、運動習慣等調査結果を活用し、児童生徒の運動能力、体力等の向上に努める。

5 国際理解教育の推進

国際社会に主体的に対応できる能力や態度を育てる。 ※〈中学生国際交流事業〉

6 環境教育の推進

環境と人間との関わりについて理解を深め、環境を大切にす意識や、自ら行動する実践的な態度及び資質・能力を育てる。 ※〈にはまスクールエコ運動の推進〉

7 キャリア教育の充実

望ましい職業観・勤労観を育むとともに、人間としての生き方についての自覚を深め、小・中学校の連携を図ったキャリア教育の充実に努める。 ※〈職場体験活動〉

8 福祉教育の充実

高齢者や障がいのある人、地域の人々との触れ合いを深め、互いに認め合い、共に生きていこうとする実践的な態度を育てる。

9 学校図書館の活用 ※〈学校図書館支援〉

- (1) 児童生徒の望ましい読書習慣を形成するため、創意工夫を生かした読書活動の充実に努める。
- (2) 学校図書館機能の充実に図り、児童生徒のより良い学習活動の糧となるよう努める。

10 情報教育の推進 ※〈教職員のパソコン整備〉

- (1) 全教員のICT活用能力を向上させ、授業への効果的な活用に努める。
※〈ICT機器活用推進モデル校〉
- (2) 学校の情報公開を一層推進するため、学校のホームページを適時更新する。
- (3) 情報モラル教育の充実に努める。
- (4) 個人情報等の情報管理を的確に行う。

11 幼児教育の充実

- (1) 教育内容の充実と教員の資質の向上を図る。
- (2) 幼・保・小の連携を密にし、教育活動の充実に努める。

12 教育研究所の充実

- (1) 現職教育の充実に努め、確かな研究を推進する。
- (2) 教科・中学校区別研修会等の充実に図り、実践的研究を推進する。
- (3) 所員を中心として、時宜に応じた教育的課題について調査・研究を行う。
※〈確かな学力・ふるさと学習〉
- (4) 学力向上推進委員会を設置し、学力向上に係る検証改善を行うため、学校への支援を行う。

新居浜市教育研究所の概要

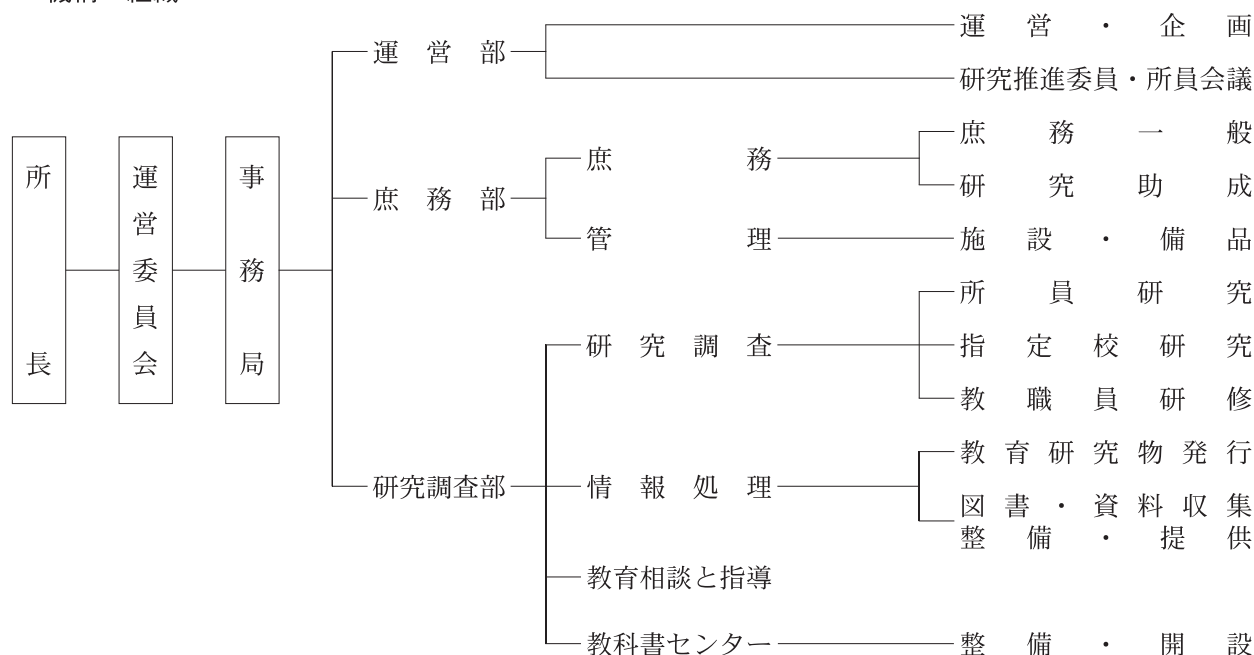
1 沿革の概要

昭和33年3月31日 新居浜市教育研究所設置条例に基づき、新居浜市教育研究所を置く。

昭和46年6月 教育会館の2階に教育研究室を設ける。

平成25年度 第20期新居浜市教育研究所の発足

2 機構・組織



3 事業内容

(1) 教育に関する専門的、技術的事項の研究

- ア 研究所員による「テーマ研究」
- イ 研究指定校との連携による「共同研究」
- ウ 第20期新居浜市教育研究所

(2) 教育に関する調査及び各種教育資料の作成及び共有(データ)

- ア 教育研究物の発行
 - 3・4年生用社会科副読本
 - 特別支援教育ハンドブック
 - 研究紀要
 - 所報
- イ 教育に関する調査と資料の作成

(3) 教育関係職員の研修

教科研修等

(4) 教育図書・資料及び教科書センターの経営

- ア 図書の整備、閲覧、貸出し
- イ 各種資料の収集、整理、提供
- ウ 教科書センターの整備と開設

4 研究のあゆみと歴代研究所長

氏名	就任年月日	離任年月日	研究期・研究主題等
藤田弥一郎	昭和33年4月1日	昭和37年3月31日	第1期 第2期 科学技術教育研究会
河野 貫	昭和37年4月1日	昭和40年3月31日	第3期 授業分析の研究
岡田 信秋	昭和40年4月1日	昭和43年3月31日	第4期 授業分析の研究
尾崎健次郎	昭和43年4月1日	昭和46年3月31日	第5期 個性能力に応ずる教育の研究
神野 忠利	昭和46年4月1日	昭和48年3月31日	第6期 学習指導の近代化
印南 忠一	昭和48年4月1日	昭和52年3月31日	第7期 学習指導の近代化
大西 博臣	昭和52年4月1日	昭和56年3月31日	第8期 自ら学ぶ力を育てる指導
村上 好央	昭和56年4月1日	昭和58年3月31日	第9期 自ら学ぶ力を育てる指導
永井 弘	昭和58年4月1日	昭和59年3月31日	第9期 自ら学ぶ力を育てる指導
久米 浩	昭和59年4月1日	昭和60年3月31日	第10期 授業の質的改善の研究
加藤 勝見	昭和60年4月1日	昭和61年3月31日	第10期 授業の質的改善の研究
廣川 地彦	昭和61年4月1日	昭和62年3月31日	第10期 授業の質的改善の研究
宮崎 弘	昭和62年4月1日	昭和63年3月31日	第11期 個人差に応じる学習指導
廣川 地彦	昭和63年4月1日	平成元年3月31日	第11期 個人差に応じる学習指導
渡邊 健	平成元年4月1日	平成3年3月31日	第12期 自己教育力の育成を図る学習指導
宮崎 弘	平成3年4月1日	平成5年3月31日	第12期 自己教育力の育成を図る学習指導
一色 康範	平成5年4月1日	平成7年3月31日	第13期 子どもの可能性を拓く学習指導と評価の研究
鴻上 政士	平成7年4月1日	平成9年3月31日	第14期 主体的な学習の仕方を身につける学習指導と評価の研究
合田 正	平成9年4月1日	平成10年3月31日	第14期 主体的な学習の仕方を身につける学習指導と評価の研究
合田 正	平成10年4月1日	平成11年3月31日	第15期 生きる力をはぐくむ学習指導と評価の研究
山本 光博	平成11年4月1日	平成12年3月31日	第15期 生きる力をはぐくむ学習指導と評価の研究
河野 義隆	平成12年4月1日	平成14年3月31日	第15期 第16期 生きる力をはぐくむ学習指導と評価の研究
藤本 博文	平成14年4月1日	平成16年3月31日	第16期 生きる力をはぐくむ学習指導と評価の研究
三浦 孝信	平成16年4月1日	平成18年3月31日	第17期 「確かな学力」と「豊かな心」をはぐくむ指導と評価の研究
佐藤弘美子	平成18年4月1日	平成19年3月31日	第17期 「確かな学力」と「豊かな心」をはぐくむ指導と評価の研究
真鍋 智明	平成19年4月1日	平成21年3月31日	第18期 基礎基本の定着と確かな学力の向上
秋本 司	平成21年4月1日	平成23年3月31日	第18期 第19期 基礎基本の定着と確かな学力の向上 学力の向上を図る実践研究
坪本 道夫	平成23年4月1日	平成25年3月31日	第19期 学力の向上を図る実践研究 ふるさと学習の研究
横井 敏行	平成25年4月1日		第20期 確かな学力を育むための実践研究 ふるさと学習の研究

学 校 教 育 計 画 資 料

1 研究指定校（発表校）・訪問指導校・研修会会場等予定校

小学校

学 校 名	内 容		指定年度
新居浜小学校	県指定	ハートなんでも相談員設置事業	25・26
宮西小学校	県指定 県指定 県指定	ハートなんでも相談員設置事業 愛媛バラ会環境美化推進事業 学力向上システム構築事業中核校	25・26 26 26・27
金子小学校	県指定	ハートなんでも相談員設置事業	25・26
金栄小学校	県指定	ハートなんでも相談員設置事業	25・26
高津小学校	新居浜市 県指定	I C T機器活用推進モデル校 ハートなんでも相談員設置事業	26 25・26
浮島小学校	新居浜市 県指定	学校保健研究大会 フッ化物洗口普及事業	26 25・26
惣開小学校	県指定 県指定	ハートなんでも相談員設置事業 フッ化物洗口普及事業	25・26 25・26
垣生小学校	県指定 国指定	フッ化物洗口普及事業 学校防災教育実践モデル地域研究事業	26 26
神郷小学校	県指定 県指定 県指定	フッ化物洗口普及事業 幼・保・小連携教育訪問 ハートなんでも相談員設置事業	25・26 26 25・26
泉川小学校	県指定 国指定	ハートなんでも相談員設置事業 子ども体力向上調査研究事業	25・26 25・26・27
船木小学校	新居浜市	ハートなんでも相談員設置事業	26
中萩小学校	県・市 県指定	ハートなんでも相談員設置事業 2年目フォローアップ研修会場校	25・26 26
角野小学校	県・市	ハートなんでも相談員設置事業	25・26
別子小学校	国指定	スクールヘルスリーダー派遣事業	25・26

中学校

学校名	内 容		指定年度
東 中 学 校	県・市 国指定	ハートなんでも相談員設置事業 地域スポーツ人材の活用実践支援事業	25・26 25・26・27
西 中 学 校	新居浜市 県・市	ものづくり体験講座 ハートなんでも相談員設置事業	26 25・26
南 中 学 校	県・市	ハートなんでも相談員設置事業	25・26
北 中 学 校	新居浜市 県・市 県指定	笑いとコミュニケーション講座 ハートなんでも相談員設置事業 学力向上システム構築事業中核校	26 26 26・27
泉 川 中 学 校	新居浜市 新居浜市 国指定 国指定	I C T機器活用推進モデル校 笑いとコミュニケーション講座 平成26年度「子どもの学習費調査」 スクールカウンセラー活用事業拠点校	25・26 26 26 25・26
船 木 中 学 校	新居浜市 県指定 国指定	笑いとコミュニケーション講座 人権・同和教育訪問 スクールカウンセラー活用事業拠点校	26 26 26
船 木 中 学 校 (ひびき分校)	新居浜市	笑いとコミュニケーション講座	26
中 菰 中 学 校	県・市	ハートなんでも相談員設置事業	25・26
大 生 院 中 学 校	国指定	スクールカウンセラー活用事業拠点校	25・26
角 野 中 学 校	県指定 国指定 国指定	2年目フォローアップ研修会場校 スクールカウンセラー活用事業拠点校 特色ある道徳教育推進事業	26 25・26 25・26
川 東 中 学 校	新居浜市 県指定 国指定	笑いとコミュニケーション講座 免許外教科担任教員研修会 スクールカウンセラー活用事業拠点校	26 26 25・26
別 子 中 学 校	国指定	スクールヘルスリーダー派遣事業	26
新 居 浜 市	国指定 国指定	スクールソーシャルワーカー活用事業 スクールカウンセラー活用事業	25・26 25・26

全小中学校において、持続発展教育(ESD)を推進する。

2 学校教育における人権・同和教育研究会

行 事	4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3	備 考
校区別人権・同和教育懇談会運営委員会											13(金)		
新居浜市人権・同和教育研究大会								小中合同 20(木)					小学校5校 中学校3校
愛媛県人権・同和教育研究大会								19(水)					松山市
四国地区人権教育研究大会				10(木) 11(金)									松山市
全国人権・同和教育研究大会									6(土) 7(日)				香川県

平成26年度 児童・生徒・園児・教職員数

小学校

学校名	学年 性別	1 学年			2 学年			3 学年			4 学年		
		男	女	計	男	女	計	男	女	計	男	女	計
新居浜小学校	児童数	18	19	37	18	21	39	15	16	31	16	7	23
	学級数	2			1			1			1		
宮西小学校	児童数	11	24	35	23	19	42	18	21	39	21	23	44
	学級数	1			2			1			2		
金子小学校	児童数	63	51	114	51	48	99	65	53	118	55	45	100
	学級数	4			3			4			3		
金栄小学校	児童数	27	26	53	23	28	51	36	27	63	25	40	65
	学級数	2			2			2			2		
高津小学校	児童数	69	62	131	59	61	120	46	60	106	54	67	121
	学級数	4			4			3			4		
浮島小学校	児童数	13	9	22	13	6	19	8	5	13	6	11	17
	学級数	1			1			1			1		
惣開小学校	児童数	27	23	50	24	25	49	23	30	53	25	24	49
	学級数	2			2			2			2		
若宮小学校	児童数	5	3	8	9	2	11	4	4	8	6	7	13
	学級数	1			1			1			1		
垣生小学校	児童数	20	22	42	22	28	50	28	23	51	26	18	44
	学級数	2			2			2			2		
神郷小学校	児童数	65	44	109	51	35	86	47	48	95	49	46	95
	学級数	4			3			3			3		
多喜浜小学校	児童数	11	9	20	15	9	24	14	10	24	14	17	31
	学級数	1			1			1			1		
泉川小学校	児童数	55	45	100	44	48	92	40	25	65	40	42	82
	学級数	3			3			2			3		
船木小学校	児童数	35	31	66	18	29	47	32	37	69	33	27	60
	学級数	2			2			2			2		
中萩小学校	児童数	94	72	166	81	61	142	84	77	161	77	86	163
	学級数	5			4			5			5		
大生院小学校	児童数	27	18	45	20	18	38	18	24	42	16	22	38
	学級数	2			2			2			2		
角野小学校	児童数	64	55	119	57	45	102	49	54	103	61	55	116
	学級数	4			3			3			4		
別子小学校	児童数	0	0	0	1	0	1	0	0	0	1	0	1
	学級数												
計	児童数	604	513	1,117	529	483	1,012	527	514	1,041	525	537	1,062
	学級数	40			36			35			38		

※ 大島小学校 …… H25. 3. 31 廃校

(平成26年5月1日現在)

5 学年			6 学年			計			学 級 数			教員数	職員数
男	女	計	男	女	計	男	女	計	通常	特別支援	計		
27	23	50	24	11	35	118	97	215	8	2	10	15	8
2			1			8							
23	19	42	18	28	46	114	134	248	10	2	12	22	9
2			2			10							
60	58	118	63	61	124	357	316	673	22	2	24	31	13
4			4			22							
33	17	50	34	18	52	178	156	334	12	1	13	18	9
2			2			12							
67	51	118	65	64	129	360	365	725	23	3	26	36	4
4			4			23							
14	10	24	5	7	12	59	48	107	6	3	9	14	8
1			1			6							
22	26	48	26	26	52	147	154	301	12	2	14	20	9
2			2			12							
7	11	18	11	9	20	42	36	78	6	0	6	12	5
1			1			6							
30	24	54	26	17	43	152	132	284	12	2	14	20	8
2			2			12							
54	44	98	41	41	82	307	258	565	19	3	22	29	10
3			3			19							
17	13	30	17	18	35	88	76	164	6	1	7	12	8
1			1			6							
41	38	79	46	41	87	266	239	505	16	2	18	27	5
2			3			16							
33	30	63	34	27	61	185	181	366	12	3	15	23	9
2			2			12							
89	95	184	84	73	157	509	464	973	30	4	34	50	13
6			5			30							
21	19	40	11	27	38	113	128	241	10	3	13	19	9
1			1			10							
52	59	111	51	51	102	334	319	653	21	3	24	36	11
4			3			21							
1	0	1	0	0	0	3	0	3	0	2	2	2	1
591	537	1,128	556	519	1,075	3,332	3,103	6,435	225	38	263	386	139
39			37			225							

中 学 校

学校名		学年		1 学 年			2 学 年			3 学 年	
		男	女	計	男	女	計	男	女		
東 中 学 校	生徒数	61	75	136	71	70	141	69	54		
	学級数	4			4			4			
西 中 学 校	生徒数	53	45	98	46	42	88	58	50		
	学級数	3			3			3			
南 中 学 校	生徒数	58	78	136	85	77	162	68	93		
	学級数	4			4			5			
北 中 学 校	生徒数	46	44	90	37	31	68	46	51		
	学級数	3			2			3			
泉 川 中 学 校	生徒数	37	45	82	45	39	84	50	38		
	学級数	2			3			3			
船 木 中 学 校	生徒数	44	36	80	32	38	70	31	37		
	学級数	2			2			2			
船 木 中 学 校 ひびき分校	生徒数	1	0	1	0	2	2	4	2		
	学級数	1			1			1			
中 萩 中 学 校	生徒数	102	85	187	90	84	174	85	97		
	学級数	5			5			5			
大 生 院 中 学 校	生徒数	27	24	51	29	22	51	22	17		
	学級数	2			2			1			
角 野 中 学 校	生徒数	58	49	107	50	58	108	58	57		
	学級数	3			3			3			
川 東 中 学 校	生徒数	99	97	196	100	95	195	74	104		
	学級数	5			5			5			
別 子 中 学 校	生徒数	1	0	1	0	0	0	0	0		
	学級数	1			0			0			
計	生徒数	587	578	1,165	585	558	1,143	565	600		
	学級数	35			34			35			

幼 稚 園

幼稚園名		年 齢		4 歳 児			5 歳 児		
		男	女	計	男	女	計		
王 子 幼 稚 園	園児数	24	21	45	35	40	75		
	学級数	2			3				
神 郷 幼 稚 園	園児数	6	20	26	20	25	45		
	学級数	1			2				
計	園児数	30	41	71	55	65	120		
	学級数	3			5				

(平成26年5月1日現在)

年 計	計			学 級 数			教員数	職員数
	男	女	計	通常	特別支援	計		
123	201	199	400	12	2	14	29	3
	12							
108	157	137	294	9	2	11	21	3
	9							
161	211	248	459	13	1	14	28	3
	13							
97	129	126	255	8	1	9	21	3
	8							
88	132	122	254	8	2	10	24	4
	8							
68	107	111	218	6	1	7	17	3
	6							
6	5	4	9	3	0	3	7	1
	3							
182	277	266	543	15	2	17	33	3
	15							
39	78	63	141	5	2	7	17	3
	5							
115	166	164	330	9	1	10	21	3
	9							
178	273	296	569	15	2	17	33	3
	15							
0	1	0	1	1	0	1	3	0
	1							
1,165	1,737	1,736	3,473	104	16	120	254	32
	104							

(平成26年5月1日現在)

	計				教 員 数
	男	女	計		
	59	61	120		7
	5				
	26	45	71		5
	3				
	85	106	191		12
	8				

学 校 等 一 覧

幼 稚 園

園 名	所 在 地	電 話 (FAX)	園 長 氏 名
王 子	王子町2番2号	32-4815 (32-4815)	高 橋 ひとみ
神 郷	郷三丁目8番16号	45-0170 (45-0170)	木 下 直 子
合		計	

小 学 校

学 校 名	所 在 地	電 話 (FAX)	校 長 氏 名	教 頭 氏 名
新 居 浜	新須賀町三丁目1番58号	37-3061 (37-3062)	星 川 孝 徳	渡 邊 健 児
宮 西	宮西町5番56号	33-8940 (33-8941)	岡 野 弥 生	青 野 浩 之
金 子	久保田町一丁目3番57号	37-2221 (37-2302)	本 田 郁 代	今 村 信
金 栄	西の土居町一丁目5番1号	37-2313 (37-2120)	鴻 上 隆 文	永 井 奈保子
高 津	宇高町二丁目13番7号	37-3754 (37-3854)	青 木 時 和	岡 田 和 行
浮 島	八幡二丁目2番65号	33-1020 (33-1021)	森 田 まゆみ	山 崎 雄 史
惣 開	王子町1番3号	37-3401 (37-3402)	高須賀 洋	高 橋 美 鈴
若 宮	新田町一丁目8番56号	32-3987 (32-4887)	毛 利 賢 治	中 野 久
垣 生	垣生一丁目5番38号	45-0186 (45-0195)	日 野 優 子	山 内 好 明
神 郷	神郷一丁目1番1号	45-0082 (45-0493)	荒 井 正 隆	篠 原 直 樹
多 喜 浜	多喜浜五丁目7番34号	45-0142 (45-0035)	一 色 明 繁	高須賀 哲
泉 川	岸の上町一丁目13番68号	43-4145 (43-4146)	濱 田 英 稔	曾 我 亨
船 木	船木4299番地の1	41-6260 (41-6362)	長 瀬 陽 子	渡 辺 務
わかば分教室	船木甲2971番地の1	31-7645 (31-7646)		
中 萩	中萩町6番61号	41-6225 (41-6265)	西 原 勝 則	澤 井 哲 男
大 生 院	大生院1070番地の1	41-6627 (41-6694)	矢 野 淳 一	高 橋 伸 也
角 野	中筋町二丁目7番10号	43-7141 (43-7142)	秦 博 文	仲 公 一
別 子	別子山甲358番地	64-2167 (64-2321)	角野小と兼務	別子中と兼務
合		計		

※ 大島小学校 …… H25.3.31 廃校

(平成26年5月1日現在)

教室数		園舎面積	校地面積			遊戯場面積	プール水面積
普通	特別		運動場	その他	計		
5	—	1,237 ^{m²}	1,008 ^{m²}	1,130 ^{m²}	2,138 ^{m²}	185 ^{m²}	37 ^{m²}
3	—	965	1,037	1,705	2,742	144	29
8	—	2,202	2,045	2,835	4,880	329	66

(平成26年5月1日現在)

教室数		校舎面積	校地面積			屋内運動場面積	プール水面積
普通	特別		運動場	その他	計		
10	7	3,757 ^{m²}	10,990 ^{m²}	7,154 ^{m²}	18,144 ^{m²}	831 ^{m²}	375 ^{m²}
12	7	3,795	11,274	10,274	21,548	807	425
24	10	5,640	10,358	10,852	21,210	1,033	425
13	9	3,616	14,565	7,001	21,566	919	425
26	14	6,706	9,664	13,325	22,989	1,196	475
9	9	3,434	8,591	9,449	18,040	807	400
14	10	4,088	8,010	12,235	20,245	807	425
6	5	2,336	8,149	10,387	18,536	807	423
14	5	2,778	7,646	4,884	12,530	807	425
22	12	5,560	9,400	8,283	17,683	894	400
7	10	2,792	8,421	5,381	13,802	919	400
18	14	6,181	12,800	10,197	22,997	1,023	475
15	12	3,975	9,811	9,034	18,845	807	400
0	—	—	—	—	—	—	—
34	14	7,669	10,383	16,268	26,651	1,239	525
13	6	3,087	8,570	7,095	15,665	807	—
24	11	6,137	15,797	13,079	28,876	1,033	425
2	6	820	2,899	500	3,399	551	—
263	161	72,371	167,328	155,398	322,726	15,287	6,423

中 学 校

学 校 名	所 在 地	電 話 (FAX)	校 長 氏 名	教 頭 氏 名
東	東雲町一丁目4番23号	37-1294 (37-1038)	佐々木 篤 志	永 井 和 弘
西	江口町7番1号	37-2021 (37-2023)	神 野 康 一	今 泉 知 範
南	庄内町二丁目4番47号	37-0310 (37-5392)	浦 江 賢 治	安 永 元 生
北	宮西町5番81号	33-9135 (33-9136)	伊 藤 彰 人	篠 原 康 展
泉 川	星原町7番8号	43-5800 (43-5821)	高 橋 良 光	神 野 剛
船 木	船木甲3754番地の1	41-6347 (41-6364)	稲 見 武 仁	河 村 公 寿
船 木 ひびき分校	船木甲2971番地の1	31-7645 (31-7646)		阪 本 博 和
中 萩	中萩町13番31号	43-5131 (43-5132)	藤 田 裕 彦	柿 本 正 雄
大 生 院	大生院1070番地の2	41-6927 (41-6229)	筒 井 宗 彦	柴 田 喜 清
角 野	宮原町11番51号	43-6108 (43-6109)	森 正 男	吉 岡 庸 夫
川 東	神郷二丁目4番1号	45-0180 (45-0144)	坪 本 道 夫	小 西 裕 久
別 子	別子山甲358番地	64-2115 (64-2321)	角野中と兼務	小笠原 忠 彦
合 計				

(平成26年5月1日現在)

教室数		校舎面積	校地面積			屋内 運動場 面積	プール 水面積
普通	特別		運動場	その他	計		
14	13	4,533 ^{m²}	10,200 ^{m²}	6,596 ^{m²}	16,796 ^{m²}	1,388 ^{m²}	400 ^{m²}
11	14	4,830	13,504	11,456	24,960	816	400
14	13	4,731	12,699	7,811	20,510	981	375
9	13	4,005	15,880	9,628	25,508	1,138	425
10	13	4,256	14,451	6,942	21,393	981	425
7	13	3,401	10,679	11,108	21,787	1,014	400
3	8	1,036	6,171	1,681	7,852	428	150
17	16	4,865	16,838	11,641	28,479	1,031	425
7	10	3,210	9,952	6,299	16,251	830	550
10	15	4,814	10,934	11,018	21,952	1,031	375
17	15	5,768	28,094	20,673	48,767	1,055	400
1	0	94	1,118	500	1,618	145	—
120	143	45,543	150,520	105,353	255,873	10,838	4,325

通 学 区 域

小学校名	通 学 区 域
新 居 浜	大江町、港町、若水町一丁目、若水町二丁目、菊本町一丁目、菊本町二丁目、新須賀町一丁目、新須賀町二丁目、新須賀町三丁目、新須賀町四丁目
宮 西	西町、中須賀町一丁目、中須賀町二丁目、西原町一丁目、西原町二丁目、西原町三丁目、泉池町、泉宮町、宮西町、徳常町、繁本町
金 子	一宮町一丁目、一宮町二丁目、久保田町一丁目、久保田町二丁目、久保田町三丁目（1番から9番まで）、八雲町、平形町、田所町、庄内町一丁目、庄内町二丁目、庄内町三丁目、庄内町四丁目（1番から3番まで、5番30号から39号まで）、庄内町五丁目、庄内町六丁目、江口町（1番から3番まで、5番、6番、8番から17番まで）、北新町（1番、2番、4番、5番）、城下町（1番から6番まで）
金 栄	滝の宮町、西の土居町一丁目、西の土居町二丁目（1番から7番まで、9番から17番まで）、高木町、政枝町一丁目、政枝町二丁目、政枝町三丁目、久保田町三丁目（10番、11番）、庄内町四丁目（4番、5番（金子小学校の区域を除く。）、6番、7番）、坂井町一丁目、坂井町二丁目、金子丙（1番地から30番地まで）
高 津	宇高町一丁目、宇高町二丁目、宇高町三丁目、宇高町五丁目（1番から9番まで、12番、13番）、沢津町一丁目、沢津町二丁目、沢津町三丁目、東雲町一丁目、東雲町二丁目、東雲町三丁目（1番から8番まで）、松の木町（1番）、高津町、清水町、南小松原町、桜木町、郷一丁目（1番、7番）、郷五丁目（2番）、高田二丁目（1番、6番）、田の上四丁目（6番から9番まで）
浮 島	松の木町（2番から13番まで）、宇高町四丁目、宇高町五丁目（10番、11番、14番、15番）、垣生六丁目（1番、15番）、八幡一丁目（9番から21番まで）、八幡二丁目、八幡三丁目（1番、4番4号から18号まで・36号・40号・43号、5番から8番まで、9番3号・39号から54号まで、10番38号から48号まで）
惣 開	星越町、前田町、王子町、河内町、北新町（3番、6番から13番まで）、西の土居町二丁目（8番）、磯浦町（1番）、江口町（4番、7番、18番）、金子丙（金栄小学校の区域を除く。）
若 宮	惣開町、新田町一丁目、新田町二丁目、新田町三丁目、磯浦町（2番から19番まで）、新居浜乙
垣 生	垣生一丁目、垣生二丁目、垣生三丁目、垣生四丁目、垣生五丁目、垣生六丁目（2番から14番まで）、八幡一丁目（1番から8番まで）、八幡三丁目（2番、3番、4番（浮島小学校の区域を除く。）、9番（浮島小学校の区域を除く。）、10番（浮島小学校の区域を除く。）、長岩町、垣生
神 郷	郷一丁目（2番から6番まで、8番から16番まで）、郷二丁目、郷三丁目、郷四丁目、郷五丁目（1番、3番から9番まで）、東雲町三丁目（9番）、清住町、落神町、又野一丁目、又野二丁目、又野三丁目、高田一丁目、高田二丁目（2番から5番まで）、田の上一丁目、田の上二丁目、田の上三丁目、田の上四丁目（1番から5番まで、10番から12番まで）、松神子一丁目、松神子二丁目、松神子三丁目、松神子四丁目、神郷一丁目、神郷二丁目、楠崎一丁目（1番、3番、4番33号から46号まで・60号から62号まで・65号・66号・5番から8番まで）、楠崎二丁目、多喜浜一丁目（8番1号から16号まで・56号から89号まで）、多喜浜四丁目（8番1号から11号まで・28号から53号まで、9番、10番）、多喜浜五丁目（10番1号から8号まで）、郷、郷乙
多 喜 浜	楠崎一丁目（2番、4番（神郷小学校の区域を除く。）、多喜浜一丁目（1番から7番まで、8番（神郷小学校の区域を除く。）、9番、10番）、多喜浜二丁目、多喜浜三丁目、多喜浜四丁目（1番から7番まで、8番（神郷小学校の区域を除く。）、11番、12番）、多喜浜五丁目（1番から9番まで、10番（神郷小学校の区域を除く。）、11番、12番）、多喜浜六丁目、阿島一丁目、阿島二丁目、阿島三丁目、阿島四丁目、阿島、荷内町、黒島一丁目、黒島二丁目、黒島、大島

小学校名	通 学 区 域
泉 川	松木町、西喜光地町、喜光地町一丁目、松原町、坂井町三丁目、瀬戸町、寿町、星原町、上泉町、外山町、岸の上町一丁目、岸の上町二丁目、城下町（7番）、下泉町一丁目、下泉町二丁目、観音原町、東田一丁目、東田二丁目、東田三丁目、国領一丁目、光明寺一丁目、光明寺二丁目
船 木	船木、七宝台町
中 萩	萩生、横水町、本郷一丁目、本郷二丁目、本郷三丁目、中萩町、上原一丁目、上原二丁目、上原三丁目、上原四丁目、中村一丁目、中村二丁目（1番から15番まで）、中村三丁目（3番から11番まで）、中村四丁目（3番から9番まで、11番、15番から18番まで）、御蔵町（2番、3番）、中村松木一丁目、中村松木二丁目、土橋一丁目、土橋二丁目（1番から10番まで、13番、14番）、大永山（出口、小味地）
大 生 院	大生院
角 野	土橋二丁目（11番、12番、15番から17番まで）、中村二丁目（16番）、中村三丁目（1番、2番）、中村四丁目（1番、2番、10番、12番から14番まで）、御蔵町（1番、4番から13番まで）、喜光地町二丁目、西泉町、西連寺町一丁目、西連寺町二丁目、篠場町、山田町、山根町、中西町、宮原町、中筋町一丁目、中筋町二丁目、北内町一丁目、北内町二丁目、北内町三丁目、北内町四丁目、吉岡町、角野新田町一丁目、角野新田町二丁目、角野新田町三丁目、種子川町、角野、大永山（出口・小味地を除く。）、立川町、種子川山
別 子	別子山

中学校名	通 学 区 域
東	高津小学校区、松の木町、宇高町四丁目
西	惣開小学校区、若宮小学校区、江口町、北新町
南	金子小学校区（北中学校区、西中学校区を除く。）、金栄小学校区
北	新居浜小学校区、宮西小学校区、一宮町二丁目（2番18号から42号まで・100号から末号まで、3番から5番まで、6番32号から67号まで・100号から末号まで）
泉 川	泉川小学校区
船 木	船木小学校区
中 萩	中萩小学校区
大 生 院	大生院小学校区
角 野	角野小学校区
川 東	垣生小学校区、神郷小学校区、多喜浜小学校区、浮島小学校区（東中学校区を除く。）、
別 子	別子小学校区

園児・児童・生徒数の推移（平成21～30年度）

（毎年度5月1日現在）

学校 \ 年度	21	22	23	24	25	26	27	28	29	30
新居浜小学校	263	264	250	228	234	215	(見込)214	(見込)195	(見込)203	(見込)205
宮西小学校	311	298	297	280	260	248	259	253	246	254
金子小学校	751	740	721	706	681	673	675	678	719	737
金栄小学校	304	328	345	353	351	334	351	375	381	369
高津小学校	764	751	757	745	722	725	691	673	638	634
浮島小学校	115	121	111	105	110	107	138	156	182	194
惣開小学校	332	328	320	301	300	301	294	296	284	280
若宮小学校	94	102	95	89	83	78	68	58	53	60
垣生小学校	258	260	267	263	272	284	283	274	274	269
神郷小学校	618	584	561	577	548	565	574	566	563	546
多喜浜小学校	243	215	221	202	196	164	162	156	155	164
大島小学校	0	0	0	0	—	—	—	—	—	—
泉川小学校	528	511	494	478	485	505	522	531	558	591
船木小学校	455	439	431	423	384	366	363	360	366	359
中萩小学校	1,060	1,071	1,061	1,030	1,000	973	988	974	972	965
大生院小学校	284	275	255	256	242	241	239	233	240	228
角野小学校	643	665	672	659	649	653	656	651	639	633
別子小学校	5	2	2	1	2	3	3	2	2	5
小学校計	7,028	6,954	6,860	6,696	6,519	6,435	6,480	6,431	6,475	6,493
東中学校	405	395	379	387	397	400	403	374	354	330
西中学校	315	302	314	306	302	294	259	243	209	197
南中学校	417	459	462	481	467	459	470	475	497	504
北中学校	244	263	272	283	244	255	243	268	250	239
泉川中学校	254	255	265	269	265	254	253	247	252	236
船木中学校	201	210	209	215	211	218	211	200	179	185
船木中学校ひびき分校	10	14	18	16	6	9	0	0	0	0
中萩中学校	571	575	589	560	551	543	527	544	520	523
大生院中学校	168	154	151	145	146	141	138	126	116	116
角野中学校	353	325	334	315	329	330	317	323	332	333
川東中学校	525	551	562	559	543	569	566	585	577	592
別子中学校	2	5	5	3	0	1	1	2	2	2
中学校計	3,465	3,508	3,560	3,539	3,461	3,473	3,388	3,387	3,288	3,257
王子幼稚園	123	121	109	103	120	120	—	—	—	—
神郷幼稚園	52	55	52	60	79	71	—	—	—	—
幼稚園計	175	176	161	163	199	191	—	—	—	—

※ 大島小学校 …… H25. 3. 31 廃校

中学校卒業者の進路状況

() 卒業者に対する百分率

区分 年度	卒業者数	進学者数	就 職 者 数			公共職業能力 開発施設等 入 学 者	そ の 他 自 己 就 職 家事手伝等
			県 内	県 外	総 数		
25	1,153	1,129 (97.9)	7 (0.6)	2 (0.2)	9 (0.8)	0 (0.0)	15 (1.3)
24	1,200	1,179 (98.3)	9 (0.8)	0 (0.0)	9 (0.8)	0 (0.0)	12 (1.0)
23	1,194	1,166 (97.7)	15 (1.3)	0 (0.0)	15 (1.3)	0 (0.0)	13 (1.1)
22	1,123	1,096 (97.6)	12 (1.1)	0 (0.0)	12 (1.1)	3 (0.3)	12 (1.1)
21	1,163	1,121 (96.4)	24 (2.1)	0 (0.0)	24 (2.1)	2 (0.2)	16 (1.4)
20	1,093	1,067 (97.6)	11 (1.0)	0 (0.0)	11 (1.0)	1 (0.1)	14 (1.3)
19	1,131	1,101 (97.3)	15 (1.3)	0 (0.0)	15 (1.3)	1 (0.1)	14 (1.2)
18	1,138	1,101 (96.7)	16 (1.4)	0 (0.0)	16 (1.4)	3 (0.3)	18 (1.6)
17	1,139	1,106 (97.1)	13 (1.1)	0 (0.0)	13 (1.1)	2 (0.2)	18 (1.6)
16	1,231	1,194 (97.0)	5 (0.4)	0 (0.0)	5 (0.4)	2 (0.2)	30 (2.4)
15	1,274	1,235 (96.9)	1 (0.1)	0 (0.0)	1 (0.1)	1 (0.1)	37 (2.9)
14	1,319	1,274 (96.6)	3 (0.2)	0 (0.0)	3 (0.2)	0 (0.0)	42 (3.2)
13	1,376	1,321 (96.0)	2 (0.1)	0 (0.0)	2 (0.1)	1 (0.1)	52 (3.8)
12	1,410	1,362 (96.6)	4 (0.3)	1 (0.1)	5 (0.4)	1 (0.1)	42 (3.0)
11	1,469	1,429 (97.3)	9 (0.6)	0 (0.0)	9 (0.6)	1 (0.1)	30 (2.0)
10	1,473	1,428 (96.9)	5 (0.3)	0 (0.0)	5 (0.3)	0 (0.0)	40 (2.7)
9	1,511	1,452 (96.1)	21 (1.4)	1 (0.1)	22 (1.5)	4 (0.3)	33 (2.2)
8	1,516	1,455 (96.0)	5 (0.3)	1 (0.1)	6 (0.4)	2 (0.1)	53 (3.5)
7	1,599	1,550 (96.9)	8 (0.5)	1 (0.1)	9 (0.6)	1 (0.1)	39 (2.4)
6	1,710	1,664 (97.3)	13 (0.8)	0 (0.0)	13 (0.8)	1 (0.1)	32 (1.9)

(学校基本調査による)

発 達 支 援 課

重点目標

障がいや発達課題のある子どもが、地域でともに育ち、学び、働き、暮らす支援の体制づくりに取り組み、障がいの有無にかかわらず、誰もが相互に人格と個性を尊重し支えあう共生社会の構築を目指し、インクルーシブ教育を推進する。

新居浜市の特別支援教育の中核的機関として設置した「こども発達支援センター」を中心に、乳幼児期から就労時期まで各ライフステージに対応する関係機関と連携し、子ども一人一人の教育的ニーズを踏まえ、その能力を十分に伸ばし、生活上や学習上の困り感を軽減するため、一貫した支援や指導を包括的かつ継続的に実施またはコーディネートする。

最重要課題

障がいや発達課題のある子どもへの生涯にわたる一貫した支援の推進

重点事項

I 特別支援教育の充実

1 特別支援教育を推進するための支援体制の充実と教育環境の整備

- (1) 適切な指導と必要な支援が行えるよう特別支援教育校内委員会の機能を高める。また特別支援教育コーディネーターの研修を行い、特別支援教育コーディネーターの実践力の向上を図り、校内支援体制の充実に努める。
- (2) 巡回相談を年間計画に位置づけ、定期的に支援会議を開く等、教育的ニーズに応じた支援を効果的に行う。また、特別支援学校のセンター的機能等を積極的に活用する。
- (3) 多様な教育的ニーズに対応するために、各種研修会や講演会等に積極的に参加し、また校内研修を充実させて教職員の資質・能力の向上を図る。

2 学校・家庭・地域・関係機関の連携による特別支援教育の充実

- (1) 学校経営計画に各学校の特別支援教育の取り組み方針を具体的に明記する等、あらゆる機会を通して、特別支援教育に対する理解と啓発に努める。
- (2) 発達支援課等と連携し、長期的な視点で適切な指導と必要な支援を行うために、「個別の教育支援計画」(新居浜市サポートファイル「にっこ・にこ」)を作成するとともに積極的に活用する。
- (3) 家庭や地域社会との連携を深めるとともに、小・中連携や小・小連携等中学校区内の学校相互の連携や交流を図ることに努める。また、特別支援学級と通常の学級双方の児童生徒の教育的ニーズを十分把握し、特別支援学級の弾力的運用等の校内協力体制を構築し、交流及び共同学習を積極的に推進する。

3 一人一人の障がいの状態や発達の段階等、教育的ニーズに応じた指導・支援の充実

- (1) 児童生徒の障がいの状態等に応じたきめ細やかな指導・支援を行うために、創意工夫を生かした教育課程の編成・実施に努める。
- (2) ユニバーサルデザインを生かした指導、授業形態や集団の構成の工夫、それぞれの教師の専門性を生かした協力的な指導などにより、効果的な学習活動の展開に努める。(特別支援教育ハンドブックの活用)

- (3) 一人一人の実態を的確に把握し、「個別の指導計画」を作成、積極的に活用することにより、個に応じた指導・支援の充実に努める。
- (4) 児童生徒が自己の在り方や生き方を考え、主体的に進路を選択できるよう、キャリア教育の視点に立った特別支援教育の充実に努める。

II 発達支援の推進

1 関係機関の連携による継続した支援

発達支援に関わる医療、保健、福祉、教育、労働、地域の各関係機関を構成メンバーとする地域発達支援協議会において、関係機関相互の効果的なネットワーク方策と総合的な支援システムの構築を図る。

2 早期発見、早期支援体制の充実

- (1) 乳幼児健康診査時における障がいや発達課題の早期発見のためのスクリーニング強化方策(M-C HAT)の導入とフォローアップの充実など就学前の早期発見体制の強化を図る。
- (2) 個別療育、小集団療育、構音訓練、個別SST等を内容とする早期療育通園事業(親子通園事業)の運営を充実し、心身の発達に課題のある未就学児に日常生活における基本的動作及び集団生活への適応訓練等の指導、療育を行い早期療育体制の強化を図る。
- (3) マンパワー強化事業(実技研修会)や専門研修等を通じて保健師、保育士、指導員、教職員等関係職員の専門性の向上を図り、早期発見、支援体制の充実と人材育成を図る。

3 相談支援体制の充実

- (1) 心理専門家等による保育所、幼稚園、小・中学校、高等学校での巡回相談を実施し、障がいや発達課題のある子どもの早期発見、早期対応及び継続支援の充実に努める。
- (2) 障がいや発達課題のある子どもだけでなく、その兄弟姉妹や家族に対しても適切な情報の提供と相談や助言など必要な支援を行うため、実効性のある相談支援体制の整備を図る。

4 個別の支援計画(新居浜市サポートファイル「にっこ・にこ」)の作成、活用

多様な関係機関からの支援を総合的に調整していくためのツールとして、保護者と協働で個別の支援計画、個別の教育支援計画を作成し、効果的な運用と定期的な見直し、確実な引き継ぎを実施する。

5 ボランティア、地域との連携

住み慣れた身近な地域で療育やサービスが受けられるように、地域で様々な活動を行っている親の会や子育てサークル、NPOなどに対して必要な支援を行い地域資源の充実に努める。

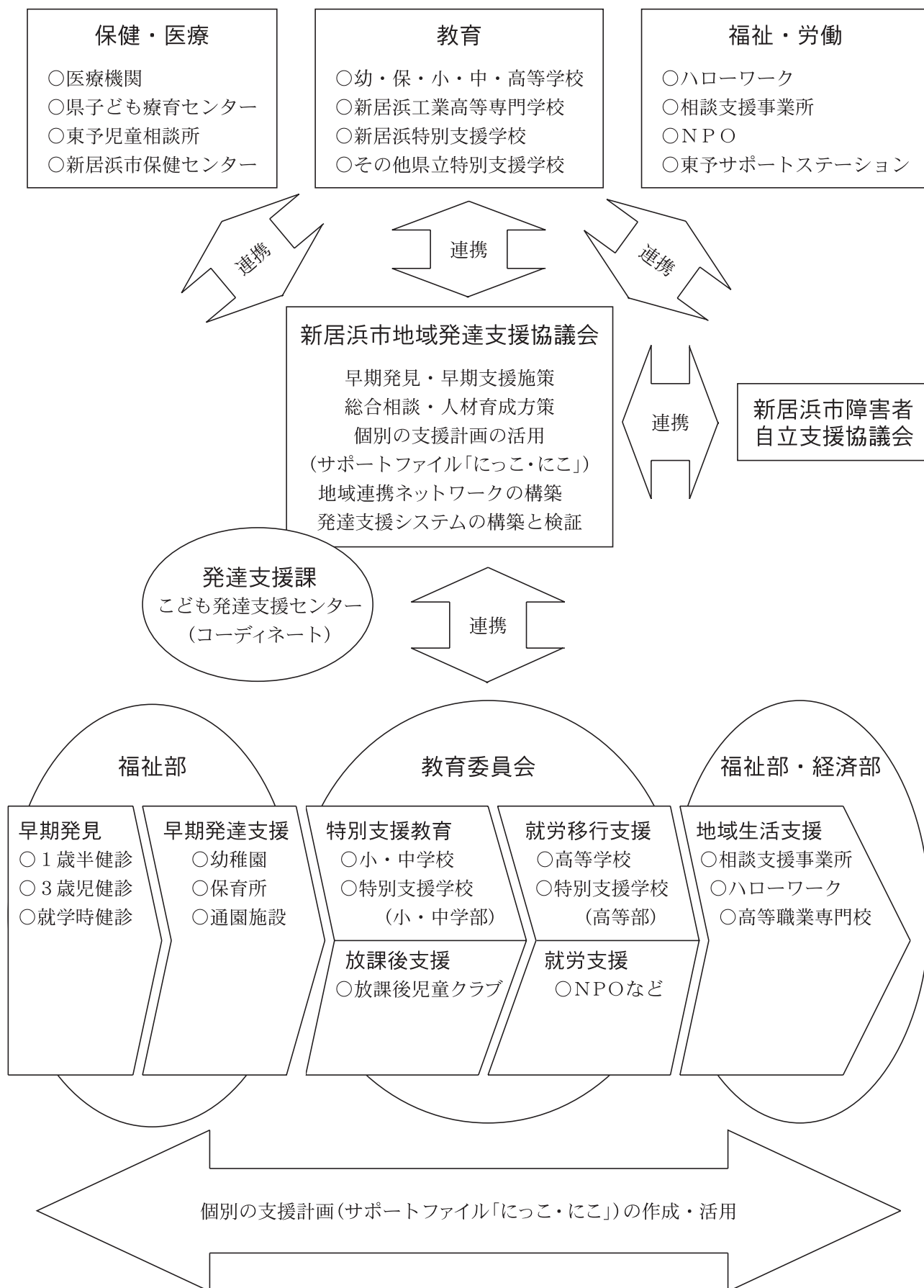
6 専門的知識を有する人材の確保

障がいや発達課題の子どもたちへの適切な支援を確保していくために、医療、保健、福祉、教育、労働等の分野において、専門的知識を有する人材の確保に向けた取り組みを進める。

7 障がいに対する啓発の推進

発達障がいなどに対する理解を深めるとともに、障がい者が生き生きと安心して生活できる地域づくりを目指して広報、講演会や研修会など普及、啓発活動を積極的に行う。

発達支援システムイメージ図



学 校 給 食 課

重点目標

子どもたちの健康を守るとともに、安全で喜ばれる給食づくり

重点事項

- 1 食中毒予防対策の徹底を図り、衛生管理の向上・安全保持に努める。
- 2 学校給食設備・備品の整備充実に努める。
- 3 適正な物資の調達に努める。
- 4 地域農産物の活用に努める。
- 5 学校・家庭・地域が連携し、食生活の改善を図るとともに食文化の継承等に努める。
- 6 心のふれ合う楽しい学校給食の展開に努める。
- 7 学校の教育活動全体を通して、実践的・総合的な食に関する指導に努める。
 - ア 発達段階に即した指導
 - イ 個人に応じた指導（アレルギーに対応した給食等）
 - ウ 献立を通じた指導
 - エ 多様な経験ができる指導
- 8 学校給食施設の老朽化への具体的対応を検討する。

施設状況

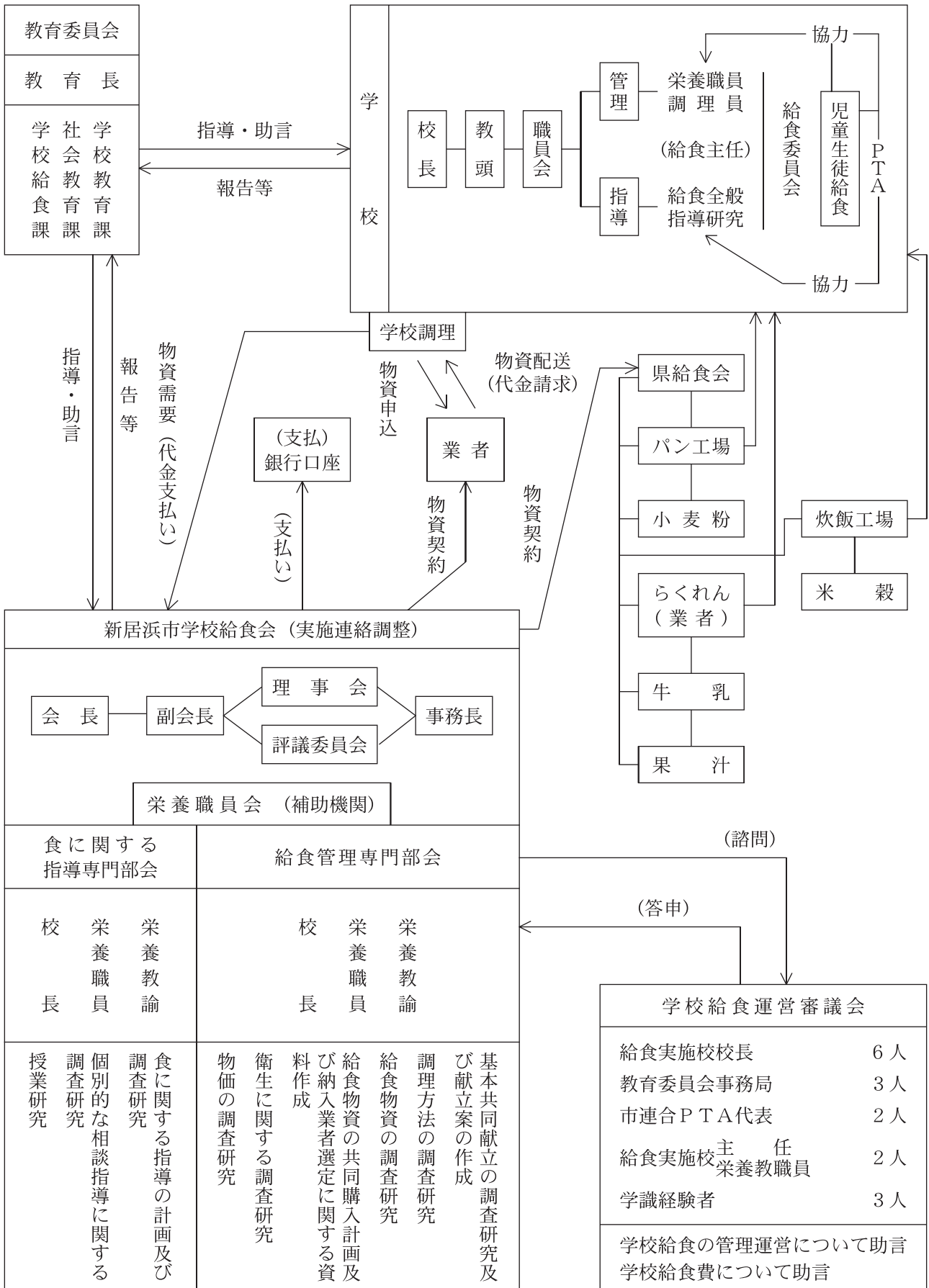
施設名	所在地	建設年月日	構造	敷地面積	建物面積	電話	所(場)長氏名
学校給食センター	瀬戸町12番38号	平成 13. 3	鉄骨造2階建 外	4,597m ²	(本体) 2,232m ² (その他) 84m ²	31-7470	桑原 一郎
高津共同調理場	宇高町二丁目 13番7号	昭和 57. 2	鉄筋コンクリート造 陸屋根平屋建 外 (平成10.8 増築)	—	(本体) 260m ² (その他) 12m ²	37-3797	伊藤 孝嗣

※ 小学校給食室省略

〔対象校〕 学校給食センター 西中・南中・北中・泉川中・船木中・中萩中・角野中・川東中
愛媛県立新居浜特別支援学校・泉川小(米飯のみ)

高津共同調理場 高津小学校・東中学校

学校給食運営組織図



新居浜市学校給食の推移

年度	給食の形態		1食当たりの給食費(円)	献立等	購入
	ミルク給食	還元牛乳			
S22	市内全小学校				
23~			小1校		
25			小2校		
26~			小4校	15	各校単独献立
31			小5校		
32			小6校		栄養職員1名で立案
33			小7校		市教委栄養職員指導
34			小8校		各校へ栄養職員配置
35			小12校		
36	↓		小13校	↓	準共同購入 (乾物・砂糖のみ)
37~		市内全小中学校	小16校・中2校	25	
39				30	
40				↓	(卵追加)
41~				40	準共同献立
43				46	完全共同献立
44			↓	↓	完全共同購入
45		↓	小16校・中1校	55	
46		10月より牛乳	↓	65	
47			小17校・中1校	70	
48				85	
49~				130	11月栄養職員員費切替
51		↓		150	米飯週1回実施
52		9月より紙容器			
53			金子、船木		
54			泉川、垣生	↓	
55			宮西、金栄、浮島、大生院	160	4月から10月ジュース実施
56~			神郷、惣開、多喜浜	↓	2学期から米飯週2回実施
58			高津	180	全校へおはし導入
59			若宮		
60			角野、中萩		ジュース 5, 6, 7, 9月実施
61~					2学期から米飯週2.5回実施
H1				↓	学校給食地域農産物等活用 モデル指定校(神郷小)
2				小200 中220	米飯週3回実施 学校給食情報ネットワーク化 事業モデル校(大生院小)
3					給食用食器強化磁器導入 (惣開小)
4					学校給食地域農産物等活用 モデル指定校(角野小)
5				↓	"
6~				小220 中260	
10			小17校・中2校		高津共同調理場設置
11					
12					
13			小17校・中10校		地元産米の使用 学校給食センター設置
14			↓		
15			小18校・中11校		
16					
17					
18					
19					
20				↓	
21				21.9~ 小240 中280	
22					別子小中学校調理場改修
23					地元産米を地元業者納入
24			↓		
25		↓	小18校・中10校	↓	↓

※ 平成25年度～大島小学校 廃校、別子中学校 休校

スポーツ文化課

重点目標

1 体育・スポーツ活動の推進・充実

すべての市民が親しめる社会体育の推進と競技スポーツの振興を図り、新居浜市スポーツ推進計画の基本理念である「市民のライフステージに応じて親しむ・楽しむ・育てるスポーツまちづくり」を目指す。

2 芸術・文化活動の推進・充実

地域の芸能・文化活動をより一層発展させるため、市民の自主的な参画を促進し、すそ野の拡大と質の向上を図る。

主要事業

1 市民体育・スポーツ振興

- (1) 市民体育スポーツの振興と社会教育団体等の組織の充実を図るため、市体育協会等の団体を支援する。
- (2) スポーツ関係指導者の資質の向上と育成を図るため、講習会、研修会を開催する。
- (3) 競技スポーツ振興の基盤となる中高生及び青少年のスポーツ活動の促進と競技力の向上を図るため、各種スポーツ教室・スポーツ大会を実施し、高校運動部活動を支援する。
- (4) 各種スポーツ大会への選手派遣の助成を行う。

【主な年行事】

市民体育祭

少年スポーツ大会

スポーツ指導者講習会

2 芸術文化活動の奨励

- (1) 地域住民が積極的に各種の芸術文化活動に参加し、創作や表現の喜びを味わえる機会の拡大を図るための発表・展覧会を実施する。
- (2) 文化協会その他のグループ・サークルの活動の促進を図るため芸術文化事業を支援する。
- (3) 中央の優れた芸術鑑賞、機会の拡充を図るため、公演会を開催する。

【主な年行事】

にいはま春の市民文化祭

秋の芸術祭

市美術展覧会

3 文化財の保存活用

- (1) 市民の文化財に対する理解と認識を深めるため、文化財・史跡めぐり等を開催する。
- (2) 文化財の調査研究記録・遺跡台帳の整備を図るため、現地調査等を実施する。
- (3) 公共事業に伴う埋蔵文化財が発掘された場合は、調査報告書を作成する。

【主な年行事】

文化財めぐり

課 題

- 1 体育・文化施設の老朽化への対応
- 2 体育・文化施設の借地解消
- 3 総合型地域スポーツクラブの構築

体 育 施 設 一 覧 表

施設名	所在地	建設年月日	構造	面積(敷)	面積(建)	電話	管理者
市民体育館	東雲町一丁目 1番25号	昭和 52. 8	鉄筋コンクリート造 3階建	m ² 4,863	m ² 6,163	34-1888	文化体育 振興事業団
山根総合体育館	角野新田町 三丁目14番1号	昭和 62. 3	鉄筋コンクリート造 2階建	m ² 5,358	m ² 3,252	43-2905	"
多喜浜体育館	多喜浜四丁目 3番7号	昭和 59. 3	鉄筋コンクリート造 2階建	m ² 1,953	m ² 1,179	46-2466	"
東雲市民プール	東雲町一丁目 1番13号	昭和 47. 6	鉄筋コンクリート造	m ² 10,744	524m ² 水面積 2,840m ²	32-3595	"
山根公園屋内プール	角野新田町 三丁目14番2号	昭和 63. 9	鉄筋コンクリート造2 階建プール棟は鉄骨造	m ² 7,400	1,527m ² 水面積 395.5m ²	43-1411	"
別子山市民プール	別子山甲 335番地の1	昭和 57. 3	樹脂一部コンクリート造	m ² 1,430	m ² 200		別子校区 連合自治会
市営野球場	新須賀町三丁目 2番54号	昭和 60. 7	鉄筋コンクリート造 3階建	m ² 15,269	m ² 4,448	34-0518	文化体育 振興事業団
武徳殿	徳常町4番6号	昭和 13. 11	木造瓦葺平家建	m ² 2,362	m ² 584		"
弓道場	徳常町4番15号	平成 5. 3	木造平家建	m ² 546	m ² 103		"
重量挙げ練習場	徳常町4番6号	昭和 61. 2	鉄骨造平家建	m ² 297	m ² 228		"
文化振興会館	徳常町4番8号	平成 5. 3	鉄筋コンクリート造 3階建	m ² 456	m ² 993	36-0800	"
山根市民グラウンド	角野新田町三丁目 2822番地の9			m ² 13,403			"
別子山市民グラウンド	別子山乙 304番地の8	昭和 57. 3		m ² 1,470			別子校区 連合自治会
市民テニスコート	庄内町二丁目地先 及び南小松原町地先	昭和 59. 10	クレーコート6面	m ² 6,600	80m ² コート 4,314m ²	36-2071	文化体育 振興事業団
		昭和 57. 3	全天候型ウレタンコート 硬式4面	m ² 4,000	コート 2,885m ²	"	"
		平成 24. 10	クレーコート 軟・硬両用3面	m ² 2,405	コート 1,855m ²	"	"
		平成 24. 10	全天候型人工芝6面	m ² 6,600	m ² 4,314	"	"
山根公園テニスコート	角野新田町 三丁目12番	平成 4. 3	全天候型人工芝6面 練習コート3面(壁打)	m ² 5,117	317m ² コート 5,117m ²	43-2151	"
東雲競技場	東雲町三丁目地先	平成 5. 3	全天候型300mトラック 及び投てき場	m ² 13,000	m ² 70		"
市営サッカー場	観音原町乙 109番地	平成 11. 7	天然芝グラウンド2面 管理棟(鉄骨造平家建)	m ² 22,220	m ² 168	66-2522	"

教 育 施 設 一 覧 表

施設名	所在地	建設年月日	構造	面積(敷)	面積(建)	電話	管理者
銅山の里自然の家	立川町654番地の3	昭和 63. 7	木造コロニアル葺 2階建外	m ² 17,050	m ² 1,446	32-1300	文化体育 振興事業団

文化施設一覽表

名 称	市 民 文 化 セ ン タ ー	管理者	文化体育振興事業団
所 在 地	繁本町8番65号 ☎ 33-2180		
敷地面積	18,337 m ²		
構 造	鉄筋コンクリート造地下1階地上3階	鉄筋コンクリート造地下1階地上4階	
建物面積	3,713 m ²	2,166 m ²	
延床面積	5,064 m ²	4,620 m ²	
ホ ー ル	大ホール (1,181席)	中ホール (固定486席 車いす席3)	
会 議 室		洋室10、和室2	
教 室		料理・茶華各1、視聴覚1	
プラネタリウム		プラネタリウム室 (72席)	
展 示		展示室1	
そ の 他	老人社交室	相談室、保育室	
駐 車 場	駐車可能台数 170 台		
工 事 費	3億5,000万円	5億4,400万円	
完 成	昭和37年11月3日	昭和49年8月9日	
改 修	<p>【工 期】 昭和61年12月18日 ～ 昭和62年4月25日</p> <p>【工 事 費】 4億500万円</p> <p>【工事概要】 せり舞台を新設 (約100m²) 舞台天井・側面に音響反射板 の新設 客席の幅を拡大 前部客席に床暖房設備を設置 防音扉の設置</p>		
名 称	別 子 山 ふ る さ と 館	管理者	別子校区連合自治会
所 在 地	別子山甲345番地 ☎ 64-2305	完成年月日	H 2 . 7 . 31
施 設 内 容 等	資料館 1階 86.64 m ² 2階 146.87 m ² 管理棟 2階 127.17 m ² 展示 銅山歴史、遺跡案内、登山案内等パネル 岩石標本 銅山、物産関係		

国 指 定 文 化 財 (5)

(H 26. 4. 1 現在)

名 称	種 類	所 在 地	所有者・管理者	指定年月日
旧広瀬家住宅	建 造 物	上原二丁目 10 番 52 号	新 居 浜 市	H15. 5. 30
太刀銘守次革包太刀拵	工 芸		個 人 蔵	S 30. 2. 2
太刀銘行秀	工 芸		個 人 蔵	S 30. 6. 22
剣銘国永	工 芸		個 人 蔵	S 31. 6. 28
一宮神社のクスノキ群	天然記念物	一宮町一丁目 3 番 1 号	一 宮 神 社	S 26. 6. 9

県 指 定 文 化 財 (15)

(H 26. 4. 1 現在)

名 称	種 類	所 在 地	所有者・管理者	指定年月日
経堂「大転輪蔵」	建 造 物	山根町 8 番 1 号	瑞 応 寺	S 45. 3. 27
木造薬師如来坐像	彫 刻	高木町 3 番 21 号	河 内 寺	S 54. 9. 14
太刀銘国継	工 芸		個 人 蔵	S 30. 11. 4
短刀銘井上真改延宝三年八月日	工 芸		個 人 蔵	S 34. 3. 31
太刀無銘	工 芸		個 人 蔵	S 39. 3. 27
銅銭承和昌宝	工 芸	黒島二丁目 7 番 70 号	明 正 寺	S 40. 4. 2
金銅密教法具	工 芸	黒島二丁目 7 番 70 号	明 正 寺	S 40. 4. 2
太刀銘正恒	工 芸		個 人 蔵	S 43. 3. 8
金子山古墳出土品	考 古 資 料	西の土居町二丁目 16 番 47 号	慈 眼 寺	S 63. 4. 19
別子銅山口屋跡	史 跡	西町 6 番 2 号	新 居 浜 市	S 24. 9. 17
別子ライン	名 勝	立川山、大永山	新 居 浜 市	S 30. 11. 4
広瀬公園	名 勝	上原二丁目 10 番 52 号	新 居 浜 市	S 43. 3. 8
瑞応寺のイチョウ	天然記念物	山根町 8 番 1 号	瑞 応 寺	S 31. 11. 3
赤石山の高山植物	天然記念物	赤石山系	新 居 浜 市 新 四 国 中 央 市	S 32. 12. 14
久貢山のソテツ	天然記念物	多喜浜六丁目 4 番 55 号	天 野 市 三	S 32. 12. 14

市 指 定 文 化 財 (75)

(H 26. 4. 1 現在)

名 称	種 類	所 在 地	所有者・管理者	指定年月日
大元神社本殿	建 造 物	大島字宮山	大 島 八 幡 神 社	S 52. 4. 7
金胎両界曼荼羅	絵 画	黒島二丁目7番70号	明 正 寺	S 40. 6. 3
弘法大師御影像	絵 画	黒島二丁目7番70号	明 正 寺	S 40. 6. 3
絵馬〔渡辺綱鬼女退治図〕	絵 画	新須賀町三丁目4番5号	堀 江 神 社	S 60. 10. 3
釈尊誕生仏	彫 刻	黒島二丁目7番70号	明 正 寺	S 40. 6. 3
十二神将	彫 刻	高木町3番21号	河 内 寺	S 52. 4. 7
木造聖観世音菩薩立像	彫 刻	萩生2635番地	萩 生 寺	S 52. 4. 7
随神	彫 刻	八雲町10番16号	宗 像 神 社	S 52. 4. 7
牛王宝印	彫 刻	八雲町10番16号	宗 像 神 社	S 52. 4. 7
蛙股	彫 刻	八雲町10番16号	宗 像 神 社	S 52. 4. 7
仏海上人作仏像	彫 刻	大島143番地	吉 祥 寺	S 53. 4. 6
木造阿弥陀如来立像	彫 刻	別子山乙551番地7	圓 通 寺	H 15. 11. 4
木造大日如来坐像	彫 刻	別子山乙551番地7	圓 通 寺	H 15. 11. 4
木造聖観音菩薩坐像	彫 刻	別子山乙551番地7	圓 通 寺	H 15. 11. 4
宝篋印塔	石 造 美 術	郷四丁目	上 郷 自 治 会	S 52. 4. 7
狛犬	石 造 美 術	東田三丁目1229番地	東 台 神 社	S 52. 4. 7
太刀銘伝三条小鍛冶宗近作	工 芸	一宮町一丁目3番1号	一 宮 神 社	S 40. 6. 3
仏舍利塔と舍利器	工 芸	黒島二丁目7番70号	明 正 寺	S 40. 6. 3
鉄鉢と二十五条麻袈裟	工 芸	黒島二丁目7番70号	明 正 寺	S 40. 6. 3
獅子王御太刀	工 芸	八幡二丁目4番69号	八 幡 神 社	S 52. 4. 7
孔雀文金銅磬	工 芸	黒島二丁目7番70号	明 正 寺	S 52. 4. 7
秘法三十二箇巻	古 文 書	黒島二丁目7番70号	明 正 寺	S 40. 6. 3
白石家文書	古 文 書	北新町10番1号	新 居 浜 市	H 16. 8. 5
野田家文書	古 文 書	北新町10番1号	新 居 浜 市	H 16. 8. 5
銭がめと古銭	考 古 資 料		個 人 蔵	S 52. 4. 7
古宮経塚出土「経筒」	考 古 資 料	一宮町一丁目5番1号	新 居 浜 市	S 60. 10. 3
正光寺山古墳群出土遺物	考 古 資 料	一宮町一丁目5番1号 郷土美術館	新 居 浜 市	H 25. 3. 13
西条藩領地鳥瞰図屏風	歴 史 資 料	一宮町一丁目5番1号	新 居 浜 市	S 60. 10. 3
瓜生野御堂棟札	歴 史 資 料	別子山瓜生野	近 藤 利 枝	H 15. 11. 4
圓通寺棟札	歴 史 資 料	別子山乙551番地7	圓 通 寺	H 15. 11. 4
石造地藏菩薩立像	歴 史 資 料	別子山乙551番地7	圓 通 寺	H 15. 11. 4
とうどおくり	無形民俗文化財	大島	大 島 自 治 会	S 53. 4. 6
じょうさ節	無形民俗文化財	垣生	じょうさ節保存会	S 53. 4. 6
かぶと踊り	無形民俗文化財	船木	かぶと踊り保存会	H 16. 8. 5
五輪塔群	史 跡	西の土居町二丁目	西の土居自治会	S 40. 6. 3
大師泉縄文遺跡	史 跡	萩生801番地	萩 生 東 老 人 会	S 52. 4. 7
唐津塚	史 跡	上原二丁目	新 居 浜 市	S 52. 4. 7
小山古墳	史 跡	垣生小山	太 子 堂	S 52. 4. 7
桧端住居跡	史 跡	船木4638番地の2	安 葉 誠 之 助	S 52. 4. 7
河内寺の塔礎石	史 跡	高木町3番21号	河 内 寺	S 52. 4. 7
深尾権太輔の墓	史 跡	黒島二丁目7番70号	明 正 寺	S 52. 4. 7
星原市	史 跡	星原町4番	矢 野 忠 俊	S 52. 4. 7
久貢屋敷	史 跡	多喜浜六丁目4番55号	天 野 市 三	S 53. 4. 6
天野喜四郎の墓	史 跡	多喜浜六丁目4番55号	天 野 市 三	S 53. 4. 6

名 称	種 類	所 在 地	所有者・管理者	指定年月日
つづら淵	史 跡	若水町二丁目5番	つづら淵保存会	S53. 4. 6
金子城跡	史 跡	金子山	新 居 浜 市	S53. 4. 6
横山古墳群	史 跡	中萩町13番	新 居 浜 市	S53. 4. 6
岡崎城跡	史 跡	上郷郷山	新 居 浜 市	S53. 4. 6
金子山古墳	史 跡	金子15番地	慈 眼 寺	S58. 1. 6
三義民の碑	史 跡	宇高町二丁目6番 観音堂	宇 高 自 治 会	S60. 6. 6
村上平兵衛の墓	史 跡	又野二丁目5番 阿弥陀堂	又 野 自 治 会	S60. 6. 6
高橋弥市左衛門の墓	史 跡	宇高町二丁目6番 観音堂	宇 高 自 治 会	S60. 6. 6
高橋孫兵衛の墓	史 跡	宇高町二丁目1番52号 地藏堂	高 橋 寛 一	S60. 6. 6
高橋孫兵衛屋敷跡地	史 跡	宇高町二丁目	高 橋 寛 一	S60. 6. 6
金子備後守供養塔を中心とする墓	史 跡	西の土居町二丁目16番47号	慈 眼 寺	S60.12. 5
広瀬家墓所	史 跡	山田町217番地の1	新 居 浜 市	H16. 8. 5
正光寺山古墳群	史 跡	坂井町二丁目149番 正光寺山古墳公園	新 居 浜 市	H25. 3.13
銚子の滝	名 勝	大生院大野山	新 居 浜 市	S53. 4. 6
樽の滝	名 勝	種子川山	新 居 浜 市	S53. 4. 6
バクチノキの群生	天然記念物	大島宇宮山	大 島 八 幡 神 社	S52. 4. 7
ミョウショウジザクラ	天然記念物	黒島二丁目7番70号	明 正 寺	S52. 4. 7
法泉寺のムクノキ	天然記念物	垣生四丁目9番12号	法 泉 寺	S52. 4. 7
大師泉のオオバタネツケバナ	天然記念物	萩生801番地	萩 生 東 老 人 会	S52. 4. 7
ヤクシマツバキ	天然記念物	大生院大野山谷	曾 我 部 伊 与 一	S52. 4. 7
漣痕	天然記念物	荷内町2番5号	真 鍋 麻 直	S52. 4. 7
アッケシソウ	天然記念物	阿島二丁目14番1号	岡 田 秋 稔	S59. 7. 5
中央構造線小河谷断層	天然記念物	萩生1833番地～2960番地の1	伊 達 逸 司	S60. 1.10
宗像神社の参道と社叢	天然記念物	八雲町10番13号	宗 像 神 社	S60.11. 5
黒嶋神社のツバキ群生林	天然記念物	黒島779番地の1	黒 嶋 神 社	S60.12. 5
三島神社の社叢	天然記念物	船木甲5371番地	三 島 神 社	S60.12. 5
龍河神社の社叢	天然記念物	立川496番地の1.2.3 497番地の3	龍 河 神 社	S63. 5.12
保土野溪谷甌穴群	天然記念物	別子山保土野乙475番8地先ほか	国 土 交 通 省	H15.11. 4
オオモミジ	天然記念物	別子山乙551番地13	圓 通 寺	H15.11. 4
山城八幡神社社叢	天然記念物	別子山甲130番地	山 城 八 幡 神 社	H15.11. 4
エドヒガンザクラ	天然記念物	別子山乙83番1	別子校区連合自治会	H25. 3.13

登 録 有 形 文 化 財 (9)

(H26. 4. 1 現在)

名 称	種 類	所 在 地	所有者・管理者	登録年月日
住友化学工業愛媛工場歴史資料館	建 築 物	惣開町5番1号	住友化学株式会社	H13. 4. 24
武徳殿	建 築 物	徳常町4番6号	新 居 浜 市	H16. 3. 2
遠登志橋	土木構造物	立川町620番1地先	新 居 浜 市	H17.12.26
旧別子鉱山鉄道端出場橋(足谷川鉄橋)	土木構造物	立川町682番地先他	住友金属鉱山(株)別子事業所	H21. 8. 25
旧別子鉱山鉄道端出場隧道	土木構造物	立川町682番地	住友金属鉱山(株)別子事業所	H21. 8. 25
旧泉寿亭特別室棟	建 築 物	立川町707番3	(株)マイントピア別子	H21. 8. 25
山根競技場観覧席	工 作 物	角野新田町三丁目2822番9	新 居 浜 市	H21. 8. 25
旧山根製錬所煙突	工 作 物	角野新田町三丁目2822番1	新 居 浜 市	H21. 8. 25
旧端出場水力発電所	建 築 物	立川町594番地	新 居 浜 市	H23. 1. 26

郷 土 美 術 館

重点目標

見る・ふれる・創るを主題に鑑賞・創作活動を触発し、市民の文化意識の高揚と文化活動の振興を図る。

主要事業

1 文化遺産の顕現と伝承

- (1) 資料の収集
- (2) 資料の調査研究、図書充実
- (3) 資料の作成、補修
- (4) 資料の整理、保存
- (5) 学識者、協力員の確保

2 文化展等行事の実施

- (1) 常設展示の内容充実
- (2) 特別展の実施
- (3) 企画展の実施
- (4) 研究会・講習会の開催
- (5) 教室の開設
- (6) 一般展示への会場供与
- (7) 学校・公民館等への資料の貸出

施設状況

所在地	開設年月日	構造	面積(敷)	面積(建)	電話	館長氏名
一宮町一丁目5番1号	昭和56.10	鉄筋コンクリート造 3階建	m ² 1,472	m ² 2,466	33-1030	野口 憲一

資料の収集状況

(平成26年3月31日現在)

種別	人文科学資料					自然科学資料				その他の資料			合計
	美術	考古学	民俗	歴史	計	動物	植物	地学	計	図書	その他	計	
点数	934	7,584	2,434	2,067	13,019	11,491	2,213	1,286	14,990	581	542	1,123	29,132

平成26年度事業計画

(1) 常設展示

【人文科学資料】

歴史・民俗資料（むかしのくらし）

考古資料（石器・土器・瓦・郷土の出土品等）

木の玩具（日本のおもちゃ・郷土のおもちゃ）

太鼓台

【自然科学資料】

岩石・鉱物・鳥瞰模型地図・写真・パノラマ

(2) 企画展

- 館蔵品展（仮称） 1月6日（火）～ 1月25日（日）
- 郷土美術館文化教室成果発表会 3月中旬

(3) 主催展

- 第47回春の市民文化祭（美術の部）前期 4月10日（木）～ 4月15日（火）
- 第47回春の市民文化祭（美術の部）後期 4月17日（木）～ 4月22日（火）
- 第64回新居浜市美術展覧会（秋の市展）前期 10月中旬～ 11月上旬
- 第64回新居浜市美術展覧会（秋の市展）後期 10月中旬～ 11月上旬
- 第34回新居浜子ども美術展 2月上旬～ 2月中旬
- 平成26年度新居浜市小・中学校ふるさと学習奨励賞作品展 2月20日（金）～ 3月3日（火）

(4) 共催展

- 第13回楽描会展 5月14日（水）～ 5月18日（日）
- 第23回新居浜南高等学校美術・書道展 7月25日（金）～ 7月27日（日）
- 天空から新居浜発見物語展 8月20日（水）～ 8月31日（日）
- 第63回秋季県展新居浜移動展 11月中旬
- 第28回高齢者趣味の作品展 12月上旬

(5) 文化教室

- 書道教室（漢字部門） 毎月2回 年24回
- 書道教室（かな部門） 毎月2回 年24回
- 水墨画教室 毎月2回 年24回
- 銅アート教室 毎月2回 年24回
- 自然写真教室 毎月2回 年24回
- 新居浜市自然散歩の集い 年1回 春

広瀬歴史記念館

重点目標

日本の近代化産業を育成した広瀬幸平翁の功績を正しく理解し、新居浜の生い立ちと近代化の歩みを後世に伝えるとともに、未来に向かって市民の活力を育み、文化遺産の継承と生涯学習の拠点施設として活動の振興を図る。

課 題

1 広瀬幸平と近代化遺産の顕彰と伝承

- (1) 資料の収集及び整理保存
- (2) 資料の調査研究と作成・補修
- (3) 関係機関との協調連携
- (4) 図書の実充
- (5) 学者、協力者の確保

2 企画展、行事の開催

- (1) 展示内容の充実（常設展示）
- (2) 特別企画展の実施（年1回）
- (3) 主催事業（研修会、講演）

3 市民へのPR活動

- (1) 文化協会等との連携
- (2) 学校や公民館等諸団体への活動
- (3) 各種のPR資料作成と配布

施設状況

所在地	建設年月日	構造	敷地面積 (㎡)	建物面積 (㎡)	電話	館長等氏名
新居浜市 上原二丁目10番42号	展示館 平成9年4月	鉄筋コンクリート造 地上1階 地下1階	4,688.03	1,072.00	40-6333	特別顧問 末岡 照啓
	旧広瀬邸 明治20年頃	木造瓦葺 2階建	31,827.19	1,361.00	43-4667	館長 久葉 裕可
計			36,515.22	2,433.00		

平成26年度事業計画

1 特別企画展の開催

当館所蔵資料と、住友史料館など関連施設から借用した資料により特別企画展を開催する。また、特別企画展のテーマに合わせた記念講演会を開催する。

2 宰平翁セミナー(出前講座)の開催

「広瀬宰平と別子銅山の近代化」「重要文化財旧広瀬邸を訪ねる」

※ 対象は一般市民。新居浜市ホームページ、市政だより等でPRする。

3 その他

年報やパンフレットを作成し、PRする。

図 書 館

基本方針

生涯学習及び地域情報拠点として、図書館機能の充実に努める。

重点目標

市民の多様なニーズに応えるため、新鮮な資料・情報の提供、学習機会の提供、既存図書館の管理体制強化、さらなる子どもの読書推進事業の展開、計画的な図書館施設の改善を図り、「市民に役に立つ図書館」づくりを進める。

重点事項

- 1 市民の生涯学習活動の支援、推進と機会の提供
市民の自主的、自発的な学習活動を支援するため、資料・情報提供の推進及び学習機会の提供に努める。
- 2 郷土資料の保存と情報発信
郷土の歴史や文化を次世代に継承するため、郷土・行政資料を積極的に収集・保存し、郷土出身者や郷土の産業遺産等についての情報発信を行う。
- 3 関係機関との連携による地域の情報拠点化の推進
市民の読書活動の推進及び地域課題の解決を支援するため、公共図書館相互の連携のみならず、他の関係機関との資料や情報の相互利用等の協力活動の積極的な実施に努める。
本市子育て支援施策との連携、健康支援、ビジネス支援、就業支援、行政支援の実施、地域等関連情報の提供と調査研究を行う。
- 4 学校図書館支援の充実
学校図書館の本来の目的である「学校の教育課程の展開に寄与する」ために、学校図書館支援員6名を小学校に派遣し、学校図書館機能である「学習情報センター機能」「読書センター機能」「教材情報センター機能」の充実に努める。
- 5 図書館PR活動の充実
図書館の活動を市民によく知ってもらい、図書館の利用促進につなげるため、PR活動の改善を図る。
- 6 移動図書館の利用促進
学校の昼休み乗り入れや、高齢者福祉施設、病院、幼稚園等へのステーション設置により、利用促進を図る。
- 7 市民ボランティアの活動支援の推進
市民ボランティアへの活動支援や地域ボランティアの育成を図る。
- 8 資料の収集、除籍の計画的な実施
資料の有効活用を図るため、図書資料の収集、除籍の選定を迅速・計画的に行う。
- 9 施設の維持管理
計画的な図書館施設の改善を図る。

施設状況

施設名	所在地	建設年月日	構造	面積(敷)	面積(建)	電話	館長氏名
市立別子銅山記念図書館(本館)	北新町10番1号	平成4.3	鉄筋コンクリート造 陸屋根・銅板葺 地下1階付2階建	m ² 16,534	m ² 3,072	32-1911	坂本睦美
角野分館	中筋町二丁目4番24号	昭和54.7	鉄筋コンクリート造 2階建	m ² 200	m ² 162	41-6217	

蔵書冊数

(H26. 3. 31 現在・単位：冊)

区分 分類	本館				移動図書館		角野分館			合計
	一般	児童	郷土	参考資料	一般	児童	一般	児童	参考資料	
0 総記	(295) 9,019	(40) 966	(27) 1,762	(23) 2,472	(7) 72	(5) 126	(32) 407	(22) 121	(2) 84	(453) 15,029
1 哲学	(198) 10,431	(42) 578	(6) 150	(4) 422	(33) 152	(16) 165	(32) 245	(22) 88	(0) 2	(353) 12,233
2 歴史	(477) 18,089	(85) 2,939	(83) 2,474	(25) 952	(64) 320	(35) 457	(41) 697	(42) 458	(0) 26	(852) 26,412
3 社会	(676) 24,123	(118) 2,697	(140) 2,838	(33) 827	(39) 243	(8) 202	(80) 578	(17) 337	(0) 4	(1,111) 31,849
4 自然	(618) 14,005	(204) 6,149	(25) 331	(7) 574	(62) 359	(52) 618	(49) 470	(95) 1,103	(0) 12	(1,112) 23,621
5 工学	(676) 15,521	(83) 1,743	(31) 555	(4) 632	(280) 1,048	(20) 166	(110) 992	(49) 356	(0) 3	(1,253) 21,016
6 産業	(181) 5,192	(74) 1,105	(22) 483	(1) 210	(42) 117	(9) 97	(12) 187	(11) 163	(0) 1	(352) 7,555
7 芸術	(449) 22,271	(131) 4,111	(20) 493	(2) 234	(61) 412	(39) 866	(45) 721	(49) 697	(0) 0	(796) 29,805
8 語学	(42) 3,051	(26) 750	(0) 31	(6) 375	(1) 33	(3) 123	(14) 109	(4) 144	(0) 20	(96) 4,636
9 文学	(2,014) 73,995	(567) 26,491	(20) 1,001	(4) 425	(361) 2,336	(166) 3,503	(465) 7,617	(198) 3,359	(0) 3	(3,795) 118,730
C 紙芝居		(58) 1,695				(30) 205		(2) 204		(90) 2,104
E 絵本		(876) 29,183				(368) 5,357		(295) 3,948		(1,539) 38,488
その他										
計	(5,626) 195,697	(2,304) 78,407	(374) 10,118	(109) 7,123	(950) 5,092	(751) 11,885	(880) 12,023	(806) 10,978	(2) 155	(11,802) 331,478

(H26. 3. 31 現在・単位：点)

A V 資料	
C T (カセットテープ)	(0) 34
V T (ビデオテープ)	(0) 1,359
C D	(120) 1,983
D V D	(163) 1,028
計	(283) 4,404

()内は本年度受入数

平成 25 年度の あゆみ

教育委員会の主な施策と実績

1 平成25年度決算額

(1) 教育費

(単位：千円)

項	目	行政目的	事業費	目合計	項合計
教育総務費	教育委員会費	委員報酬	6,349	6,535	727,882
		委員会費	186		
	事務局費	人件費	367,707	373,111	
		事務局運営費	5,275		
		教育政策研究費	129		
	諸費	指導費	1,838	348,236	
		研究所費	2,064		
		教育振興補助金等	317		
		奨学金	116		
		教育施設防火等管理費	1,827		
		特別支援教育運営費	893		
		文化施設管理運営費	126,353		
		文化施設環境整備事業	23,155		
		学校音楽教育振興費	5		
		パソコン管理費	5,960		
		中学生海外派遣費	5,508		
		交通災害遺児修学援助費	19		
		事務用パソコン整備費	3,694		
		公共施設ごみ収集費	8,962		
		いじめ・不登校問題等対策費	14,892		
		教職員住宅管理運営費	712		
		生きた英語教育推進費	20,996		
		別子ハイツ自然学習館管理費	7,233		
		スクールソーシャルワーカー活用事業費	367		
		発達支援教育運営費	3,604		
	発達支援教育充実費	19,382			
	義務教育課程研究県指定校費	871			
市民文化センター耐震補強対策費	91,025				
別子ハイツ自然学習館環境整備事業	592				
標準学力検査実施費	7,851				
小学校費	学校管理費	人件費	0	442,469	797,032
		小学校管理運営費	283,976		
		小学校保健費	34,170		
		小学校体育費	1,426		
		小学校施設環境整備事業	66,547		
		小学校施設環境整備事業(繰越分)	56,350		
	教育振興費	小学校就学援助費	31,265	155,305	
		小学校理科教材備品購入費	1,698		
		小学校教育研究県指定校費	300		
		小学校教育充実費	22,451		
		社会科副読本発行費	0		
		小学校教育用コンピュータ整備費	12,815		
		小学校特別支援教育充実費	78,849		
		小学校夢広がる学校づくり推進事業費	2,730		
いじめ・暴力から身を守る学習事業費	1,081				
小学校ハートなんでも相談員設置事業費	2,240				
小学校特別支援教育就学援助費	1,876				

(単位：千円)

項	目	行政目的	事業費	目合計	項合計			
	学校建設費	小学校大規模改造事業	2,800	199,258				
		塩の学習館建設事業	17,000					
		小学校大規模改造事業(繰越分)	177,568					
		塩の学習館建設事業(繰越分)	1,890					
中学校費	学校管理費	中学校管理運営費	150,931	266,678	348,480			
		中学校保健費	24,442					
		中学校体育費	10,093					
		中学校施設環境整備事業	31,419					
		中学校施設環境整備事業(繰越分)	49,793					
	教育振興費	中学校就学援助費	28,450	81,802				
		中学校理科教材備品購入費	2,245					
		中学校教育研究県指定校費	300					
		中学校教育充実費	20,131					
		中学校指導図書改定費	0					
		中学校ハートなんでも相談員設置事業費	2,100					
		中学校教育用コンピュータ整備費	9,444					
		中学校特別支援教育充実費	16,540					
		中学校夢広がる学校づくり推進事業費	145					
		運動部活動競技力向上事業費	1,473					
		要医療行為児童看護支援費	0					
		中学校特別支援教育就学援助費	974					
		幼稚園費	幼稚園費		人件費	38,531	105,057	105,057
					王子幼稚園管理運営費	2,473		
神郷幼稚園管理運営費	2,335							
幼稚園保健費	763							
就園奨励補助費	31,871							
私立幼稚園私学助成費	4,669							
幼稚園施設環境整備事業	1,358							
幼稚園県研究指定費	0							
幼稚園特別支援教育充実費	6,992							
幼稚園耐震補強対策事業(繰越分)	16,065							
社会教育費	社会教育総務費	人件費	102,900	175,329	630,153			
		社会教育振興費	2,172					
		文化教育費	3,347					
		生涯学習まちづくり推進費	30					
		文化振興基金積立金	8,684					
		文化財保護費	324					
		高齢者生きがい創造学園充実費	10,679					
		高齢者生きがい創造学園環境整備事業	1,858					
		高齢者生きがい創造学園管理運営費	11,670					
		生涯学習センター管理運営費	3,024					
		生涯学習センター充実費	8,896					
		社会教育充実費	7,000					
		芸術文化振興費	1,868					
		こども夢未来基金積立金	2,002					
		大島交流センター整備事業	6,213					
		地域コミュニティ再生支援事業	4,662					
		公民館費	公民館管理運営費			134,446	199,360	
			公民館活動費			1,467		
	公民館推進費		354					

(単位：千円)

項	目	行政目的	事業費	目合計	項合計	
		公民館施設環境整備事業	47,318	203,809		
		地域主導型公民館推進費	11,995			
		公民館耐震補強対策事業	3,780			
	図書館費	図書館管理運営費	53,042			
		図書館充実費	22,520			
		図書館整備事業	113,498			
		図書館図書整備基金積立金	14			
		図書館施設環境整備事業	714			
		ブックスタート事業費	1,728			
		学校図書館支援推進費	12,293			
	郷土美術館費	郷土美術館管理運営費	10,538			14,139
		郷土美術館充実費	3,601			
	青少年教育費	青少年育成強化費	298			298
	青少年センター費	青少年センター管理運営費	2,921			3,084
		補導活動充実費	163			
	広瀬歴史記念館費	広瀬歴史記念館充実費	1,633			34,134
		広瀬歴史記念館管理運営費	32,501			
	保健体育費	保健体育総務費	市民体育振興費			7,123
市民体育祭費			4,678			
学校開放費			6,123			
市民体育充実強化費			7,463			
体育施設建設基金積立金			278			
青少年育成スポーツ活動費			372			
国民体育大会振興費			954			
国民体育大会開催対策費			687			
スポーツ推進審議会費			679			
スポーツ推進計画策定事業費			3,779			
学校スポーツ活性化事業			2,997			
保健体育施設管理費		夜間照明施設整備事業	143,106	233,388		
		夜間照明施設整備事業(繰越分)	90,282			
体育施設費		野外活動施設整備費	1,320	383,841		
		体育施設管理運営費	251,781			
		体育施設環境整備事業	60,192			
		国体施設整備事業	62,274			
		体育施設環境整備事業(繰越分)	8,274			
学校給食費		人件費	213,274	481,487		
		給食運営費	149,751			
		高津共同調理場管理運営費	2,476			
		学校給食センター管理運営費	100,970			
		給食運営改善事業	15,016			
教育費合計				3,742,453		

(2) 民生費

(単位：千円)

項	目	行政目的	事業費	目合計	項合計
児童福祉費	児童福祉総務費	放課後児童対策費	83,266	83,266	83,266

(3) 災害復旧費

(単位：千円)

項	目	行政目的	事業費	目合計	項合計
文教施設 災害復旧費	公立学校災害復旧費	公立学校災害復旧費	6,825	8,337	8,337
	社会教育施設災害復旧費	保健体育施設災害復旧費	1,512		

2 主な施設の建設及び環境整備事業

平成25年度に実施した主な事業は、次のとおり。

【惣開公民館外壁塗装整備】

内 容 外壁塗装整備
事業費 7,150千円
完 成 平成26年 3月



惣開公民館外壁塗装整備

【若宮公民館外壁塗装整備】

内 容 外壁塗装整備
事業費 7,676千円
完 成 平成26年 3月

【大生院公民館外壁塗装整備】

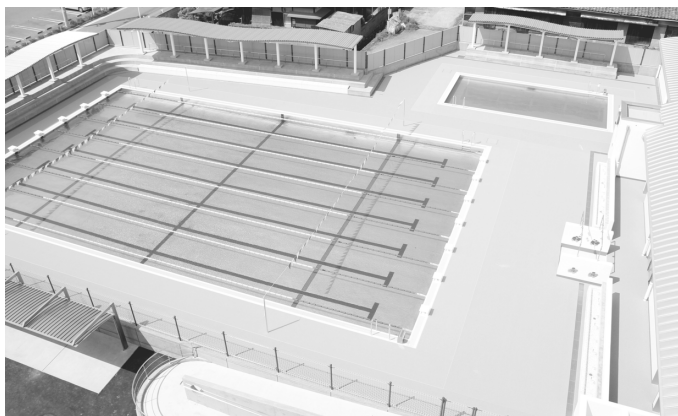
内 容 外壁塗装整備
事業費 8,337千円
完 成 平成26年 3月

【神郷公民館屋上防水整備】

内 容 屋上防水整備
事業費 5,198千円
完 成 平成26年 2月

【大生院公民館体育館屋上防水整備】

内 容 屋上防水整備
事業費 4,190千円
完 成 平成26年 3月



金栄小学校プール建設

【若宮公民館大会議室エアコン更新整備】

内 容 エアコン更新整備
事業費 767千円
完 成 平成25年 6月

【大生院公民館大会議室エアコン更新整備】

内 容 エアコン更新整備
事業費 945千円
完 成 平成25年 6月

【金栄小学校プール建設】

内 容 プール建設
事業費 158,562千円
完 成 平成26年 3月

【多喜浜体育館防水外壁改修整備】

内 容 防水外壁改修
事業費 24,024千円
完 成 平成26年 3月

社会教育課の主な施策と実績

住民が主体的に取り組む地域活動、公民館活動の展開を図るために、平成23年4月から「地域主導型公民館」へと移行されている。また、社会教育拠点、生涯学習拠点、地域づくり拠点と様々な特性を持つ公民館であるが、それぞれの地域の特徴を活かした活動を一層充実させることが公民館の存在意義を高めることに繋がるものとの視点から、地域教育力向上プロジェクト事業として地域の課題解決に向けた取り組みを行った。

また、「放課後子どもプラン」が引き続き実施されるとともに、「こども夢未来基金」を活用した事業も実施され、子どもたちに様々な体験の機会を提供した。

さらに、学校を地域で支える「学校支援地域本部事業」に取り組み、これら事業を通じ、学校と地域の連携体制を整備していくなかで、教員が子どもと向き合う時間の拡充が図られたとともに、地域住民が社会教育で学んだ成果を活かす場として、新たな地域づくりや住民のネットワークづくりが推進される契機となった。

1 青少年を対象とした事業

(1) 子どもの居場所づくりを推進するために、放課後子ども教室推進事業に取り組んだ。

金子、金栄、高津、多喜浜、泉川、大生院、笑顔がいっぱい、土曜寺子屋、若宮、中萩 計10教室開設

(2) 公民館や校区の各種事業において、もちつき大会やしめ縄づくり、郷土芸能保存などの地域の伝統行事、サマーキャンプなどの自然体験等、各種体験活動事業に取り組んだ。

(3) 子ども会、愛護班、ボーイスカウト・ガールスカウトなどの青少年団体の年間の各種行事に対する支援を行った。

(4) 地域全体で子どもの健全な成長、安全・安心を守るため、見守り隊組織の育成を図った。

(5) 保護者が労働等により昼間家庭にいない小学1年～3年生の児童に対し、授業終了後や長期休業中等に小学校の余裕教室、児童館等を利用して適切な遊びや生活の場を提供し、児童の健全な育成を図った。
平成25年度の夏休みから長期休業中に限り小学4年生の受入れを行う。

平成25年度延利用者数 計22クラブ 141,821人

2 家庭を対象とした事業

(1) 未就学児を持つ親を対象とした子育て教室を公民館生涯学習事業等において開設した。

(2) 公民館生涯学習事業において、家庭教育講座を開設するとともに、愛護班が実施する家庭教育懇談会などを通じて、保護者としての意識向上を図る事業を推進した。

3 女性を対象とした事業

女性として、地域や家庭での役割を考え、講座などを通して学ぶことにより、地域コミュニティの一員として、地域に貢献した。具体的には、女性ならではの講座（料理教室や手芸教室等）をすることにより地域コミュニティの輪を広げていき、健康教室や軽スポーツ、七草がゆ、観月会など、老若男女を問わない事業を行うことにより、地域活動への参画を促進していった。また、他団体（PTAや老人会等）と共同の講座を開くことにより、他団体との交流も深めた。講座は、手芸・園芸等といった趣味的な要素を含むものや健康教室・人権同和教室など教養を深める講座や校区の盆踊り教室等、校区に関係しているものや清掃活動等の奉仕作業など多岐にわたるテーマの講座を行うことにより、組織作り、社会活動への参画を促進した。

4 高齢者を対象とした事業

地域で大切にされる高齢者ではなく地域で必要とされる高齢者となるため、地域や家庭の一員として果たすべき役割、健康づくり、社会の変化への対応などについて学習するための講座を開設した。具体的には、輪投げや花づくり等の趣味を兼ねた体を動かす講座や介護予防教室をすることにより、生きがいや健康面での留意点を見つけた。また、人権・同和教育講座や交通安全教室等の講座によって知識を深めた。さらに、しめ縄づくり教室や校区の歴史教室、凧作り教室や昔のあそび等を通して地域文化の継承や世代

間交流を図った。見守り隊や清掃活動等のボランティア活動の推進により、地域で必要とされる高齢者となるよう努めた。

5 成人を対象とした事業

- (1) 現代的課題である「環境問題」、「安全・安心のまちづくり」、「自主防災」、「介護福祉」、「子育て支援対策」等について、出前講座を活用し、公民館で開催される講座等に積極的に取り入れ、「役に立つ公民館」の推進を図った。
- (2) 人権・同和教育関係の講座の実施を各種団体へ提言するとともに、お茶の間人権教育懇談会の開催を積極的に呼びかけ、「差別のないまちづくり」の推進に寄与した。
- (3) 婦人会、PTA、青少年団体等の各種社会教育団体との連携を密に行い、「市民と行政の協働のまちづくり」形成を図った。
- (4) 健康の増進、住民相互の親睦のため、市内小・中学校のグラウンド、体育館等の学校体育施設を広く一般に開放した。

6 新規事業及び強化事業

(1) 学校支援地域本部事業

地域全体で学校教育を支援するため、学校と地域の連携体制の構築を図り、多様な形態の教員支援を行うことで、教員が子どもと向き合う時間の拡充を図るとともに、地域住民が社会教育で学んだ成果を活かす場を提供し、地域活動及び地域教育力の活性化を目指す事業として、平成20年度から9つの学校支援地域本部が立ち上がり、平成25年度には14の本部により取り組んでいる。

泉川小中学校支援地域本部、垣生小学校支援地域本部、中萩小学校支援地域本部、船木小学校支援地域本部、角野小学校支援地域本部、新居浜小学校支援地域本部、浮島小学校支援地域本部、多喜浜小学校支援地域本部、金子小学校支援地域本部、金栄小学校支援地域本部、宮西小学校支援地域本部、神郷小学校支援地域本部、大生院小学校支援地域本部、高津小学校支援地域本部

主な支援活動：登下校指導、授業補助、部活動・クラブ活動指導、環境整備など

(2) こども夢未来基金事業の実施

子どもたちの豊かな心の成長と夢広がるふるさとづくりに資するため、こども夢未来基金を活用し、事業を実施した。

新居浜防災学習リーダー研修

「震災を知らない子どもたちのリーダー研修」として、平成26年2月22日(土)、小学5年生約40人が、北淡震災記念公園(兵庫県淡路市)及び人と防災未来センター(神戸市)の二つの防災関連施設を訪問し、被災者の体験談を聞き、施設見学を行った。悲惨な震災の被害、防災事業の大切さ、自分達でできる自主防災などを学んだ。

今後は、各学校における防災学習のリーダーとしての活躍が期待される。

(3) 「こころのことばコンクール」の実施

新居浜中央ライオンズクラブとの共催事業。夏休み期間中の課題として小中学生を対象に募集した。子どもたちが日頃感じていることを正直に綴ってもらい、大人がその言葉に向き合うことで、子どもの気持ちに少しでも近づくことができればとの思いで実施した。

応募総数 小学生 501作品 中学生 410作品 合計 911作品

受賞発表式 平成25年12月8日(日) 10:00~12:00

場所 ウイメンズプラザ 3階多目的ホール 参加者約180人

7 別子ハイツ自然学習館の利用状況

単位：人

会 議 室			宿 泊		
H 23	H 24	H 25	H 23	H 24	H 25
2,262	986	665	1,017	1,156	865

8 学校体育施設開放の利用状況

- 開放校 小学校17校 中学校10校
- 照明設備使用料（運動場 710円、体育館 200円、武道場 100円）

(単位：人)

区分 学校名	運 動 場			体 育 館 等		
	平成23年度	平成24年度	平成25年度	平成23年度	平成24年度	平成25年度
新 居 浜 小	10,104	9,127	7,509	14,717	13,456	11,186
宮 西 小	7,815	7,476	5,286	5,635	6,564	6,936
金 子 小	4,555	3,863	4,395	11,949	10,396	9,982
金 栄 小	3,175	2,563	3,541	16,017	12,087	12,011
高 津 小	6,693	7,575	6,308	16,646	14,797	15,299
浮 島 小	4,746	4,536	3,518	4,754	5,172	5,422
惣 開 小	3,069	3,197	3,889	7,990	6,849	7,011
若 宮 小	2,691	2,339	1,959	8,368	10,126	10,673
垣 生 小	4,552	5,827	4,739	5,462	5,740	7,560
神 郷 小	12,945	10,588	11,682	19,026	17,596	18,693
多 喜 浜 小	3,642	3,253	1,644	9,856	7,975	6,695
泉 川 小	8,185	9,354	7,002	9,224	6,309	6,850
中 萩 小	12,033	10,853	10,660	23,643	24,262	21,725
船 木 小	11,596	9,660	7,405	16,171	14,229	14,255
大 生 院 小	6,691	6,601	5,392	8,308	7,881	7,280
角 野 小	9,925	9,406	8,466	12,951	11,247	13,248
別 子 小・中	0	0	0	454	623	449
東 中	1,642	1,330	1,735	10,997	11,631	10,829
西 中	724	911	1,316	11,059	4,731	4,459
南 中	1,579	1,637	1,722	8,397	10,975	11,223
北 中	1,153	997	648	8,050	9,878	9,760
泉 川 中	0	0	0	13,484	13,191	12,843
中 萩 中	2,174	3,113	3,462	7,962	8,608	11,109
船 木 中	1,675	1,456	1,330	5,385	5,678	5,507
大 生 院 中	1,369	832	1,103	4,181	4,317	4,012
角 野 中	1,326	782	937	10,786	9,092	10,873
川 東 中	2,348	2,627	2,545	9,962	10,323	11,033
計	126,407	119,903	108,193	281,434	263,733	266,923

9 公民館事業報告

新居浜公民館

(1) 平成25年度の公民館活動の概要（重点事業）

～夢・ロマン・感動を求めて～

- 1 ボランティア活動の推進
- 2 学校・家庭・地域を結ぶ青少年健全育成と見守り隊の推進
- 3 生涯学習の活性化と推進
- 4 三世代交流を活かした地域文化の伝承活動とリーダーの育成
- 5 小学生・中学生の居場所づくりと交流

(2) 実施事業一覧表

事業名	対象	実施期間(実施年月日)	時間数	学級生数		延べ参加者数	
				男	女		
地域教育力向上プロジェクト推進事業	女性講座	校区内女性	H25. 5.28～H26. 1.10	24.5	1	142	143
	シニアネットワーク	校区内高齢者	H25. 5. 7～H26. 1.22	24.0	120	47	167
	三世代交流事業	校区住民	H25.12.14	7.0	95	145	240
	小学生夏休み講座	小・中学生親子	H25. 7.22～H25. 8.22	38.5	186	183	369
	小学生通学合宿	小学生	H25. 7. 3～H25. 7. 6	51.0	110	128	238
	えんぜるっこ	未就園児親子	H25. 4.15～H26. 2.17	37.0	110	320	430
	小・中学生料理教室	小・中学生	H25. 8.10～H26. 2. 1	24.0	73	106	179
	新小夜市	校区住民	H25. 7.20	3.0	500	500	1,000
	三世代交流健康ウォークラリー	校区住民	H25. 6. 8	4.0	35	35	70
	浜っこ教室	小学生	H25. 6.24～H25.12.25	33.0	112	135	247
	地域自主防災組織の強化	校区住民	H25. 5.27～H25.11.18	26.0	217	180	397
	地域活性化事業	校区住民	H25. 5.22～H26. 1.25	21.0	14	126	140
校区行事	校区文化祭(芸能祭)	校区住民	H25.11. 9～H25.11.10				2,000
	校区運動会	校区住民	H25. 5.19				800
その他	観月会&一夜限りのキャンドルアート	校区住民	H25. 9.19				2,500

(3) 特色ある事業紹介

(ア) 小学生通学合宿



7月3日～6日(3泊4日)の日程で新居浜小学校に通う4年生から6年生の児童を対象に開催した。家庭から離れ公民館で共同生活をしながら通学し自分たちの力で生活体験することで自立し、お互いの立場を理解し助け合う心を育むことを目的とする。また、地域の方々のご協力により、児童と共に学び、遊び、交流が深まり、今後「地域の子どもは地域で育む」機運が高まった。期間中、公民館を利用する団体に「よさこい踊り」を教えてもらい、他に宝さがし・ソーメン流し・花火大会などのイベントも行った。

(イ) 新居浜校区三世代交流健康ウォークラリー



三世代交流活動の一環として、えんとつ山、瑞応寺、広瀬公園などを散策し、又、ゲーム大会では老いも若さも童心に戻り、笑い声が絶えない明るく楽しく健康的な交流事業であった。

(4) 平成25年度事業の反省及び今後の課題

- (ア) 地域活性化プロジェクトを立ち上げ、「つづら淵の水」で魅力ある地域づくりを行う
- (イ) 地域自主防災組織の強化
- (ウ) 団塊世代の協力体制づくり

口屋跡記念公民館

(1) 平成25年度の公民館活動の概要（重点事業）

～心触れ合う、住みよい地域づくりをめざして～

- 1 豊かな心を育てる生涯学習の充実
- 2 青少年の健全育成
- 3 社会教育関係団体相互の連携・交流
- 4 人権・同和教育の推進
- 5 生涯スポーツの振興、生活文化活動の育成

(2) 実施事業一覧表

	事業名	対象	実施期間(実施年月日)	時間数	学級生数		延べ参加者数
					男	女	
地域教育力向上プロジェクト推進事業	家庭教育講座	小学生・保護者	H25. 7. 6～H26. 3. 4	18.5	19	80	99
	女性講座	女性	H25. 6.20～H26. 2.25	17.5	51	267	318
	高齢者講座	高齢者	H25. 6. 5～H26. 3.10	21.0	144	158	302
	高齢者・女性合同講座	高齢者・女性	H25. 5.14	2.5	26	37	63
	生活文化講座	小学生・保護者	H25. 8.30～H25.12.15	8.0	26	46	72
	スポーツ健康教室	校区住民	H25. 9.25	2.0	16	25	41
	三世代交流福祉もちつき大会	校区住民	H25.12.21	3.5	80	120	200
	先進地研修	運営審議会委員及び校区住民	H25. 7.20	7.0	15	5	20
	北中校区子ども絵画展	宮西小・新居浜小・北中生徒全員	H25.9.28～10.5まで展示期間 H25.10.5表彰式	2.0	144	171	315
	三世代で考え学ぶ防災訓練	校区住民	H25.10.27	2.5	160	190	350
	三世代交流講座	小学生・校区住民	H26. 1. 8	2.0	24	43	67
	口屋あかがねプロジェクト事業	団塊世代・校区住民	H25. 4. 1～H26. 3.20	830.0	475	116	591
校区行事	三世代交流大運動会	校区住民	H25. 5.19		250	250	500
	文化祭	校区住民	H25.11.11		830	870	1,700
その他							

(3) 特色ある事業紹介

(ア) 三世代交流福祉もちつき大会

毎年恒例の「三世代交流福祉もちつき大会」を12月21日に実施した。女性が作る赤飯に子どもたちが心をこめて書いた手紙を添えて、75歳以上の独居高齢者宅を訪問したり、もちつきと並行して老人会の指導を受け、紙ひこうきを作った。この事業は核家族で育つ子どもたちには地域行事への参加を通じて三世代が触れ合える貴重な体験になっている。地域住民の連帯感や、子どもたちの健全育成及び地域の活性化のためにも継続していきたい大切な行事である。



(イ) 北中校区子ども絵画展

学校・PTA・地域が一体となり、児童・生徒の個性的、創造的表現活動を後押しし、旺盛な創作意欲と豊かな心を育成することを目的に始めた事業である。宮西・新居浜小学校、北中学校生徒全員を対象として夏休みに題材自由で描いてもらった作品を審査し、公民館に展示して、広く地域住民にも観覧してもらう。その後、表彰式、指導の時間を設けた。子どもたちの表現力や感受性を養うためにも今後も大切に継続していきたい事業である。



(ウ) 口屋あかがねプロジェクト事業

口屋あかがねの会・くちやあゆみの会と2つの会が次世代に残していきたい口屋の歴史を子どもたちに継承していく事を目的に始めた事業である。口屋あかがねの会は昔の口屋及び宮西小学校校舎、講堂のジオラマ(模型)を完成させ、くちやあゆみの会は地域住民自体が地域の歴史・文化を学び、後世に語り続けるため活動をし、小中学生参考となる歴史マップを制作した。地域の宝を認識し、地元への愛着心を育てるためにも今後も大切にしていきたい事業である。



昔の口屋ジオラマ



昔の宮西小学校校舎・講堂



歴史マップ

(4) 平成25年度事業の反省及び今後の課題

- (ア) 地域一体となった生涯学習の、より一層の充実に取り組む。
- (イ) 各種団体との連携を密にし、地域の活性化を図る。
- (ウ) ボランティア活動等を通し、地域の福祉増進を図る。
- (エ) 各種団体・地域住民と連携を図り、安心・安全のまちづくりの実現を目指す。

地域交流センター（ふれあい金子）

(1) 平成25年度の地域交流センター活動の概要（重点事業）

～ 笑顔あふれる地域交流センター～

- 1 地域ふるさとづくりの推進
- 2 生涯学習・スポーツの推進
- 3 各種団体との連携・協力の体制の強化
- 4 地域が一体となった青少年健全育成
- 5 自主防災組織の充実と意識の向上

(2) 実施事業一覧表

事業名	対象	実施期間(実施年月日)	時間数	学級生数		延べ参加者数
				男	女	
地域教育力向上プロジェクト推進事業	高齢者講座	高齢者	H25. 6. 6～H26. 3. 6	22.5	(子供100) 134	238 472
	家庭教育講座	小学生及び小保 護者	H25. 5. 8～H26. 1. 18	12.5	(子供383) 61	339 783
	三世交代	一般	H25. 7. 4～H26. 1. 7	13.5	(子供56) 35	51 142
	文化教養講座	一般	H25. 7. 16～H25. 8. 3	6.0	(子供27) 19	36 82
	乳幼児講座	乳幼児及び小保 護者	H25. 4. 24～H26. 1. 30	30.0	(子供72) 0	118 190
	まちづくり事業	一般	H25. 5. 19～H26. 2. 2	15.0	(子供28) 84	67 179
	スポーツ健康教室	一般	H25. 5. 11～H25. 8. 24	4.0	(子供10) 88	57 155
	宿泊合宿	小学生	H25. 8. 3～H25. 8. 4	10.5	(子供26) 12	12 50
金子校区みまもり隊会議	一般	H25. 8. 19	2.0	27	4 31	
放課後子ども教室推進事業	小学生及び一般	H25. 4. 10～H26. 3. 26	95.5	(子供639) 32	151 822	
校区行事	高齢者軽スポーツ大会	高齢者	H25. 11. 2	3.0	39	41 80
	ラブ金子ふるさと夏まつり	地区住民	H25. 7. 20	5.0	(子供1,420) 1,210	1,425 4,055
	校区文化祭	地区住民	H25. 11. 10	8.0	(子供650) 480	570 1,700
	芸能発表会	地区住民	H25. 11. 30	5.0	(子供3) 39	110 152
その他						

(3) 特色ある事業紹介

(ア) 乳幼児講座



核家族化が進む現代においては、子育ての悩みを一人で抱え奮闘している母親世代が少なくない。子育て中の母親が楽しみながら子どもの育て方、しつけ等について学習したり、疲労・ストレス解消・癒しの場として情報交流するなど、幅広い教養が身につけられる場として開設している。

(イ) ラブ金子ふるさと夏まつり



一宮神社の宮の市を再現し、昔を懐かしむと共に地域手作りの夏まつりを開催している。今回で23回を迎えたが、三世代がふれあい、ひとつの輪になって絆を深めるよい機会でもある。児童の司会進行で始まり、じゃんけん大会・花火大会などを行った。また、校庭のやぐらを囲んで浴衣姿の婦人やはっぴ姿の小学生が「小女郎たぬきおどり」を踊り、心に残る夏まつりが実施された。

(4) 平成25年度事業の反省及び今後の課題

(ア) 地域住民主体の生涯学習の推進

- (イ) 世代間交流事業を充実させ、地域住民の交流の輪を広げる。
- (ウ) 学校関係機関及び各種団体と連携し、青少年の健全育成を図る。
- (エ) 自主防災組織の充実と意識の向上（住民どうしの連携を深める）

金栄公民館

(1) 平成25年度の公民館活動の概要（重点事業）

～ 地域と共に歩む公民館を目指して～

- 1 事業の企画・運営への住民の参画促進
- 2 地域の絆を深め連携を図る
- 3 安全・安心の校区づくりと見守りボランティアの推進
- 4 自主防災組織の充実と意識の向上

(2) 実施事業一覧表

	事業名	対象	実施期間(実施年月日)	時間数	学級生数		延べ参加者数
					男	女	
地域教育力向上プロジェクト推進事業	高齢者講座	高齢者	H25. 5.23～H26. 2.23	35	169	180	349
	婦人講座	婦人	H25. 5.23～H26. 2.23	34	0	208	208
	家庭教育講座	小学生を持つ親	H25. 5.23～H26. 2.23	12.5	0	69	69
	文化講座	一般	H25.10.22～H26. 1.20	9	0	34	34
	料理講座	一般	H25. 8. 7～H26. 2.12	6	5	22	27
	環境美化講座	一般	H25. 5. 2～H26. 3.31	68	0	210	210
	親子の集い	児童・一般	H25. 7.13～H25. 7.14	—	40 (子ども100名)	70	210
	ドリームツリー	一般	H25.12.15	—	480 (子ども210名)	810	1,500
	ドッジボール大会	児童・一般	H26. 3. 1	—	0 (子ども45名)	9	54
	安心まちづくり講座	一般	H25. 4.18～H26. 1.24	—	167	36	203
	芸能発表会	一般	H26. 1.11	2	50 (子ども15名)	95	160
	地域コミュニティ活性化事業	一般	H25.11.19～H26. 2. 7	10	19	37	56
	校区盆踊り大会	一般	H25. 8.14	—	220 (子ども160名)	300	680
	子育て支援講座	未就園児と保護者	H25. 6.10～H25.10.28	9.5	1 (子ども64名)	93	158
	ボランティアスタッフ養成講座	一般	H26. 2.17	8	7	30	37
放課後子ども教室推進事業		児童・一般	H25. 6. 8～H26. 3. 8	50	94 (子ども479名)	159	732
校区行事	校区運動会	一般	H25. 5.19	—	180 (子ども110名)	160	450
	校区文化祭	一般	H25.11.10	—	570 (子ども280名)	750	1,600
その他							

(3) 特色ある事業紹介

平成25年度の事業は、地域が一体となって、青少年健全育成、地域福祉の充実、安全安心の校区づくりを目標に事業を行った。

(ア) 金栄見守り安全ボランティアの会・地域防犯パトロール（金栄安心まちづくり事業）

金栄小学校児童の登下校時を中心に地域のボランティア活動を行っている。

2か月に1回、校区内を班ごとに分かれてパトロールし、危険箇所や街灯等のチェックを行っている。

熟議も開催し、校区住民の防災意識が強まっている。また、金栄小学校5年生児童と地域が合同で防災マップ作りも毎年行っている。



防災マップ作り



金栄小学校との合同避難訓練

(イ) 放課後子ども教室 ～かるがもクラブ～



ドリームツリーで披露「銭太鼓」

平成17年度より、放課後子ども教室を実施している。

卓球・絵手紙・銭太鼓、また郷土芸能である「トンカカさん踊り」、ウォーキング、みかん狩りなどの野外活動などを行った。また、竹原市忠海公民館との交流活動も継続中である。

これからも、魅力ある教室づくりに取り組むとともに、地域・保護者との連携を図りながら活動していきたい。

(4) 平成25年度事業の反省及び今後の課題

- (ア) 放課後子ども教室の充実
- (イ) 見守り隊への支援と拡大
- (ウ) 自主防災組織の更なる充実と意識の向上（安全安心のまちづくり）
- (エ) 郷土芸能の伝承と継承

高津公民館

(1) 平成25年度の公民館活動の概要（重点事業）

～ 住民が主体的に携わる公民館を目指して～

- 1 自治能力の向上と安全な地域づくりに努める
- 2 住民が自ら考え行動する生涯学習の推進と青年リーダー育成
- 3 学校、家庭、地域が一体となった青少年の健全育成
- 4 地域の連帯を図る三世代交流とふれあい活動の充実
- 5 人権・同和教育の推進

(2) 実施事業一覧表

事業名	対象	実施期間(実施年月日)	時間数	学級生数		延べ参加者数	
				男	女		
地域教育力向上プロジェクト推進事業	高齢者講座 (明治大学)	高齢者	H25. 5.15～H26. 2.19	25	28	43	603
	女性セミナー	女性	H25. 6. 6～H26. 2. 6	25.5	1	29	177
	スポーツ健康教室	一般	H25. 6. 6～H25. 6. 9	8	20	14	136
	健康ウォーキング	一般	H25.10.12	9	11	34	45
	れんげ祭り	一般	H25. 4.20	2	300	400	700
	たかつ納涼夏祭り	一般	H25. 7.14	6	660	840	1,500
	たかつ史跡めぐり	一般	H25.12. 4	2.5	10	5	15
	文化部発表会	一般	H25.12. 1	3	70	280	350
	たかつパソきっず	子ども・一般	H25.10.26～H26. 1.18	20	7	23	158
	たかつ花あふれるまちづくり	一般	H25. 4.13～H26. 3. 8	25	20	35	361
	たかつ防災事業	子ども・児童・一般	H25. 9.27～H25.12. 7	6	30	20	149
	青少年健全育成講演会	青少年を持つ親	H25.11.19	1.5	38	38	76
放課後子ども教室推進事業	児童・一般	H25. 6. 1～H26. 3.15	62	20	20	1,240	
校区行事	三世代交流大運動会	一般	H25. 5.19	1.5	400	600	1,000
	校区文化祭	一般	H25.11.10	6	1,265	1,541	2,806
その他	青年リーダー育成事業	青年団	H25. 6.11～H26. 2.23	21	30	10	246

(3) 特色ある事業紹介

(ア) 青年リーダー育成事業



高津校区は人口約12,200人、約5,700世帯であるが高齢化率29%、自治会加入率59%と年々加入率が低下している。各種団体(交通安全協会、愛護班等)に於て、若者は仕事や家庭の事が多忙で、地域の活動をする時間がなく、後継者不足が生じていることから長期的視点にたつて次世代のリーダーを育成するため沢津・宇高・東雲等の青年団役員と協議しながら「災害時のリーダーの対応」「優れたリーダーになるにはどうすればよいか」「坂本龍馬に学ぶ」等の講演会や現地研修を実施した。

(イ) たかつ防災事業



高津校区は国領川と沢津垣生海岸に面し、昭和21年の南海地震にも地盤沈下が発生した。南海トラフ地震では震度7と液状化で堤防が欠壊した場合地区内の $\frac{1}{2}$ 、100haが最大津波高4mの浸水範囲内にあり4m地点に表示板を設置したり津波災害に対応出来るよう啓蒙し公民館の重点目標を「安全な地域づくり」として公民館の運営審議会の組織面の強化充実と連合自主防災組織、愛護班等の適切な避難行動がとれるよう、防災センターでの体験や防災勉強会を実施した。

(4) 平成25年度事業の反省及び今後の課題

- (ア) 各自治会とも毎年役員が交代するため、自主防災組織を中心に地震・津波・豪雨災害時の対応を継続して勉強すると共に校区全体の避難訓練が必要である。
- (イ) 日本全体が人口の減少期に入っており高津地区のまちづくり構想を長期的視点にたつて独自性のあるまちづくりを実現する。

浮島公民館

(1) 平成25年度の公民館活動の概要（重点事業）

～ 明るく元気な浮島校区の構築 ～

- 1 青少年の健全育成を地域の課題として取り組む
- 2 高齢者も児童も気軽に参加できる事業の推進
- 3 「安全・安心」の地区の拠点としてのレベルアップ

(2) 実施事業一覧表

	事業名	対象	実施期間(実施年月日)	時間数	学級生数		延べ参加者数
					男	女	
地域教育力向上プロジェクト推進事業	家庭教育講座	校区住民	H25. 6. 2～H26. 2. 2	27	269	356	625
	婦人講座	校区婦人	H25. 6.17～H26. 3. 7	15	1	79	80
	総合講座	校区住民	H25. 6.25～H26. 2. 2	26	180	201	381
	高齢者講座	校区住民	H25. 4.10～H26. 2.10	20	123	95	218
	伝統を伝える講座	校区住民	H25.12. 2～H26. 1. 7	30	113	56	169
	料理教室	校区住民	H25. 4.19～H26. 3.28	24	174	36	210
	軽スポーツ教室	校区住民	H25. 7. 9～H25.11.24	8	56	28	84
	子ども教室	校区児童	H25. 8. 9～H26. 1.25	8	42	31	73
	明るく元気が出る標語看板作り	校区住民	H25. 5.27～H25. 6.17	11	23	12	35
	双子クラブ	市内在住の双子及び保護者	H25. 4.15～H26. 3.10	24	69	187	256
	防災に関する講座	校区住民	H25. 8.21～H26. 2.10	20	132	128	260
	幼児・児童の健全育成講座	校区住民	H25. 4.25～H26. 3.24	9	48	8	56
校区行事	校区文化祭	校区住民	H25.10.27		345	515	860
	小学校合同運動会	浮島小学校・校区住民	H25. 9.22		395	245	640
	芸能発表会	校区住民	H25.11.10		68	96	164
その他	まもるくんパトロール		H25. 4. 1～H26. 3.31		—	—	1,600

(3) 特色ある事業紹介

(ア) あいさつ励行運動



浮島公民館では、昭和60年から青少年健全育成、挨拶を通じて明るいまちづくりを推進することを目的に、地域が一体となって「あいさつ運動」を展開している。

小学生が考案した標語を記入した「明るく元気が出る標語看板」を作成・設置し、校区内に掲示している。テーマが変わっても長年親しまれている看板は地域のシンボルである。

児童の標語をきっかけに、あいさつを交わし合い、地域の連帯感が広がっている。

(イ) 門松作り



正月の伝統的な飾り付けである門松であるが、最近は飾り付けをする家庭等も減り、見る機会も少なくなっている。門松を竹等の材料採取から制作・設置まで全ての過程を地域住民で実施している。地域住民で実施することで、住民同士の交流や地域の伝統継承につながっている。

校区内施設に設置した門松は、地域住民から好評を得ている。

(4) 平成25年度事業の反省及び今後の課題

- (ア) 住民主体の活動を目指し、公民館活動の担い手となる人の確保に努める。
- (イ) 地域の多様化するニーズを把握し、ニーズに沿った学習情報の提供・講座を進める。
- (ウ) 「安全・安心のまちづくり」に向け、校区内諸団体と連携、活動充実に努める。

惣開公民館

(1) 平成25年度の公民館活動の概要（重点事業）

～ 地域と共に歩む公民館づくりを目指して～

- 1 事業の企画・運営への住民の参画促進と人材の育成・発掘を図る
- 2 地域資源を活かしたまちづくり
- 3 地域住民に親しまれる公民館づくり

(2) 実施事業一覧表

	事業名	対象	実施期間(実施年月日)	時間数	学級生数		延べ参加者数
					男	女	
地域教育力向上プロジェクト推進事業	シニア教室	高齢者	H25. 6.10～H26. 1.21	15.5	69 (子ども151)	136	356
	遊you講座	婦人・一般	H25. 5.23～H26. 2.21	24.0	25 (子ども13)	130	168
	乳幼児学級	乳幼児をもつ親	H25. 5.16～H26. 2.4	5.0	12 (子ども18)	149	179
	生活文化講座	一般	H25. 5.27～H26. 2.17	18.0	2 (子ども111)	164	277
	三世代交流事業	校区住民	H25. 7.27とH26. 3.8	3.5	375 (子ども302)	479	1,156
	まちづくり事業	校区住民	H25. 9.14～H26. 1.7	18	67 (子ども45)	136	248
校区行事	校区文化祭	校区住民	H25.10.27	5.0	430 (子ども110)	810	1,350
その他							

(3) 特色ある事業紹介

(ア) 地域の資源を活かしたまちづくり事業



惣開校区には別子銅山の近代化産業遺産が多く残り、それらを生かしたまちづくり事業を行った。

25年度は「住友鉄道ふれあいウォーク」を実施。昨年とは違うコースを歩き、惣開発祥の地をめぐる歴史の勉強を行った。

(イ) 卒業記念もちつき大会（H26.3.8）



小学校6年生の卒業を記念して、毎年恒例で開催している。

P T Aや社会福祉協議会、婦人会、地域の高齢者などがボランティアで参加し、小学校時代のよき思い出をつくとともに、古き良き日本の伝統文化にふれ、三世代交流が図られた。

「みかんもち」作りにも挑戦し、子どもから大人まで好評だった。

婦人会手作りの赤飯に、6年生の手紙が添えられ、校区内の独居高齢者に配られた。

(4) 平成25年度事業の反省及び今後の課題

- (ア) 世代間の交流のある講座の推進
- (イ) 魅力があり、だれもが気軽に参加できる講座の開設
- (ウ) 地域住民に対する生涯学習への認識と啓発(特に青年層)による新規参加者の増加

若宮公民館

(1) 平成25年度の公民館活動の概要（重点事業）

～ 家庭・学校・地域の連帯をはかり、安全・安心で住みよい若宮校区づくりを目指す ～

(2) 実施事業一覧表

事業名	対象	実施期間(実施年月日)	時間数	学級生数		延べ参加者数	
				男	女		
地域教育力向上プロジェクト推進事業	環境にやさしいづくり	校区住民	H25. 5.21～H25.11.18	9	64	79	143
	安全・安心なまちづくり	校区住民	H25. 5.27～H25.12. 6	6	116	119	235
	子どもが主役のまちづくり	小学生・保護者	H25. 5. 2～H26. 3.26	33.5	212	301	513
	高齢者が安心して暮らせるまちづくり	高齢者	H25. 4. 9～H26. 3.20	31.5	86	378	464
	スポーツと健康	校区住民	H25. 5.12～H25.12. 1	9	25	44	69
	地域の伝統・歴史の伝承	校区住民	H25. 5.22～H26. 3. 5	21	495	598	1,093
	趣味と教養	校区住民	H25. 6.18～H26. 3.24	25	15	86	101
	先進地研修	校区住民	H25.10. 5	11	8	10	18
放課後子ども教室推進事業	児童・一般	H25. 4.24～H26. 3.19	57.5	129	333	462	
校区行事	校区文化祭	校区住民	H25.11.10	5.5	410	490	900
その他							

(3) 特色ある事業紹介

(ア) 防災・避難訓練

若宮校区は市内でも屈指の海拔の低い地域であるため、毎年校区自主防災会と公民館との共催で防災・避難訓練を実施している。訓練には自治会広報塔より避難指示を出し、全住民の約10%の方が参加する。

昨年は避難路の安全確保をテーマに、避難経路の様子を確認しながら若宮小学校体育館に集合し、DIGの手法を使って災害図上訓練を実施した。

訓練の性格上あまり大勢の方が集まると作業が難しいため、各地区代表60名とし、その成果物(マップ)を文化祭で発表して参加出来なかった方への周知を図った。



D I G 作 業 中

(イ) 子どもの居場所づくり推進事業

若宮公民館で実施している子供達関連の事業は大きく分けて次の三本である。

- ①読み聞かせを含め学校への出前授業
- ②毎週水曜日実施の放課後子ども教室
- ③新田診療所との共催で月1回実施する三世代交流事業

なかでも三世代交流事業では、メロン植・みそづくり・そうめん流し・ハロウィン仮装・しめ縄づくり・七草がゆなど、地域ボランティアの方々と共に、学校では体験出来ないテーマに取り組んでいる。



わかっ子こども教室（水彩画）



三世代交流事業（電気のおもしろ実験）

(4) 平成25年度事業の反省及び今後の課題

- (ア) 公民館活動への住民の参画を推進し、地域の活性化につなげる。
- (イ) 家庭・学校・地域の連携を一層深めて、連合自治会・社協・老人会など校区内の各団体との共催事業を推進する。
- (ウ) 放課後子ども教室の充実を図る。

垣生公民館

(1) 平成25年度の公民館活動の概要（重点事業）

～ 地域と共に歩む公民館 ～

- 1 地域住民に親しまれ支えられる公民館づくり
- 2 自ら学ぶ生涯学習の推進
- 3 各種団体・機関との連携強化
- 4 生活文化活動の振興
- 5 安全で住みたい垣生づくり

(2) 実施事業一覧表

	事業名	対象	実施期間(実施年月日)	時間数	学級生数		延べ参加者数
					男	女	
地域教育力向上プロジェクト推進事業	家庭教育講座(家庭教育コース)	小学生及びその保護者	H25. 6.20～H26. 2. 8	10	84	143	227
	婦人講座(婦人コース)	婦人	H25. 5.13～H26. 3.25	23	213	484	697
	高齢者講座(高齢者コース)	高齢者	H25. 6.20～H26. 2.13	10	23	55	78
	ふるさと文化講座(文化コース)	小学3～6年生及び一般	H25. 9.11～H25.12.23	11	147	136	283
	成人講座	成人男女	H25. 8. 3～H26. 1.31	22	48	38	86
	パソコン講座	小学5～6年生及び一般	H25. 7.22～H25. 7.25	16	42	38	80
	スポーツ健康教室	校区住民	H25. 6. 3～H26. 2. 4	8	123	71	194
	農業体験教室	小学生	H25. 5.31～H25.10.28	4	108	94	202
	子育て支援	校区住民	H25. 5.15～H25. 9.11	6	13	44	57
	イルミネーションファンタジー	校区住民	H25.12.23	4	100	100	200
	垣生山遊歩道整備	校区住民	H25. 6. 2	3	64	16	80
	自主防災	校区住民	H25.9.7・10.24	4/2	340/186	440/176	362
	納涼祭	校区住民	H25. 8.10	3	450	450	900
	三世代グラウンドゴルフ	校区住民	H26. 2.16	3	33	30	63
文化財ウォークラリー	校区住民	H26. 3. 2	3	77	48	125	
校区行事	校区芸能祭	校区住民	H25.11. 2	3	60	80	140
	校区文化祭	校区住民	H25.11.10	4	650	650	1,300
	校区大運動会	校区住民	H25. 5.19 雨天のため早々に切り上げ				
その他							

(3) 特色ある事業紹介

(ア) 自主防災（地域防災訓練）

今年度から地域の全ての団体及び、小学校全校児童、職員に広げ、児童には全員防災頭巾をかぶって避難してもらい、地域住民と共に様々な訓練を実施した。若い保護者の参加も多く、充実した訓練を行うことができた。



(イ) イルミネーションファンタジー

垣生公民館及び垣生山を年末年始の期間、イルミネーションで装飾している。毎年12月23日にイルミネーション点灯式を行い、カウントダウンイベントや餅つき大会などが行われ、来館者には温かい豚汁の配布も行われる。



(4) 平成25年度事業の反省及び今後の課題

- (ア) 公民館運営方針の実現に向け、新しい講座を展開する。
- (イ) より一層の地域主導を目指し、運営審議会の充実を図る。
- (ウ) 地域・学校・家庭がより連携し、青少年健全育成と子育て支援に取り組む。

神郷公民館

(1) 平成25年度の公民館活動の概要（重点事業）

家庭・学校・地域の連帯強化を図り、一人ひとりが大切にされる、安全・安心で住みよいまちづくりを目指す。

- | | |
|----------------------|--------------------|
| 1 青少年の健全育成 | 6 お茶の間懇談会の拡充・強化 |
| 2 地域の安全と安心の推進 | 7 自主防災組織づくりの拡充・強化 |
| 3 地域福祉の拡充 | 8 地域の環境美化の推進 |
| 4 生涯学習の推進と各サークル活動の支援 | 5 スポーツの振興と健康づくりの推進 |

(2) 実施事業一覧表

	事業名	対象	実施期間(実施年月日)	時間数	学級生数		延べ参加者数
					男	女	
地域教育力向上プロジェクト推進事業	婦人講座	婦人	H25. 4. 8～H26. 1. 27	26	4	151	155
	(高齢者講座) 老人大学	高齢者	H25. 5. 24～H26. 2. 6	27.5	176	174	350
	乳幼児期家庭づくり教室	乳幼児を持つ親	H25. 4. 23～H26. 2. 25	31.5	167 (子ども 781)	476	1,424
	三世代交流事業	一般・子ども	H25. 5. 25～H26. 3. 11	17	161 (子ども 145)	224	530
	観月会	一般	H25. 9. 18	3	100 (子ども 5)	75	180
	神郷まちづくり事業	一般・子ども	H25. 4. 1～H26. 3. 3	60	369 (子ども 62)	315	746
	わくわく小学生	一般・子ども	H25. 4. 23～H26. 2. 13	24	48 (子ども 252)	89	389
校区行事	校区運動会	一般	H25. 5. 19	6.5	560 (子ども 150)	440	1,150
	校区文化祭	一般	H25. 11. 10	6	1,650 (子ども 250)	1,900	3,800
その他							

(3) 特色ある事業紹介

(ア) 観月会

新居浜の郷土食と言われる“いも炊き”で季節を味わいながら地域の方々との交流を目的とし実施する。



(イ) まちづくり事業

校区の各種団体役員等が、安全安心、環境美化、健全育成の3部会に分かれ、よりよいまちづくりを目指してワークショップを重ね熟議する。熟議の内容を活かして各世代が協力して様々なまちづくり事業に取り組んでいる。



忠魂碑山残木整理作業



忠魂碑山桜の植樹

(4) 平成25年度事業の反省及び今後の課題

- (ア) どの事業もみんなで計画し、より多くの校区住民の参加を目指す。
- (イ) 各自治会、諸団体の自治能力の育成強化を図り、地域発展につなげる。
- (ウ) 学校・公民館・地域の連携を一層深め、青少年の健全育成に取り組む。
- (エ) 神郷史情をより多くの校区住民の方に知っていただき、保存・伝承していきたい。
- (オ) 神郷まちづくり委員会にて校区の問題点を浮き彫りにし、熟議を重ね問題解決に向け、知恵を出し合い取り組む。

多喜浜公民館

(1) 平成25年度の公民館活動の概要（重点事業）

～ 笑顔にあふれ、元気の出る公民館を目指して～

- 1 潤いと生きがいのある安全・安心なふるさとづくりの推進
- 2 世代間の交流、人材の発掘
- 3 学校・家庭・地域が一体となった青少年の健全育成
- 4 郷土の伝統文化の継承と郷土意識の向上
- 5 人権・同和教育の推進

(2) 実施事業一覧表

事業名	対象	実施期間(実施年月日)	時間数	学級生数		延べ参加者数	
				男	女		
地域教育力向上プロジェクト推進事業	スクール多喜浜	一般	H25. 7～H26. 3	34.5		557	
	高齢者大学	高齢者	H25. 6～H26. 2	31.0	15	25	487
	三世交代流事業	一般・児童	H25. 6～H26. 2	16.5			333
	だいすき多喜浜夏祭り	一般	H25. 7	22.0			507
	塩田文化バンク	一般	H25. 5～H26. 2	39.5	10	10	369
	環境講座	一般	H25. 4～H26. 3	22.5	10	8	208
	まちづくり講座	一般・児童	H25. 5～H26. 3	28.0			124
放課後子ども教室推進事業	児童・一般	H25. 5～H26. 3	60			617	
校区行事	校区運動会	校区住民	H25. 5. 19			550	
	校区文化祭	校区住民	H25. 11. 4			1,100	
	演芸大会	校区住民	H25. 11. 2			410	
その他							

(3) 特色ある事業紹介

(ア) 塩田文化バンク

別子銅山とはほぼ同時期に生まれた塩田は、新居浜の発展を支え昭和40年代まで多喜浜の住民とともにあった。廃田以降、人々の記憶から忘れ去られつつある多喜浜塩田を後世に継承していこうという声地域から高まり、住民が主導してその伝承活動に努めている。「ソルティ多喜浜」を活用した塩づくり体験学習、多喜浜塩田学習、小学生がガイドを務める塩田遺跡めぐりなど継続的に取り組んでいる。

また、これからの地域ブランド確立のために、塩を使ったレシピ研究や子どもカメラマンによるたきはま写真館も行っている。



(イ) 少年の日を祝う会

校区内で「少年の日」を迎える中学2年生を招待し、地域を挙げて祝う「少年の日を祝う会」を開催している。中学生、保護者、地域住民とが協力して、紅白のお餅をついたり、和太鼓演奏を体験鑑賞した。式では、中学生たちが多喜浜に対する郷土愛と地域への感謝の気持ちあふれる素晴らしい発表を行い、とても良い三世代交流の場となった。



(4) 平成25年度事業の反省及び今後の課題

(ア) 世代間の交流(20代・30代の活性化)と人材の育成

(イ) 地域住民の自主性を生かせる学習内容の選択

大島公民館

(1) 平成25年度の公民館活動の概要（重点事業）

～ 地域に根ざした公民館づくり ～

- 1 生涯学習の拠点として、学習の推進を図る
- 2 各種団体との連携と協調・課題の解決
- 3 潤いと生きがいのあるふるさとづくりの推進
- 4 奉仕活動の強化、快適で潤いのあるまちづくりの推進
- 5 人権・同和教育の学習

(2) 実施事業一覧表

	事業名	対象	実施期間(実施年月日)	時間数	学級生数		延べ参加者数
					男	女	
地域教育力向上プロジェクト推進事業	教養講座	一般	H25. 5.18～H26. 3. 7	45	35 (子ども5)	70	110
	島体験講座	一般	H25. 7. 1～H25.12. 9	12	6	10	16
	とうど祭り	児童・青少年・一般	H25. 8. 7～H26. 1.13	34	215 (子ども141)	200	556
	ふれあい交流	児童・一般	H25. 7.27～H25. 7.28	16	7 (子ども49)	15	71
	高齢者講座	一般	H25. 5.17～H25.10. 1	6	27	81	108
	防災教室	一般	H25.11.27～H26. 3. 7	14	16	11	27
校区行事	文化祭	児童・青少年・一般	H25.11.10	5	17 (子ども1)	60	78
その他							

(3) 特色ある事業紹介

(ア) 異年齢体験交流サマーキャンプ（1泊2日）



スイカ割り

小学生・中学生・大学生及び社会人が集い、社会性や自立心の醸成など、感性豊かで好奇心旺盛な子ども本来の特性を見直すとともに青少年健全育成を目的として実施した。



感想発表

(イ) とうど祭り（念仏踊り）



念仏踊り



とうど祭り

伝統文化の保存と継承を目的とし、地域住民が親睦を深めながら、島外の人達との交流を図る。

(4) 平成25年度事業の反省及び今後の課題

- (ア) 少子高齢化に向け、伝統文化の保存と継承の対策
- (イ) 豊かな自然を生かした、大島でしか出来ない交流学习の推進
- (ウ) 地域住民のニーズに沿った事業及び講座の実施

泉川公民館

(1) 平成25年度の公民館活動の概要（重点事業）

～新しい発見、気づこう、まちづくりの魅力～

- 1 再発見事業
- 2 住民が総参加の事業展開
- 3 まちづくりの醸成

(2) 実施事業一覧表

	事業名	対象	実施期間(実施年月日)	時間数	学級生数		延べ参加者数
					男	女	
地域教育力向上プロジェクト推進事業	泉川ふるさと塾	一般	H25. 4～H26. 3	24	357	139	496
	なんでも楽習会	一般	H25. 6～H25.11	18	105	80	185
	子どもまつり	子ども・一般	H25. 6～H25.10	26	388	360	748
	シニアネット事業	高齢者	H25.11～H25.12	2	21	2	23
	公民館まつり	子ども・一般	H25.11.10	1日	1,900	2,200	4,100
	泉川感謝祭	一般	H25. 9.21	半日	110	140	250
	グループ・サークルコミュニケーション事業	公民館利用者	H25.12	2	43	45	88
	先進地研修	運営審議委員と一般	H25. 6	2日	12	4	16
	「防災」の時、どうする？	子ども・一般	H25. 6～H26. 3	3回	96	49	135
	放課後子ども教室推進事業	児童・一般	H25. 4～H26. 3	44	602	688	1,290
校区行事	校区運動会	子ども・一般	H25. 5.19	1日	900	600	1,500
	とうどさん	子ども・一般	H26. 1.12	1日	280	190	470
	星原市	子ども・一般	H25. 8.18	1日	350	250	600
その他							

(3) 特色ある事業紹介

(ア) 子どもまつり

子どもの活躍する場を設けることによって、まちづくりの中心に子どもを位置づけ、「子どもは地域の宝」であることを地域に理解を深める事業として「子どもまつり」を実施。小学校・中学校の有志による実行委員会を立ち上げ、企画・運営し、子どもたちの出来ないところは、まちづくり協議会でフォローするなど地域全体で取り組んだ。「みんなでサマフェスLet's go!」をスローガンに、特設ステージでのオープニングセレモニーをはじめとして各種体験教室などの多くのコーナーを設け、子どもから高齢者まで参加し、地域の大人とのコミュニケーションの場になっている。実施後には子どもたちによる実行委員会の反省会を持ち、来年度より良いものにすべく話し合いの場を持っている。



(イ) 公民館まつり

住民総参加の「公民館まつり」として実施し、特設ステージを野外に設け、公民館利用サークル・団体の発表や参加体験型のコーナーを設けている。また、校区内の保育園、小中学生、諸団体、地域住民からの作品展示等もありPTAや連合自治会による屋台などがあり、一日を通して賑わいを見せている。



(4) 平成25年度事業の反省及び今後の課題

- (ア) まちづくり理念の浸透と醸成
- (イ) 先進地研修後の検証

中萩公民館

(1) 平成25年度の公民館活動の概要（重点事業）

～ 地域力の向上による住民主役の開かれた民主的な公民館運営を目指す ～
「目指せ!!住み良い町・住みたい町・行ってみたい町日本一の中萩」

- 1 生涯学習・生涯スポーツ活動の推進
- 2 青少年健全育成の推進
- 3 社会福祉活動の推進
- 4 人権・同和教育の推進
- 5 安心・安全な地域づくりの推進

(2) 実施事業一覧表

	事業名	対象	実施期間(実施年月日)	時間数	学級生数		延べ参加者数	
					男	女		
地域教育力向上プロジェクト推進事業	学 ぶ	女性セミナー	女性	H25. 5.15～H26. 3.14	30	11	482	657
		高齢者セミナー	高齢者	H25. 6.10～H26. 2.10	23	327	454	891
		伝統文化講座	校区住民	H25. 4. 4～H26. 3. 6	47	78	285	437
		スポーツ健康教室	校区住民	H25. 7.24～H25. 8. 9	6	75	35	128
		食育と子どもの健康	校区住民	H25. 7.27～H25.12.22	9	3	51	93
	活 か す 創 る	萩っ子生き生き活動	校区住民	H25.12. 7	3	36	41	207
		十河信二を知り学び顕彰する活動	校区住民	H26. 2.15～H26. 3.12	3	26	19	45
		中萩三世代交流事業	校区住民	H26. 3. 8	3	20	29	97
		環境改善事業	校区住民	H25. 6.18～H26. 1.26	4	4	12	16
		地域活性化座談会	校区住民	H26. 3.10～H26. 3.29	3	22	16	39
校区行事	校区運動会	校区住民	H25. 5.19	4	380	280	810	
	校区文化祭	校区住民	H25.11.17	7	2,500	2,400	6,000	
その他								

(3) 特色ある事業紹介

(ア) 中萩三世代交流事業

昨年度のリーダー養成講座の中で企画された「中萩三世代交流事業 ～昔の遊び やっちゃお～」を開催しました。竹とんぼづくりやメンコ遊び、竹馬やけん玉など、昔懐かしい遊びを校区の人たちと一緒に体験しました。また、新居浜の郷土料理も数多く紹介され、『いずみや』『えび天』の試食も実施し、子どもたちや保護者に大好評でした。



竹とんぼづくり



郷土料理試食

(イ) 地域活性化座談会

様々な地域課題を話し合い、解決策を模索する会として立ち上げました。今年度は、防災について話し合い、災害に備えて私たちができること、しないといけないことを考えました。その中で、先進地研修として、北淡震災記念公園を訪れ、副館長から実際に震災が起こった時の様子やどう対処すべきか、また、どのような準備や対策をとっておけばよいか、などを学びました。



(4) 平成25年度事業の反省及び今後の課題

- (ア) 公民館の各種事業が、各種団体の積極的な支援と協力により有効に実施することができた。
- (イ) 萩っ子の健全育成について、地域の各種団体との連携を取りながら、なお一層の充実を図りたい。
- (ウ) 地域の人々のニーズや実態を把握し、地域力の向上を図り、より多くの人々の参加を目指して、魅力ある事業を展開する。
- (エ) 開かれた公民館として、地域の人々の誰もが活動し、また誰もが繋がっている公民館にしていくことを目指す。

船木公民館

(1) 平成25年度の公民館活動の概要（重点事業）

～安全で安心して快適に暮らせるまちづくり～

- 1 学校・家庭・地域の連携強化による青少年の健全育成
- 2 心豊かな福祉のまちづくりの推進
- 3 一人ひとりの学ぶ心を大切にする生涯学習の推進
- 4 人権・同和学习の推進
- 5 地域に根ざした親しまれる公民館づくり

(2) 実施事業一覧表

	事業名	対象	実施期間(実施年月日)	時間数	学級生数		延べ参加者数
					男	女	
地域教育力向上プロジェクト推進事業	人権講座	地域住民	H25. 7.30	3	8	7	15
	健康講座	地域住民	H25. 4. 1～H26. 3.31	12.5	39	65	104
	環境講座	地域住民	H25. 4.18～H25. 9.14	6	9	8	17
	伝統文化講座	地域住民	H25. 4. 1～H26. 3.31	22.5	872	1,265	2,137
	こども講座	地域住民	H25. 4. 1～H26. 3.31	11.5	82	110	192
	趣味講座	地域住民	H25. 4. 1～H26. 3.31	23	5	99	104
	池田池ラジオ体操とお池をかこむ会	地域住民	H25. 8. 4	3	400	450	850
	池田池をわたる風とマンドリン	地域住民	H25. 8. 4	3	125	125	250
	地域づくり講座	地域住民	H25. 4. 1～H26. 3.31	14	91	65	156
校区行事	校区防災訓練	地域住民	H25. 8.25	3	75	50	125
	校区住民大運動会	地域住民	H25. 5.19	4	190	140	330
	池田池菖蒲まつり	一般	H25. 6. 9	4	1,250	1,350	2,600
	校区夏まつり	地域住民	H25. 8. 9	4.5	1,800	2,000	3,800
	長寿大運動会	高齢者	中止				
	校区文化祭	地域住民	H25.11. 3	6	1,750	1,450	3,200
	公民館大掃除	地域住民	H25.12.16	2.5	95	135	230
	校区成人式	成人者等	H26. 1. 3	4	55	53	108
	校区マラソン駅伝大会	小・中学生	H26. 2. 2	1.5	54	54	108
	校区徒歩探訪会	地域住民	H26. 2.17	4	65	70	135

(3) 特色ある事業紹介

(ア) 池田池ラジオ体操とお池をかこむ会



8月4日(日)に、池田池太鼓寄せ広場で開催された。

整備された緑の芝生、青い空の下に、みなさん続々と集まり、総勢850人が大集合した。《まちゆりちゃん》がやってきたり、船木保育園の先生たちが楽しい仲間に変身して、会場を盛り上げてくださった。

長澤一世先生のストレッチから始まり、船木中学校の生徒会役員生徒さんもまちゆりちゃんを囲んで一緒にお手本を示してくれた。

続いて、小学校校歌を指導の下みんなで大合唱し、地域一体となってラジオ体操をし、地域の絆をより強く感じた1日となった。

(イ) ふるさと夏まつり



毎年お盆8月15日、船木が熱く盛り上がる一大イベント「船木ふるさと夏まつり」が小学校グラウンドで盛大に開催されている。

地域の人やお盆に帰省した人たちで大賑わいとなる。8月のお盆の時期をはさんだ夏まつりは帰省の時期と相まって、そこかしこで懐かしい人との再会があり、感慨深いものがあるようだ。

久保原太鼓台がグラウンドに入場。子どもたちによる太鼓台の運行、そして太鼓台を囲んでの盆踊りは、葵の会の方を中心に連合自治会女性部の方々が加わり、福祉施設の皆さんや一般の方の参加で踊りの輪が2重、3重と広がった。

バザーも大勢の人で大繁盛!! 売り切れも続出!! 例年以上にたくさんの人出があり、賑やかな夏まつりとなった。

(4) 平成25年度事業の反省及び今後の課題

- (ア) ふるさとの歴史や文化に触れる機会を設け、愛郷心を育てていく。
- (イ) 参加者の固定化を解消するためにも、団塊の世代の参加者の推進を図る。
- (ウ) 住民のニーズに合わせ、新しい事業の展開や内容の再検討をしていく。

大生院公民館

(1) 平成25年度の公民館活動の概要（重点事業）

～ 地域住民が集まり、共に進む公民館 ～

- 1 事業の企画・運営の住民参画を通して、人材の育成・発掘を図る
- 2 自然という地域資源を活かした特色ある事業の推進
- 3 放課後子ども教室推進事業への取組
- 4 自治会各種団体等と連携した安心・安全の地域づくりの推進

(2) 実施事業一覧表

事業名	対象	実施期間(実施年月日)	時間数	学級生数		延べ参加者数	
				男	女		
地域教育力向上プロジェクト推進事業	高齢者いきいきセミナー	高齢者	H25. 6. 5～H26. 3.19	17	99	139	238
	くらしのセミナー	校区住民	H25.11.18～H26. 3.18	15	77	0	77
	子育て支援セミナー	乳幼児及び保護者	H25. 5.14～H26. 2.18	21	0	84 (子ども77)	161
	スポーツ健康教室	校区住民	H25. 6. 9～H25. 8.11	6	60	25	85
	三世代交流事業	校区住民	H25. 8. 9～H26. 1. 8	10	85	111 (子ども191)	387
	うずい教室	希望者一般児童・保護者	H25. 6.10～H26. 3.24	19	12	70 (子ども357)	439
	大野山プロジェクト	校区住民	H25. 5. 5～H25.11.24	11	500	450 (子ども600)	1,550
	郷土の歴史と文化	校区住民	H25. 4.26～H25.11.30	10	30	41 (子ども17)	88
	地域自主防災会の強化	校区住民	H25. 6.28～H26. 2.12	8	34	35 (子ども640)	69
放課後子ども教室推進事業	希望者一般児童・保護者	H25.4～H26.3	27日	64	56 (子ども697)	817	
みどりの少年団	希望者一般児童・保護者	H25.4～H26.3	—	100	100 (子ども500)	700	
校区行事	校区文化祭	校区住民	H25.11. 3	—	500	500 (子ども300)	1,300
	町民運動会	校区住民	H25. 5.19	—	100	100 (子ども100)	300
その他							

(3) 特色ある事業紹介

(ア) 古文書に学ぶ大生院の歴史（郷土の歴史と文化）



「遍路学」の生みの親、喜代吉先生をお招きし現存する古文書(高橋家古文書や遍路通行手形など)を分かり易く解説していただき、江戸時代の頃の大生院の人々の生活や信仰・文化について学ぶことができた。

また、地域住民の親睦・交流を図り郷土愛を深めることができた。

今後は、次世代へと伝承していけるよう後継者等を育成していきたい。

(イ) 環境セミナー（地域自主防災会の強化）



大生院出身の久枝克則氏による「温暖化の仕組みと影響、集中豪雨など」について講演会を開催。

資料を中心として丁寧にゆっくりと説明してもらった。また、「光合成、CO₂とO₂の循環」の時には花鉢を使用して目に見えてわかりやすい実験を交えながら講演いただき参加者は熱心に聞き入っていた。

(4) 平成25年度事業の反省及び今後の課題

- (ア) 公民館活動への住民の参画の促進
- (イ) 次世代を担う人材の発掘と育成
- (ウ) 地域全体で、子どもや青少年の健全育成の充実
- (エ) 自主防災組織の充実と意識の向上

角野公民館

(1) 平成25年度の公民館活動の概要（重点事業）

～ 共に学び・話し・喜び合える地域づくりを目指して～

- 1 思いやる心を育てる生涯学習を推進する地域づくり
- 2 伝統文化の継承と郷土愛を育てる地域づくり
- 3 学社融合で青少年健全育成、安全で安心の地域づくり
- 4 自分達で命を守る防災組織の確立を図る地域づくり
- 5 三世代交流や人と自然の調和、健康で笑顔あふれる地域づくり

(2) 実施事業一覧表

	事業名	対象	実施期間(実施年月日)	時間数	学級生数		延べ参加者数
					男	女	
地域教育力向上プロジェクト推進事業	合同セミナー (三世代交流)	子ども～高齢者	H25. 5.24～H26. 2.10	20	928	915	1,843
	手作りセミナー	一般・女性	H25. 6.18～H26. 1.14	16	15	102	117
	いき生き生活セミナー	一般・高齢者	H25. 7.24～H26. 1.17	20	104	180	284
	家庭教育セミナー	一般・児童・生徒・保護者	H25. 8. 2～H25.12. 7	23	70	102	172
	伝統文化プラン	一般	H25. 9.12～H25.12.24	9	83	76	159
	未来まちづくりプラン	一般	H25. 5.10～H26. 2.13	90	1,242	694	1,936
	スポーツ健康教室	一般	H25.12.21	3	18	5	23
校区行事	町民大運動会	校区住民	H25. 5.19	3	805	795	1,600
	すみの夏まつり	校区住民	H25. 7.14	5	1,190	1,120	2,310
	文化祭	校区住民	H25.11.10	8	1,950	2,150	4,100
	芸能祭	校区住民	H25.11.17	8	198	230	428
	とうどおくり	校区住民	H26. 1.12	3	120	140	260
その他	地域清掃	校区住民 一般	H25. 6.17	3	82	88	170

(3) 特色ある事業紹介

角野校区は、近代化産業遺産が多く残る地域ということで、歴史に特化した事業を大切にしている。

(ア) 角野校区に残る近代化産業遺産めぐり（伝統文化プラン）



角野小学校児童を対象に行ってきた産業遺産めぐりも今年で10年目となり、近年は角野小学校4年生の総合学習の一環として取り組んでいる。

新居浜南高等学校、ユネスコ部がガイド役を務め、小学生に分かり易く、丁寧に説明し、地域住民が安全を見守りサポートする。

小学校、高等学校、地域が一体となり、児童が校区の歴史を知り、自分が住んでいる地域の理解を深め、郷土を愛する心を育むことに繋がっている。

(イ) 角野ウォークラリー（合同セミナー）



参加者が、校区の人々と一緒に楽しく産業遺産を巡りながら、ゲームやクイズに挑戦することで、地域社会との交流を深め、歴史を知ることが目的とする。

3～5名で1チームを編成、コマ地図を頼りにコースに出る(約4キロ)小判の数で順位が決まる。各種団体の協力を得て、50チームの参加がある。総勢300名余りの人気事業の一つ。昼食のカレー、デザートのスイカも楽しみの一つです。

(ウ) 別子銅山を訪ねて（いき生き生活セミナー）



今年は、東平より別子銅山峰を目指し、日浦へ下山するというコースをとりました。

山の達人たちの案内で、みなさんなかなかの健脚ぶり！揃って下山できました。

別子銅山の繁栄を肌で感じることができ、美味しい山の空気と景色を堪能しました。

(4) 平成25年度事業の反省及び今後の課題

- (ア) 地域住民が中心となって活動できるような魅力のある学習内容を取り入れ、意欲を高める。
- (イ) 次世代を担う人材の発掘と育成に努める。
- (ウ) 各種団体等を中心に地域の連携をより一層深める。
- (エ) 地域住民全体が、子どもたちや青少年の健全育成に積極的に取り組む。

別子山公民館

(1) 平成25年度の公民館活動の概要（重点事業）

～ 地域づくりの拠点として、暖かく温もりのある公民館を目指して～

- 1 学校・地域との連携を図り、地域活性化に繋げる
- 2 伝統文化の継承と郷土愛の醸成を図る
- 3 人権・同和教育の推進
- 4 青少年の健全育成を図る
- 5 世代間交流の充実強化

(2) 実施事業一覧表

事業名	対象	実施期間(実施年月日)	時間数	学級生数		延べ参加者数	
				男	女		
地域教育力向上プロジェクト推進事業	健康づくり教室	校区住民	H25. 6.17～H25. 7.25	5	23	31	54
	ふれあい体験学習	校区住民	H25. 5. 3～H26. 2. 9	12	23	16	39
	地域環境講座	校区住民	H25. 8.20～H25. 9.19	5	7	7	14
	いきいきまちづくり	校区住民	H25. 9. 8	6	60	52	112
	まちづくり支援事業	校区住民	H25. 4. 7～H25. 6. 1	11	43	13	56
校区行事	秋季大運動会	校区住民	H25. 9. 15	6	60	52	112
	産業文化祭	校区住民	H25. 11. 17	9	250	250	500
その他							

(3) 特色ある事業紹介

(ア) 木工体験教室



地域の子どもたちや父兄とともに木工体験や炭焼き体験を通じ、地域の木材を利用し作品を作ること
で、地域学習を助長する。

また、炭焼き体験では、焼きあがった炭を利用し作品を作ること、単に燃料として使用するだけ
でなく、様々な効能や利用価値を高める学習をすることが出来た。

(イ) ふれあい体験学習



鋸山・豊受山登山



独居高齢者配付用餅つき

地域住民を対象に登山体験を実施し、自然を体感し健全な心と身体を養うことを目的に実施した。
また、地域の独居高齢者を対象に、少しでも豊かで、思いのこもった日々をお過ごしいただくため
お餅つきを行い、配布いたしました。

お餅つきでは、地域の皆さんとともに、子供たちも加わり目的達成におおいに貢献してくれた。

(4) 平成25年度事業の反省及び今後の課題

- (ア) 溢れる自然という地域素材を利活用した、体験型学習の推進を図る。
- (イ) 地域住民の生涯学習の推進を図り、人材育成につなげる。
- (ウ) 地域づくりの拠点として、地域課題を検討し、今後の地域発展につなげる。
- (エ) 地域の連携を一層深める。

青少年センターの主な施策と実績

1 運営協議会

青少年センターの運営に必要な運営方針、重点目標、業務計画、少年補導委員の推薦、青少年の善行表彰の審議等について協議している。

協議会の開催状況（平成25年度）

第1回 平成25年5月23日

第2回 平成26年2月7日

2 街頭補導

街頭補導は、少年補導委員を中心に活動場所を選んで効果をねらうとともに、計画的・組織的に問題少年、非行少年集団早期発見、早期補導を基本に取り組んでいる。

(1) 実施の状況（平成25年度）

街頭補導回数	従事補導委員延人数	補導した少年延人数
601回	2,810人	80人

(2) 行為別内容（指導・声かけ）（平成25年度）

（単位：人）

区 分	児童生徒	その他	計
飲 酒			
喫 煙	10		10
怠 学 ・ 怠 業			
盛 り 場 徘徊			
夜 遊 び	17	8	25
暴 走 行 為		2	2
ゲ ー ム セ ン タ ー	11		11
無 灯 火 ・ 重 乗 等	10	3	13
そ の 他	18	1	19
計	66	14	80

3 相談活動

国際化、少子化、高齢化、情報化などが進む今日、青少年を取り巻く社会環境も変化し、また、青少年自身の価値観、意識、行動も変容している。

このような社会の中で、保護者をはじめ、学校関係者、地域住民、関係機関等が連携を密にし青少年の健全育成に取り組んでいるが、いじめや非行などが減少しない傾向にある。

この問題解決には、子どもたちの人間性を豊かにし、たくましく生きる力を育成することが必要である。

子どもの非行、いじめなどで悩みをもっている家庭、関係者、青少年自身からも相談を受け、問題の早期解決、予防、生活習慣の改善策等について話し合っ支援をし、必要な場合は関係諸機関に連絡し、相談、助言、指導を行っている。

ア 相談の日 毎週月曜日～金曜日 8:30～17:15（祝日・年末年始の休日を除く）

イ 相談の方法 来所相談・電話相談・招致相談

ウ 平成25年度少年相談の状況

項目	来所相談	電話相談	招致相談	合計
相談件数	4	9	0	13

○相談対象者

学 識	小 学 生	中 学 生	高 校 生	そ の 他	合 計
相談件数	2	7	3	1	13

○相談内容

相談内容	ぐ 犯 ・ 不 良 行 為	触 刑 罰 法 令 に 基 づ いて 行 為 した 者	そ の 他	合 計
相談件数	1	0	12	13

4 関係機関・団体との連絡連携

家庭、学校、警察、大型店、関係機関、団体等との連携により問題少年、非行集団少年等の早期発見、早期補導に努めた。

関係機関や団体が催す青少年健全育成、非行防止等の研修会、連絡会等に積極的に参加し、情報の収集、情報交換等に努めた。

5 青少年善行表彰

青少年の資質の向上を目的に日常生活や行動において善行著しい者について、運営協議会の決定に基づいて学校に出向いて表彰を伝達した。

【善行表彰受賞者（平成25年度）】

中学生 1名 高校生 6名 高等専門学校生 1名

6 青少年健全育成の活動状況

新居浜市では、7月1日～7月31日の「青少年の非行・被害防止全国強調月間」、11月1日～11月30日の「子ども・若者育成支援強調月間」を重点に、青少年健全育成のための活動を展開している。

ア 青少年健全育成に関する啓発資料の作成と配布

広報紙による啓発と未成年者の飲酒・喫煙防止、不健全図書等販売店への協力依頼のためのチラシ配布

イ 青少年健全育成に関する標語

各小・中・高校へ標語を募集し、審査の後、表彰した。

最優秀（3点）、優秀（5点）、佳作（12点）作品は、広報誌に掲載及び強調月間中、ポスターを作成し、小・中・高校、公民館、市役所等に掲示し、啓発に努めた。

〈最優秀作品〉

あいさつの キャッチボールで いいえがお	角野小3年	原 琉斗
思い出せ！ 支えてくれる 人の顔	角野中2年	近 藤 建
いつやめる？ そんなの今しか ないじゃない	南高2年	藤 田 沙耶

〈優秀作品〉

しんせつは やさしいきもちの プレゼント	宮西小1年	藤 田 雄大
それいいの？ 悪い心に ストップかけて	中萩小4年	水 谷 音葉
思いやり いじめをなくす だい1歩	若宮小5年	元 山 侑香
悪の道 最初の一步は 「それくらい」	川東中2年	徳 永 茉依
救いの手 誰かじゃなくて 自分から	南高3年	守 谷 萌花

生涯学習センターの主な施策と実績

1 生涯学習センター事業報告

生涯学習センターでは、従来の社会教育事業を継続するとともに、市民の高度化、多様化した学習ニーズに対応した生涯学習大学を開設し、学習機会の提供の充実を図った。また、生涯学習情報の提供、市民の生涯学習への自主的な参画(生涯学習推進員・大学運営スタッフ)に努めた。

2 生涯学習大学の開設

市民一人ひとりが自主的に参加し、自らの意思で選択し受講できる生涯学習大学を開設している。

(ア) 生涯学習大学講座内容

(平成25年度)

講座名	対象	実施期間	回数	時間数	学級生数(人)		延べ参加者数(人)
					男	女	
日本文学講座	市民	H25. 5.11～H25.10. 5	8	16	29	77	653
松山大学公開講座	市民	H25. 5.18～H25.12. 9	8	16	27	23	244
新居浜高専市民講座	市民	H25. 5.18～H25.11.30	8	16	46	11	351
科学博物館講座	市民	H25. 5.15～H25.11.13	8	16	31	15	273
遍路学事始め	市民	H25. 5.28～H25.10.22	5	10	43	38	341
もっと知りたい新居浜	市民	H25. 5.10～H25.10. 4	5	10	17	10	118
浜の製錬所・島の製錬所	市民	H25. 6.13～H25. 9.12	3	6	47	12	155
発掘 新居浜の先人たち	市民	H25. 5.24～H25.11. 1	4	8	38	23	175
自然探訪	市民	H25. 5.14～H25.11.19	4	8	18	37	160
地域参加で生きがいづくり	市民	H25. 5.31～H25. 9.13	5	10	12	12	88
にいはま若者塾	市民	H25. 8. 1～H25. 8. 9	4	8	15	17	126
高校生講座	市民	H25. 8. 2～H25. 8.28	4	8	5	4	28
法律楽々講座	市民	H25. 5. 7～H25.10. 8	4	8	12	17	99
食が育てる心とからだ	市民	H25. 6. 4～H25.12.13	4	8	3	20	78
安全・安楽な介護	市民	H25. 5.17～H25. 7.19	3	6	2	21	55
創ってみま専科	市民	H25. 9.20～H25.11.29	4	8	1	32	123
暮らしの中の知恵袋	市民	H25. 5.30～H25. 9.19	4	8	0	13	34
旅立ちの準備セミナー	市民	H25. 5.13～H25. 7.22	6	12	14	44	295
新居浜環境講座	市民	H25. 6.15～H25.10.19	4	8	22	6	81
身近な国際交流	市民	H25. 8.31～H25.11.16	4	8	7	12	52
楽しむ韓国	市民	H25. 6.18～H25.10.29	3	6	1	21	57
懐かしの心の唄講座	市民	H25. 6. 5～H25.11.20	8	16	30	155	1,152
漢詩人・菅原道真(前編)	市民	H25. 6. 6～H25.10. 3	6	12	10	10	93
健康アラカルト	市民	H25. 5.23～H25.12.19	8	16	9	54	327
出前講座・こども広場	市民	H25. 7. 3～H25. 8.19	5	10	18	19	185
雑談しま専科	市民	H25. 6. 5～H26. 3. 5	9	18	9	24	199
チケット受講生	市民				延べ(155)	延べ(159)	314
修業のつどい	市民	H26. 1.18	1	3			1,115
計			139	279	466	727	6,971

(イ) 講演会

行事名	実施年月日	事業の内容	参加者数
平成25年度 「修業のつどい」講演会	平成26年1月18日(土)	篠笛演奏家 阿部一成 「新春☆篠笛コンサート」 (文化センター大ホール)	823人

高齢者生きがい創造学園の主な施策と実績

高齢者生きがい創造学園事業報告

おおむね60歳以上の者を対象にして、その生きがいづくりと健康・自立を目指す学習ニーズに応えられるよう講座を開設して、学習機会の提供、各種情報の収集・提供やボランティア活動・サークル活動の促進をした。

(ア) 生きがい創造学園講座内容

(平成25年度)

講座名	実施期間	回数	時間数	学級生数(人)		延べ参加者数(人)
				男	女	
1 高齢者社会を賢く生きる	H25. 6. 4～H25.11.12	8	16	27	41	393
2 郷土を歩く	H25. 5.16～H25.11. 7	6	36	20	23	205
3 男の料理教室	H25. 5. 8～H26. 3. 5	8	24	25	0	151
4 趣味の料理教室	H25. 5.10～H26. 2.14	8	24	3	20	155
5 家庭菜園教室	H25. 5.21～H25.12.17	8	16	23	12	226
6 短歌教室	H25. 5. 8～H26. 2.12	10	20	2	5	56
7 茶道教室	H25. 5.17～H26. 3. 7	16	32	2	7	117
8 書道教室	H25. 5. 8～H26. 2.16	16	32	8	22	383
9 絵手紙教室	H25. 5.14～H26. 3. 4	16	32	6	24	413
10 写真教室	H25. 5. 9～H26. 2.13	9	18	12	8	150
11 陶芸教室	H25. 5.15～H26. 2.19	8	16	8	11	151
12 コーラス教室	H25. 5.13～H26. 3.10	16	32	6	38	569
13 四季の組み木教室	H25. 5. 9～H26. 2.13	10	20	8	6	123
14 ピアノ教室	H25. 5.15～H26. 3. 5	16	32	7	7	173
15 グラウンドゴルフ教室	H25. 5.20～H25.11.11	10	20	15	17	279
16 ラージボール卓球教室	H25. 5.13～H25.11.25	10	20	9	25	284
計		175	390	181	266	3,828

(イ) サークル活動等

【サークル活動】

講座終了者が、グラウンドゴルフサークルをはじめとする53サークルで自主的で幅広い活動をしている。

年間延回数 1,208回 男 9,415人 女 18,442人 計 27,857人

【代表者会】

- 目的 学園の事業に積極的に参加し、その健全な発展を図ることを目的とする。
- 構成 学園の各講座、サークルの受講者の互選により選出された代表者で構成される。
- 組織 総務委員会・広報委員会・体育委員会・図書委員会で構成される。
- 行事 学園祭・グラウンドゴルフ大会・研修会等

学校教育課の主な施策と実績

平成25年度の重点目標を「基礎的・基本的な事項の確実な定着を図り、「生きる力」の基となる、確かな学力と豊かな心、健やかな体の育成を目指し、家庭や地域社会との連携を深めながら、個性を生かす特色ある学校教育の充実に努める。また、安全管理の徹底を図り、健やかな学習環境の整備に努める。」として、前年度の反省を活かし、調和のとれた教育課程の編成と実施に努めた。また、地域に根ざした開かれた学校経営に努めるとともに、創意を生かした特色ある学校づくりを目指し、その改善・充実に努めた。

夢を育む学校づくり

小学校12校、中学校1校が「夢広がる学校づくり推進事業」に取り組み、地域の実情や学校・児童の実態に応じて、各学校の創意工夫を生かし、地域に開かれた特色ある学校づくりを推進した。

平成25年度夢広がる学校づくり推進事業実施状況

学校名	実施テーマ	学校名	実施テーマ
新居浜小学校	伝えよう、広げよう、元気な新小	垣生小学校	「垣生の地域力」を生かした体験的な学びの創造 ～社会連携を生かした実践的な環境教育・防災教育の推進～「いのち」「ぎずな」を育もう！
宮西小学校	人とつながり 未来へはばたく みやにし	多喜浜小学校	郷土の誇り 多喜浜塩田再発掘
金栄小学校	金栄 いきいき つながり プロジェクト ～地域の方々との交流活動を通して～	泉川小学校	地域とともに育つ泉川っ子 ～つなげよう石山先生の教え～
高津小学校	ふるさと発見	船木小学校	児童の心が豊かに育つ環境づくり
浮島小学校	つないでつくろう、元気な浮島！	大生院小学校	伝え合おう つながるために ～人・もの・自然とのかかわりを通して～
惣開小学校	日本のよさを見直そう ～自然との繋がり、人との繋がり～	大生院中学校	感動を共有しよう！ ～伝え合い、学び合いを通して～
若宮小学校	自己を拓き 広げよう ともに 生きる力		

生徒指導

最重要課題として「いじめ・不登校を生まない楽しい学校づくり」を掲げ、校長を中心に全教職員が一致協力し、全力を尽してその防止・解決に努めた。不登校対策検討委員会や関係機関との連携を図り、実態に即した活動を実施した。

昨年度に引き続き本年度も、教育委員会、各学校及び青少年の健全育成団体との連携を図るため、「児童生徒をまもり育てる協議会」を中学校区別に実施した。

各学校と「あすなる教室」との連携を深め、進路相談会や研修会を実施した。

人権・同和教育

校区別人権・同和教育懇談会開催事業として、基礎研修、学級・学年別研修及び地区別懇談会の三本立で実施した。地区別懇談会は、中学校区ごとに運営委員会を開催して取り組み、小・中学校、保護者、行政、地域住民が協力する取組が定着してきた。

国際・情報化

3名のALTと英語指導員(3名)を小・中学校に派遣することにより、生きた英語教育の充実に努めた。また、市内全小・中学校がホームページを開設し、広く情報公開に努めている。

1 教職員研修の推進

研修内容の3本柱として、「特色ある学校づくりの推進と学習指導の充実」「人権・同和教育の充実」「生徒指導の徹底」を挙げ、次のとおり研修に努めた。

(1) 重点目標

豊かな人間性や生きる力の育成

(2) 最重要課題

いじめ・不登校を生まない楽しい学校づくり

(3) 研修の内容

① 特色ある学校づくりの推進と学習指導の充実

ア 基礎的・基本的事項を確実に身につけ、個性を生かす学習指導の充実と評価方法の確立に努める。

イ 児童生徒や地域の実態等を十分に踏まえ、創意工夫を生かした特色ある教育活動を展開する。

ウ 豊かな体験を通して、道徳的実践力の育成と情操教育の充実を図る。

エ 学校図書館や教育機器(コンピュータ等)の活用による指導法の改善に努める。

オ 体験的・問題解決的な学習を重視し、チームティーチングや少人数による授業の実施等、多様な学習指導の工夫に努める。

カ 授業研究、事例研究等の研究を通して、「生きる力」を育てる実践的指導力の向上を図る。

② 人権・同和教育の充実

ア 相互に認め合い、戒め合い、支え合う仲間意識を育て、いじめ等を生まない集団づくりに努める。

イ 家庭・地域・学校の連携をより深め、人権思想の啓発と高揚を図る。

ウ 困難な条件のもとにある児童生徒の教育条件を整備し、学力の向上と進路保障の体制を整える。

エ 差別の現実を正しくとらえ、差別を解消する視点を明確にし、問題解決への実践力を身につける
同和问题学習の推進に努める。

オ 小・中学校の連携を図りながら、教職員一人一人の同和教育観の確立と同和问题解決の力量を高める。

③ 生徒指導の徹底

ア いじめ・不登校・非行の問題について、校長を中心に全教職員が一致協力し、全力を尽くしてその防止・解決に努める。

イ 学習指導と生徒指導の一体化を図り、一人一人のよさを認め、可能性を伸ばすよう指導の改善に努める。

ウ 教職員と児童生徒、保護者との信頼関係を確立し、積極的な生徒指導に努める。

エ 児童生徒や保護者に対する教育相談を充実し、温かい人間関係のなかで、児童生徒理解に努める。

オ 学校と家庭・地域社会・関係諸機関等との連携を密にし、協力体制の一層の充実を図る。

(4) 研修の日程と協議内容

ア 小・中学校長研修会

4月10日 新居浜市教育委員会 平成25年度基本方針の説明
平成25年度 校長研修会計画

11月18日 「人権・同和教育の推進者として、どのようにリーダーシップを発揮すればよいか」
講師 愛媛県教育委員会 人権教育課 教育指導グループ担当係長 小黒裕二氏
演題 同和问题学習をどのように進めるか

2月26日 「学校経営の反省と今後の教育に望むこと」

イ 小・中学校教頭研修会

5月30日 確かな学力の定着と向上を図るため教員の授業力向上のために、教頭としてどのように取り組んでいるか。

8月19日 「いじめや不登校を生まない楽しい学校づくり」のために、教頭としてどのように取り組んでいるか。

ウ 小・中学校教務主任研修会

5月17日「自校の学力向上に関する課題を明確にし、それを解決するための手立に教務主任としてどのように取り組んでいるか」

8月22日「新居浜市標準学力調査結果から自校の課題を明確にし、教務主任としてどのような取組をするか」

エ 小・中学校生徒指導主事研修会（連絡協議会）

4月23日「いじめ・不登校の未然防止のために、各校においてどのような工夫、努力をしようとしているか」

8月23日「いじめの認識と未然防止について」

2月12日「インターネットの安心・安全な利用のために」

オ 交通安全指導担当者研修会

4月17日「小・中学生の交通事故の実態とその対策について」

カ 人権・同和教育主任研修会

4月26日 5月24日 7月29日 8月28日 1月20日 2月18日

平成25年度人権・同和教育の推進について

- ・校区別人権・同和教育懇談会の取組について
- ・地区別人権・同和教育研究協議会の取組について
- ・新居浜市小中学校人権・同和教育研究大会の取組について
- ・人権作文の取組について
- ・共通教材について
- ・小学校での賤称語の取扱について
- ・平成25年度の人権・同和教育の推進の反省と今後の課題について

キ 教科研修会・中学校区別研修会

6月12日(水) 小学校教科研修会において授業研究を行った。

6月25日(火) 中学校教科研修会において授業研究を行った。

2学期 各中学校区別に小中の連携・小小の連携に重点をおき教科外の授業研究を行った。

ク 新居浜市小・中学校人権・同和教育研究大会の開催

平成25年11月21日(木)

小・中学校同日開催とし、小・中の交流を深めた。

【研究主題】「差別の現実から深く学び、同和問題等について正しい認識を深め、全教育活動を通して、人権意識を高め、差別をなくそうとする児童生徒を育てる教育実践はどうあればよいか」

小学校	〔会場〕	A群	金子小学校	
		B群	高津小学校	
		C群	惣開小学校	大生院小学校
		D群	神郷小学校	
中学校	〔会場〕	A群	南中学校	
		B群	北中学校	
		C群	川東中学校	

2 教育研究所の歩み

20期の1年次として、確かな学力を育むための実践とふるさと学習の研究に努めた。基礎・基本の定着を図り、わかる授業の徹底と家庭学習の充実により、学力の向上を図る実践研究とふるさと学習の調査研究を行った。

教育研究所員については、20期において次の体制のもとに実践研究を行った。

- ① 新居浜市学力向上推進委員と研修主任とする。
- ② 原則1年とし再任を妨げない。
- ③ 20期教育研究所の期間は、平成25年4月～28年3月(3年間)とする。
研究成果を、冊子にまとめ、研究成果の共有を図った。

【主な活動】

- 4/11 (木) 第1回 新居浜市学力向上推進委員会
- 5/10 (木) 第1回 新居浜市学力向上推進委員会実践活動部会
- 5/20 (月) 第1回 社会科副読本編集委員会
- 7/31 (水) 第2回 社会科副読本編集委員会
- 12/26 (木) 第3回 社会科副読本編集委員会
- 1/28 (火) 第4回 社会科副読本編集委員会
- 2/28 (金) 第2回 新居浜市学力向上推進委員会

3 適応指導教室(あすなる教室)の歩み

不登校児童・生徒の数が全国的にも、また新居浜市においても増加の傾向にあることから、平成5年9月に青少年センターが旧図書館の一階に移転したのを機会に、同年10月から青少年センター内に「適応指導教室」を設置した。当初は、中学校生徒の受入れのみで始まったが、学校教育課所管になった平成10年度から、児童の受入れも開始した。

〔入級児童・生徒数〕

年 度	人 数 (名)	備 考
平成16年度	12	うち 児童1名
平成17年度	23	うち 児童3名
平成18年度	23	うち 児童0名
平成19年度	34	うち 児童4名
平成20年度	16	うち 児童2名
平成21年度	23	うち 児童4名
平成22年度	20	うち 児童5名
平成23年度	19	うち 児童2名
平成24年度	15	うち 児童2名
平成25年度	19	うち 児童5名

4 教育における国際化への対応

(1) A L T (外国語指導助手)による訪問指導

新居浜市では、総務省・文部科学省及び外務省の協力で行っている「JETプログラム」(語学指導を行う外国青年招致事業)の事業目的に則りA L T (外国語指導助手)として、3名を招致した。

ア 趣 旨

各中学校の英語担当教員及び生徒に、A L Tによる生きた英語に接する機会を提供し、本市の英語教育の充実発展を図り、合わせて国際理解教育推進の一助とする。

イ 訪問期間

平成25年4月(1学期初め)～平成26年3月(3学期末)

ウ 訪問(派遣)方法

訪問日は、月曜日から金曜日までとする。1校への訪問期間は原則として、1週間を単位とし、市内11中学校を2名が順次指導訪問する。また、市内17小学校を1名が順次指導訪問する。

エ AL Tの職務

- (ア) 英語教師の授業補助（ティームティーチング）
- (イ) 英語担当の教員の研修（現職教育）
- (ウ) 英語クラブ等課外活動の指導
- (エ) 教材作成の援助
- (オ) その他、学校長に指示された職務

オ 成果

「AL Tとのふれあいや授業を通して、発音やスピーチ能力が高まり、英語に関心をもつ児童生徒が増えた。」あるいは、「自分の英語力を試そうとする生徒が増え、コミュニケーション能力が育ってきている。」等の学校からの報告がある。このようなAL Tとのティームティーチングによる授業を通して生きた本場の英語を体験させ、学ぶ楽しさと国際理解を深めることができた。

(2) 第24回新居浜市中学生英語スピーチコンテストの開催

英語によるコミュニケーションや表現に興味を持たせ、国際化社会に対応できる生徒を育成することをねらいに、新居浜市中学生英語スピーチコンテストが、市内英語教科会の協力のもとに開催された。

- ア 主催 新居浜市教育委員会 新居浜ライオンズクラブ
- イ 日時 平成25年9月30日(月) 14:00~16:20
- ウ 会場 新居浜市市民文化センター 大ホール
- エ 弁士 10名
- オ 題材 自由(5分以内)

(3) 小学校英語指導員による訪問指導

英語指導員が市内の全小学校を訪問指導し、外国語活動や総合的な学習の時間などを活用して、小学生の英語活動や英会話学習、国際理解教育の指導に当たっている。

5 中学生による国際交流事業

(1) 趣旨

21世紀を担う中学生が国際交流を通して、その国の文化・経済・生活習慣・国民性等を理解して、友好親善の絆を結ぶとともに、国際的視野の拡大を図り、国際感覚を磨き、さらには本市の活性化に通じる諸活動を推進するため、昭和61年度から中高生を中心に海外派遣研修事業を実施している。なお、新居浜市国際交流推進委員会の審議を経て、平成19年度からは中学生海外派遣事業としてアメリカ合衆国フランクリン市へ中学生を派遣することになった。

(2) 実施状況

年度	区分	訪問国(都市)	名称	日程	訪問者
61		中国 (泰安・済南・徳州)	日中友好の翼 ニイハマ訪中団	7/23 ~ 7/31	市長、教育委員、 市議会議員、教師等 11人 中高生 20人
62		東南アジア (シンガポール・バンコク)	東南アジア 友好のかけ橋 '87団	7/23 ~ 7/29	団長(教育長) 教師等 6人 中高生 25人
63		韓国	'88日韓友好団	8/1 ~ 8/8	団長(教育長) 教師等 6人 中高生 30人
元		アメリカ (ロサンゼルス)	太平洋横断 夢の使節 '89団	7/30 ~ 8/8	団長(助役) 教師等 6人 中高生 30人
2		オーストラリア (シドニー・メルボルン)	Hello, Australia 希望とふれあい '90	7/26 ~ 8/3	団長(教育委員長) 教師等 6人 中高生 30人

年度	区分	訪問国(都市)	名 称	日 程	訪 問 者
3		オーストラリア (シドニー・メルボルン)	Friendship with Australians 青春・発見・感動 '91	7/25～8/1	団長(教育委員長) 教師等 8人 中高生 30人
4		オーストラリア (シドニー・メルボルン)	Good day with Aussie '92	7/27～8/3	団長(収入役) 教師等 8人 中高生 30人
5		オーストラリア (シドニー・メルボルン)	A good will mission to Australia '93	7/29～8/5	団長(教育委員長) 教師等 7人 中高生 25人
6		オーストラリア (シドニー・メルボルン)	Jump into the life of Australia '94	7/28～8/4	団長(教育委員長) 教師等 7人 中高生 25人
7		オーストラリア (シドニー・メルボルン)	Let's make wonderful friendships in Australia '95	7/26～8/3	団長(助役) 教師等 6人 中高生 25人
8		オーストラリア (シドニー・キャンベラ)	Let's go to Australia to find the same smiles! '96 — 同じ笑顔を探して —	7/29～8/6	団長(教育委員長) 教師等 7人 中高生 25人
9		オーストラリア (シドニー・キャンベラ)	Making new friends in the land of the Southern Cross — 南十字星の下で 友情を誓って —	7/28～8/5	団長(教育委員長) 教師等 5人 中高生 25人
10		オーストラリア (シドニー・キャンベラ)	Put our Hearts Together into One — 深いきずなをこの一時で —	7/27～8/4	団長(市長) 教師等 6人 中高生 25人
11		オーストラリア (シドニー・キャンベラ)	In Australia, Let's Shine Together! 1999 ☆ — みんな輝いて —	7/26～8/3	団長(教育委員長) 教師等 5人 中高生 25人
12		オーストラリア (シドニー・キャンベラ)	Spread Your Wings. Let's Go To A New Age — 翔け 未来へ —	7/26～8/3	団長(教育委員長) 教師等 5人 中高生 25人
13		オーストラリア (シドニー・キャンベラ)	Building Bridges. Let's Make Borderless Countries. — 国境をこえて… —	7/26～8/3	団長(教育委員) 教師等 5人 中高生 25人
14		韓国(ソウル)	韓国訪問団友好新風	8/21～8/25	団長(教育長) 教師等 6人 中高生 45人
15			中 止		
16		韓国(ソウル)	「日韓友好輝団'04」 — 輝く自分を見つけて —	8/9～8/13	団長(教育委員長) 教師等 6人 中高生 45人
17		韓国(ソウル)	「日韓栄光親善団'05」 — 全ての隔たりを越えて —	8/8～8/12	団長(教育委員長) 教師等 6人 中高生 45人
18		韓国(ソウル)	「日韓新世代交流団'06」 — 未来へ生かすこの時を —	8/1～8/6	団長(中学校長会長) 教師等 6人 中高生 41人

年度	区分	訪問国(都市)	名 称	日 程	訪 問 者
19		アメリカ合衆国 ウィスコンシン州 (フランクリン市)	Dream Chaser 2007 —笑顔は世界の共通語—	10/31～11/9	代表 指導主幹 教師等 2人 中学生 20人
20		アメリカ合衆国 ウィスコンシン州 (フランクリン市)	Let's Make Friends 2008 —国境を越えた仲間づくり—	10/28～11/7	代表 指導主幹 教師等 2人 中学生 20人
21		中 止			
22		アメリカ合衆国 ウィスコンシン州 (フランクリン市)	Friendship Link 2010 —世界はひとつ 友情の輪—	10/30～11/9	代表 指導主幹 教師等 2人 中学生 19人
23		アメリカ合衆国 ウィスコンシン州 (フランクリン市)	Imagine What We Can Do Together —みんな友達—	10/29～11/8	団長 教育長 教師等 2人 中学生 19人
24		アメリカ合衆国 ウィスコンシン州 (フランクリン市)	The Bonds of Friendship Link the World —絆が世界を結ぶ—	10/27～11/6	代表 指導主幹 教師等 2人 中学生 21人
25		アメリカ合衆国 ウィスコンシン州 (フランクリン市)	Friendships Without Borders —国境のない友情—	10/26～11/5	団長 教育委員 指導主幹 教師 中学生 18人

6 奨学金等

(1) 新居浜市入学準備金貸付制度

【貸付け対象及び資格】

高等学校又は高等専門学校に入学しようとする者の保護者で、入学準備金の調達が困難であり、次の各号に該当するもの

ア 本市に住所を有し、引き続き2年以上居住している者

イ 高等学校又は高等専門学校への入学が確実である者の保護者

【基金の額】

350万円

【貸付け金額】

50,000円

【返還方法】

貸付金を貸し付けた月から起算して5月据え置き31月以内に無利子で月賦による返還

【貸付け状況】

(単位：円)

年 度	貸付者(人)	貸 付 額	年 度	貸付者(人)	貸 付 額
16	0	0	21	2	100,000
17	0	0	22	1	50,000
18	0	0	23	1	50,000
19	1	50,000	24	3	150,000
20	1	50,000	25	4	200,000

(2) 新居浜市奨学資金貸付制度

【貸付け対象及び資格】

3年以上本市に在住する者の子弟であって、高等学校、高等専門学校、大学又は専修学校(専門課程)に在学し、その学資の支弁が困難であり、次の各号に該当するもの

- ア 学業が優秀で性行の善良な者
- イ 身体の健康な者
- ウ 他の育英又は奨学等の趣旨による学資の給付又は貸与を受けていない者

【基金の額】

1億3,400万円

【貸付け金額】

- ア 高等学校の生徒 …………… 卒業まで毎月 8,000円
- イ 高等専門学校の学生 …………… 1年から3年まで毎月 10,000円
4年から5年まで毎月 18,000円
- ウ 大学(短期大学を含む。)の学生
又は専修学校(専門課程)の生徒 …… 毎月 26,000円

【返還方法】

卒業後満1年後から15年間以内に無利子で月賦、半年賦又は年賦による返還

【貸付け状況】

(単位：円)

年度	高 等 学 校		高 等 専 門 学 校		大 学		計	
	貸付者(人)	貸付額	貸付者(人)	貸付額	貸付者(人)	貸付額	貸付者(人)	貸付額
16	3	288,000	0	0	24	7,488,000	27	7,776,000
17	1	96,000	0	0	25	7,800,000	26	7,896,000
18	1	96,000	0	0	20	6,240,000	21	6,336,000
19	2	192,000	0	0	17	5,304,000	19	5,496,000
20	1	96,000	0	0	11	3,432,000	12	3,528,000
21	4	384,000	1	216,000	11	3,432,000	16	4,032,000
22	4	384,000	1	120,000	10	3,120,000	15	3,624,000
23	5	480,000	1	120,000	12	3,744,000	18	4,344,000
24	5	480,000	1	216,000	15	4,914,000	21	5,610,000
25	5	480,000	2	336,000	11	3,432,000	18	4,248,000

(3) 新居浜市青野記念奨学資金貸付制度

【貸付け・給付対象及び資格】

3年以上本市に在住する者の子弟であって、新たに大学(修業年限4年以上)へ入学した者で、その学資の支弁が困難であり、次の各号に該当するもの

- ア 学業が優秀で性行が善良な者
- イ 身体の健康な者
- ウ 他の育英又は奨学等の趣旨による学資の給付又は貸与を受けていない者

【基金の額】

7,000万円

【貸付け・給付金額】

4年間を限度として毎月32,000円(うち16,000円は貸付金、16,000円は給付金とする。)

※平成5年度以前決定した者については、毎月20,000円(うち10,000円は貸付金、10,000円は給付金)

【返還方法】

卒業後満1年後から15年間以内に無利子で月賦、半年賦又は年賦による返還

【貸付け・給付状況】

(単位：円)

年度	区分	大 学		備 考
		貸付者(人)	貸付額	
16		3	1,152,000	うち給付金 576,000
17		4	1,536,000	うち給付金 768,000
18		4	1,536,000	うち給付金 768,000
19		4	1,536,000	うち給付金 768,000
20		4	1,536,000	うち給付金 768,000
21		4	1,536,000	うち給付金 768,000
22		4	1,536,000	うち給付金 768,000
23		4	1,536,000	うち給付金 768,000
24		4	1,536,000	うち給付金 768,000
25		4	1,536,000	うち給付金 768,000

(4) 新居浜市特別奨学資金貸付制度

【貸付け・給付対象及び資格】

3年以上本市に在住する者の子弟であって、大学院(修士課程・博士課程)に在学するもの又は海外の大学に在学するもので、次の各号に該当するもの

ア 学業が優秀で中正妥当な性格で特に研究熱心な者

イ 留学生は、高等学校卒業で30歳未満の者

ウ 学資が乏しく修学困難な者

エ 身体が健康な者

オ 他の育英又は奨学等の趣旨による学資の給付又は貸与を受けていない者

【貸付け・給付金額】

修士課程及び留学生は2年間、それ以外は5年間で限度として毎月30,000円(うち20,000円は貸付金、10,000円は給付金とする。)

【返還方法】

卒業後満1年後から10年間以内に無利子で半年賦又は年賦による返還

【貸付け・給付状況】

(単位：円)

年度	区分	大学院・留学生		備 考
		貸付者(人)	貸付額	
16		1	360,000	うち給付金 120,000
17		1	360,000	うち給付金 120,000
18		3	1,080,000	うち給付金 360,000
19		1	360,000	うち給付金 120,000
20		0	0	うち給付金 0
21		2	720,000	うち給付金 240,000
22		3	1,080,000	うち給付金 360,000
23		1	360,000	うち給付金 120,000
24		2	660,000	うち給付金 220,000
25		4	1,320,000	うち給付金 440,000

7 新居浜市寺尾音楽教育振興基金

【設 置】

故 寺尾貞子氏の遺志を継がれた遺族の寄附金により学校音楽教育の振興を図ることを目的として、新居浜市小・中学校音楽教育振興会が行う事業の経費に充てるため、平成元年度に設置した。

【基金の額】

現金 1,000万円

【学校音楽教育振興資金】

学校音楽教育振興資金は、次の各号に掲げる事業を行う新居浜市小・中学校音楽振興会に補助する。

ア 学校音楽教育における教職員の資質向上のための研修事業

イ 特に、学校音楽教育発展に貢献し、その功績が顕著な者の表彰

ウ その他新居浜市小・中学校音楽教育振興会が行う事業で教育委員会が承認する事業

【運用収益の処理】

基金の運用から生ずる収益は、一般会計歳入歳出予算に計上して、学校音楽教育振興資金に充てるものとする。

教職員の研修に関する事業

音楽指導者講習会 平成25年6月30日(土) 市民文化センター

8 新居浜市工藤交通災害遺児修学基金

【設 置】

故 工藤圓治氏の寄附金により、交通災害遺児に対する修学援助を図ることを目的として平成5年度に設置した。

【基金の額】

1,000万円

【修学援助】

交通災害遺児（義務教育就学中の児童及び生徒）に対し、図書券又は文具券を支給

【支給状況】

(単位：人)

年度	小 学 校			中 学 校			計
	対 象 者	図 書 券	文 具 券	対 象 者	図 書 券	文 具 券	
21	3	3	0	7	7	0	10人 30,000円
22	1	1	0	5	4	1	6人 18,000円
23	0	0	0	6	6	0	6人 18,000円
24	1	1	0	4	4	0	5人 15,000円
25	1	1	0	2	2	0	3人 9,000円

9 就学援助制度

【趣 旨】

学校教育法第19条の規定に基づき、経済的理由によって、就学困難と認められる学齢児童又は学齢生徒の保護者に対して必要な援助を行う。

【援助の対象】

新居浜市に住所を有し、小学校又は中学校に在学する児童生徒の保護者で生活保護法第6条第2項に規定する要保護者及び要保護者に準ずる程度に困窮している者

【就学援助の種類】

学校給食費、通学費、修学旅行費、校外活動費(宿泊を伴わないもの)、校外活動費(宿泊を伴うもの)、学用品購入費、新入学児童・生徒学用品費等、通学用品購入費

【就学援助の状況】

(単位：円)

年度	区分	小 学 校		中 学 校		計	
		対象者	援助金	対象者	援助金	対象者	援助金
16		422	23,717,398	207	16,507,050	629	40,224,448
17		476	27,028,561	219	17,453,354	695	44,481,915
18		541	30,263,504	236	20,125,180	777	50,388,684
19		528	29,736,266	272	21,867,494	800	51,603,760
20		550	31,268,587	284	23,944,412	834	55,212,999
21		568	32,112,257	297	23,958,257	865	56,070,514
22		549	32,913,315	320	27,268,325	869	60,181,640
23		552	32,533,592	356	30,983,202	908	63,516,794
24		546	32,731,536	370	32,756,047	916	65,487,583
25		524	31,265,030	324	28,449,877	848	59,714,907

10 幼稚園就園奨励事業

【目的】

幼稚園教育の振興に資するため、国の補助を受け、幼稚園に就園する満3歳児から5歳児の保護者の所得に応じた経済的負担の軽減と公私立幼稚園間の保護者負担の格差是正を図る。

【補助金の交付状況】

区分		年度	19	20	21	22	23	24	25
対象園児 (人)	市立		9	7	5	12	9	6	9
	私立		893	851	852	860	841	901	906
	(計)		902	858	857	872	850	907	915
補助金額 (減免額) (千円)	市立		164	134	98	240	180	120	180
	私立		31,846	29,479	29,795	30,359	30,117	30,902	31,240
	(計)		32,010	29,613	29,893	30,599	30,297	31,022	31,420

【平成25年度所得階層別内訳】

(単位：円)

	所得階層区分	補助(減免)単価 (年額)	対象園児	補助金額 (減免額)
市立	市民税所得割非課税世帯 (生活保護世帯を含む。)	20,000	9	180,000
私立	市民税非課税世帯 (生活保護世帯を含む。)	90,000	41	3,607,500
	市民税所得割非課税世帯	70,000	24	1,563,200
	市民税所得割課税額 (171,600円に「16歳未満の扶養親族 の数×19,800円」及び「16歳以上19 歳未満の扶養親族の数×7,200円」 を加えた額以下)	32,000	841	26,069,900
	計			31,240,600
合 計				31,420,600

11 私学助成

就学前教育の充実を図るため、私立幼稚園の運営に対し助成を行っている。

9園 4,668,696円

12 学校保健

(1) 学校職員・児童生徒の健康診断の拡充

近年、飽食の時代になり成人に多く見られている病気(生活習慣病)が児童生徒にも多く発生している。そこで、検診機会の少ない児童生徒に対し、集団検診を実施することで早期発見・早期治療に努める。また、教職員においても各種検診を実施している。

(2) 学校保健委員会の推進

心身共に健康でたくましく生きる児童生徒の育成に向け、学校・地域社会・家庭との連携を深め、自ら積極的に健康づくりに取り組む。

昭和60年度から市内小・中1校ずつ指定校を置き、学校保健委員会を設立し、学校保健委員会の充実と有効活用に努めている。

(3) 健康・安全教育の推進

児童生徒が健康でなければ楽しい学校生活は送れない。そこで疾病の早期発見・早期治療に努めるとともに、交通安全、学校内の災害発生防止に向け、健康・安全教育を推進している。

(4) 日本スポーツ振興センター災害共済給付制度の加入促進

日本スポーツ振興センター災害共済給付制度へは、原則全員加入している。

体位測定表

(平成25年度)

		人 数	身長 (cm)	体重 (kg)	座高 (cm)	
			平 均	平 均	平 均	
幼 稚 園	4 歳	男	54	104.0	16.9	58.8
		女	60	102.8	16.5	59.1
	5 歳	男	40	110.7	19.5	61.1
		女	47	111.7	19.6	62.9
小 学 生	6 歳	男	526	116.1	21.4	64.6
		女	477	115.5	21.0	64.4
	7 歳	男	527	121.9	23.9	67.3
		女	510	121.1	23.4	67.0
	8 歳	男	534	127.7	27.0	70.0
		女	534	126.9	26.2	69.7
	9 歳	男	596	133.6	30.8	72.4
		女	538	132.9	30.3	72.6
	10 歳	男	559	138.2	33.3	74.5
		女	524	139.7	34.3	75.5
	11 歳	男	606	144.5	38.0	77.7
		女	589	146.2	38.3	78.8
中 学 生	12 歳	男	583	151.3	43.0	80.3
		女	560	151.3	43.5	81.6
	13 歳	男	604	159.5	48.9	84.7
		女	558	154.3	47.0	83.4
	14 歳	男	601	164.5	53.3	87.4
		女	550	156.0	49.9	84.5

歯科検診成績

(平成25年度)

区 分	検 査 人 員	む し 歯		その他歯・口腔疾患異常者数
		処置完了者	未処置ある者	
幼 稚 園	190 人	15 人	63 人	0 人
小 学 校	6,483	1,726	2,078	536
中 学 校	3,375	1,391	795	389
計	10,048	3,132	2,936	925

脊柱側弯症検診

(平成25年度)

区 分	検 査 人 員	一次検診異常者数
小 学 校	1,068 人	21 人
中 学 校	1,121	39
計	2,189	60

- 検査対象者は小学校5年生、中学校1年生全員
モアレ写真撮影による（一次検診）

血液検査結果

(平成25年度)

区 分	検 査 人 員	一次検診異常者数	二次検診異常者数
小 学 校	1,285 人	443 人	58 人
中 学 校	1,254	401	39
計	2,539	844	97

- 検査対象者は小学校4年生、中学校1年生全員
(小学校5・6年生、中学校2年生で昨年異常だった者の再検査を含む。)

13 学校体育活動の推進

学校体育団体育成と体育行事の充実推進

学校体育の推進を図る新居浜市小学校体育連盟及び新居浜市中学校体育連盟においては、充実した事業計画のもとに的確な運営を行い、多くの実績をあげた。

【新居浜市小学校体育連盟】

体育活動を通しての児童の健全育成については、新居浜市水泳記録会・新居浜市陸上記録会・親善球技大会を中心として実施した。記録会においては、多くの児童が自己記録を更新するための継続した練習を行い、能力及び体力の向上に大きく貢献した。また、親善球技大会では、サッカーの技能を高めるとともに、スポーツの楽しさや学級のチームワークを育成することにも大きく役立った。

【新居浜市中学校体育連盟】

各部各種目ともに活発な推進活動が行われ全体的に成果が上がっている。

公式大会として市長旗・杯争奪新居浜市中学校選手権大会・新居浜市中学校総合体育大会・新居浜市中学校新人体育大会を開催し、活動及び指導内容が向上し対外的にも力を発揮している。中学校駅伝大会においては、県駅伝が国領川河川敷コースで開催され、女子の部で優勝した東中学校女子が通算10度目の全国大会に出場し、3年連続の入賞となる7位入賞を果たした。

行事実績

新居浜市小学校体育連盟

小学校教職員ソフトボール大会	5/12	河川敷ソフトボール場	150 人
小学校教職員バレーボール大会	6/15	市民体育館他	250 人
小学校体育実技講習会	6/3・8/19・11/15	山根公園屋内プール他	100 人
小学校水泳記録会	7/23	垣生小・中萩小	430 人
小学校陸上記録会	10/28	河川敷陸上競技場	350 人
小学校親善球技大会	2/5	各小学校（会場）	600 人

新居浜市中学校体育連盟

市長旗・杯争奪中学校選手権大会	4/20・27・28・29	市営野球場他	1,400 人
中学校教職員ソフトボール大会	6/22 雨天中止		
中学校総合体育大会	6/4・5・8	市営野球場他	2,000 人
中学校新人体育大会	10/1・2	市営野球場他	2,000 人
中学校駅伝競走大会	11/3	河川敷陸上競技場周辺	400 人

14 人権・同和教育実践の状況

(1) 新居浜市小学校人権・同和教育研究大会

ア 期 日 平成25年11月21日(木)
 イ 会 場 A群 金子小学校 B群 高津小学校
 C群 惣開小学校 大生院小学校 D群 神郷小学校

ウ 研究主題

差別の現実から深く学び、同和問題等について正しい認識を深め、全教育活動をとおして、人権意識を高め、差別をなくそうとする児童生徒を育てる教育実践はどうあればよいか。

エ 研究授業

群	会 場	分科会	教科等	題 材 名	
A	金子小学校	低	1年	道徳	友達っていいな 「くりのみ」
		中	4年	道徳	人を大切にする心 「ぼくは『鼻毛』じゃない」
		高	6年	社会	世界に歩み出した日本
B	高津小学校	低	2年	道徳	みんな なかま 「にじいろのさかな ししまをたすける」
		中	3年	道徳	よりよい仲間に 「となりの席」
		高	5年	学級活動	こんなときわたしは…
C	惣開小学校	低	2年	道徳	相手の気持ちを考えよう 「ひいばあちゃんの目」
		中	3年	道徳	正しい心をもって 「心ない言葉」
	大生院小学校	高	6年	道徳	人としての生き方をみつめ、自分自身を振り返ろう 「山の粥」
D	神郷小学校	低	1年	道徳	自分の仕事 「ぼくのしごと」
		中	3年	道徳	正しいことは勇気を出して 「たった一言」
		高	5年	道徳	正しいと信じることを貫こう 「コスモスの花 一勇気を出して、心の声をー」

(2) 新居浜市中学校人権・同和教育研究大会

ア 期 日 平成25年11月21日(木)
 イ 会 場 A群 南中学校 B群 北中学校 C群 川東中学校

ウ 研究主題

差別の現実から深く学び、同和問題等について正しい認識を深め、全教育活動をとおして、人権意識を高め、差別をなくそうとする児童生徒を育てる教育実践はどうあればよいか。

エ 研究授業

群	会 場	分科会	教科等	題 材 名
A	南中学校	1年	道徳	渋染一揆
		2年	道徳	解放令 ～五万日の日のべ～
		3年	道徳	峠
B	北中学校	1年	道徳	未来の虹 ～ぼくのおじさんはハンセン病～
		2年	学級活動	私たちにできること
		3年	道徳	娘からの手紙 ～遺書が私たちに問いかけるもの～
C	川東中学校	1年	道徳	人の値うち
		2年	道徳	三月三日の風
		3年	道徳	遺書が私たちに問いかけるもの

発達支援課の主な施策と実績

地域における発達支援の中核的機関として設立した「こども発達支援センター」を中心に、総合相談、臨床心理士等による幼稚園、保育所、小、中学校への巡回相談や発達検査の継続実施、個別の支援計画の作成運用など関連施設や機関とのネットワークの強化を図りながら発達支援の諸事業を展開した。関係諸機関を包括した新居浜市地域発達支援協議会において、発達支援システムや今後の新居浜市の地域療育について検討を進めた。また、個別療育、小集団療育、構音訓練、個別SST等を内容とする早期療育通園事業の運営を実施し、心身の発達に課題のある未就学児に日常生活における基本的動作及び集団生活への適応訓練等の指導・療育を行い、早期療育体制の充実強化に取り組んだ。さらに、発達障がい等の特性の理解や効果的な支援のあり方に関する連続講座や発達障がい支援者のための実践セミナー、発達支援教育ハンドブック作成等により、関係職員の専門性、実践力の向上や発達障がい等の理解啓発を図った。

1 学校特別支援教育支援員の配置

障がいや発達課題のある児童が在籍する小・中学校において、生活や学習上の困難を有する児童生徒に対し、生活上の介助や学習指導上の支援を行うために学校特別支援教育支援員を配置し、児童生徒や教員を支援することにより、特別な教育的支援を必要としている児童生徒の学習効果を高め、学校生活へのよりよい適応を図った。

種 別	目 的	人数	配 置 学 校
特別支援学級等指導員	特別支援学級等において、学級運営上特別な教育的支援が必要な状況が発生したり、生徒指導上困難な状況が続いたりするなど学級運営に支障がある学級に特別支援学級指導員を配置し、児童生徒や教員を支援することにより、学級の運営を円滑にすることを目的とする。	小学校 (4人)	浮島
生活介助員	重度の障がいがある児童生徒、市立幼稚園児が市内の学校・市立幼稚園に在籍し、学校の指導体制の現状では、安全確保や学級運営に重大な困難がある場合、生活介助員を配置し、園児、児童生徒に必要な介助を実施することにより学校生活を円滑にすることを目的とする。	幼稚園 (5人)	神郷・王子
		小学校 (60人)	新居浜・宮西・金子・金栄・高津・浮島・惣開・垣生・神郷・多喜浜・泉川・船木・中萩・大生院・角野
		中学校 (24人)	東・西・南・北・泉川・中萩
学校支援員	発達障がい等のある児童が在籍する通常学級において、生活や学習上の困難を有する児童に対し、生活上の介助や学習指導上の支援を行うために学校支援員を配置し、児童や教員(担任)を支援することにより、特別な教育的支援を必要としている児童の学習効果を高め、学校生活へのよりよい適応を図ることを目的とする。	小学校 (14人)	新居浜・宮西・金子・金栄・高津・惣開・若宮・垣生・神郷・多喜浜・泉川・船木・中萩・大生院・角野

2 就学指導委員会の開催状況

児童等の心身の障がい並びに発達課題の種類及び程度に応じ必要な調査及び検討を行い、教育上特別な配慮を要する幼児、児童及び生徒について適正な就学指導を行った。

開催回数	判断依頼数
5回	233件

3 校区外自閉症・情緒障がい学級通学費補助

通学区域外の自閉症・情緒障がい学級に通学する児童生徒にその通学費の一部を補助することで、特別支援教育を推進するとともに保護者の負担軽減を図った。

対象児童生徒数	8人
---------	----

4 新居浜市地域発達支援協議会の開催状況

地域発達支援協議会では、地域療育の施策や考え方、発達支援システムの構築、サポートマップ新居浜や特別支援教育ハンドブックの編集に向けての取り組みなど今後の新居浜市の発達支援の諸課題について検討を進めた。

開催日	協議内容
7月16日	平成24年度の発達支援課の主な施策と実績について 特別支援教育ハンドブックの編集について
10月8日	学校教育法施行令の一部を改正する政令について 発達支援事業について 発達支援施策の取り組み状況について
2月14日	(仮称)新居浜市就学支援委員会について 平成26年度事業について

5 総合相談の実施状況

障がいや発達課題のある子どもの育児や発達、就学について保護者の方々が抱えている不安や疑問について相談にのり、適切な支援へつなげていった。また、必要に応じて、学校や園や医療機関と調整を行うなど関係機関との連携を図った。

実施件数(延)	相談内容
幼児 件数 364件	子ども理解、障がい、発達障がい、就学相談、入園相談、不適応、登園しぶり SF新規作成(46件)及び引継ぎ(保育園・幼稚園へ9件・小学校へ41件)
小学生 件数 634件	障がい、発達障がい、不登校、その他(担任不信、いじめ等) SF新規作成(17件)及び引継ぎ(中学校へ22件)
中学生 件数 381件	いじめ、障がい、発達障がい、進路相談、不適応 SF新規作成(3件)及び引継ぎ(高校へ9件)
高校生 件数 99件	適応相談、進路相談、障がいの理解と支援、ソーシャルスキル SFの見直し
成人 件数 28件	人間関係、ソーシャルスキル

6 巡回相談の実施状況

保育所、幼稚園、小学校、中学校、高等学校における障がいや発達課題のある子どもの早期発見、発見後の具体的支援方策の協議、相談を通しての現場の教職員のスキルアップ、保護者や関係機関との情報の共有、信頼関係の構築が図られた。

実施件数と内訳	相談内容
保育所：140件 ・ 5歳児 28件 ・ 4歳児 35件 ・ 3歳児 46件 ・ 2歳児 24件 ・ 0～1歳児 7件	<ul style="list-style-type: none"> ・ 落ち着きがない ・ こだわりが強い ・ 気持ちのコントロールができない ・ 集団行動がとりにくい ・ 他児とのかかわりがうまくいかない ・ 言葉の遅れ
幼稚園：19件 ・ 5歳児 5件 ・ 4歳児 10件 ・ 3歳児 3件 ・ 2歳児 1件	<ul style="list-style-type: none"> ・ 人への関心が薄い ・ 全体的な発達の遅れがある ・ 切り替えしにくい ・ 指示が伝わりにくい ・ かんしゃくを起こす
小学校：193件 ・ 1年生 41件 ・ 2年生 47件 ・ 3年生 37件 ・ 4年生 34件 ・ 5年生 31件 ・ 6年生 3件	<ul style="list-style-type: none"> ・ 学習面の遅れ ・ 集団行動が苦手 ・ こだわりが強い ・ 話がきけない ・ 指示理解ができにくい ・ 集中力が続かない ・ 衝動性がある ・ 多動である
中学校：2件 ・ 1年生 1件 ・ 2年生 1件	<ul style="list-style-type: none"> ・ こだわりがある ・ 対人関係をうまく築けない

7 早期療育通園事業(親子通園事業)の実施状況

心身に障がいのある未就学児及び心身の発達に課題のある未就学児に対して、日常生活における基本的動作及び集団生活への適応訓練等の相談、指導、療育等を行うことによりその発達を支援し、かつ助長するとともに、その保護者に対して家庭における養育上の諸問題についての相談指導を行った。

(1) 事業の概要

教室名	教室実施曜日	登録者数	主な療育内容
ことばの教室	水・木・金	119人	構音訓練、個別療育、個別SST
育ちの教室	水・木・金	41人	小集団療育、集団SST

(2) 事業実施状況

(延利用人数)

	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
ことばの教室	117	129	143	102	123	131	134	82	190	178	66
育ちの教室	61	76	71	62	67	67	110	74	117	96	59

8 講演会等の開催状況

講演会や連続講座の開催を通して、障がいや発達課題のある子どもの特性理解や実態把握の方法、具体的な支援の在り方の理解を深め、専門性と実践力を高めることができた。また、発達障がいや特別支援教育に関する地域社会の理解の向上を図った。

(1) 第1回 特別支援教育研修会

- 日 時 平成25年6月29日(土) 9:30～15:30
- 場 所 新居浜市立別子銅山記念図書館ホール
- 目 的 発達障がいについて理解を深めるとともに、支援を必要とする幼児の気づき、適切な支援へつながることができるようにする。
- 参加者 72名(幼稚園教諭・保育士・関係機関職員)
- 内 容 演題「幼児の困り感に寄り添う支援について ～よりよい支援を目指して」
講師 千葉大学教育学部教授 富田 久枝 先生
- ◇講演1◇ 発達障がい概論・気づき・アセスメント
 - ・保育カウンセリングの意義と基本姿勢、2つのアプローチ(援助的・治療的アプローチ、教育的・開発的アプローチ)
 - ・保護者との信頼関係の構築(閉ざされた質問、開かれた質問を有効的に使う)
 - ・気になる子どもの特性理解及び支援(モニタリング、遠城寺式・乳幼児分析的発達検査表を用いての評価、園内委員会の充実)
- ◇講演2◇ 事例から学ぶ支援の実際
 - ・事例を通してアセスメント、具体的な支援について討議
 - 事例1：落ち着きがなく、突発的な行動が多い幼児への支援
 - 事例2：学習面や運動面の苦手さがある幼児への支援
 - 事例3：自己統制力やコミュニケーション力の弱さのある幼児への支援
 - ・富田先生による指導、助言

(2) 発達支援スキルアップ連続講座(前期)

- 日 時 平成25年8月21日(水)・22日(木) 10:00～15:00
- 場 所 新居浜市立別子銅山記念図書館ホール
- 目 的 発達障がいのある子どもを支援する者が、的確な実態把握の方法や、背景にある機序、具体的な支援の在り方の理解を深め、その専門性と実践力を高める。
- 参加者 1日目 93名(教職員・幼稚園教諭・保育士・関係機関職員)
2日目 82名(教職員・幼稚園教諭・保育士・関係機関職員)
- 内 容 1日目 演題「特性理解と支援vol.1」
～発達障がい概論、子どもの発達の捉え方等について～
2日目 演題「特性理解と支援vol.2」
～生涯を通じての教育、事例を通して具体的な支援を学ぶ～
- 講 師 愛媛大学教育学部准教授 吉松 靖文 先生

(3) 発達支援スキルアップ連続講座(後期)

- 日 時 平成25年12月26日(木)・27日(金) 10:00～15:00
- 場 所 新居浜市文化振興会館 3階第5研修室
- 目 的 発達障がいのある子どもを支援する者が、的確な実態把握の方法や、背景にある機序、具体的な支援の在り方の理解を深め、その専門性と実践力を高める。
- 参加者 1日目 91名(教職員・幼稚園教諭・保育士・関係機関職員)
2日目 93名(教職員・幼稚園教諭・保育士・関係機関職員)

- 内 容 1日目 演題「発達支援の基本 ～愛着形成と認知発達を促す子育て支援～」
幼児期を中心に
- 2日目 演題「ユニバーサルデザインの授業 ～授業構成と教材研究～」
学齢期を中心に

○講 師 特別支援教育士スーパーバイザー 渡部 徹 先生

(4) 学校教育支援員等研修会

- 日 時 平成25年8月19日(月) 9:30～16:00
- 場 所 新居浜市総合福祉センター 2階多目的アリーナ
- 目 的 新居浜市の学校教育支援員等(学校生活介助員、指導員、学校支援員)が、実践的な支援の在り方について理解を深め、適切に幼児・児童・生徒を支援することができる機会とする。
- 参加者 94名(学校生活介助員・浮島小学校指導員・学校支援員)
- 内 容 「すべては子どもたちのために」——正しい障がい理解と適切なかわり——
- 講 師 プール学院大学 講師(教育学修士) 松久 眞美 先生

9 発達障がい支援者のための実践セミナー

- 日 時 平成25年7月26日(金) 9:30～17:00 27日(土)・28日(日) 9:00～17:00
- 場 所 新居浜市こども発達支援センター
- 目 的
 - ・自閉症の本質的な障がい特性について理解する。
 - ・自閉症支援における理念と方法を学ぶ。
 - ・OJTによる学習(講義と実践との組み合わせ)
- トレーナー及びスタッフ
 - 桑原綾子・黒川久美・山崎琴恵……(特非) ライフサポートここはうす
 - 明智美香・伊丹貴子……………(特非) ゆいねっと新居浜
 - 井原佳代…………… 社会福祉法人澄心
 - 矢野志穂……………(特非) 今人倶楽部
 - 佐々木未来…………… 愛媛県発達障害者支援センター
 - 上田智子…………… 社会福祉法人平成会
 - 協力児3名
- 受講者 15名

10 ソーシャルスキル支援事業

- 日 時 年9回 日曜日 (13:30～15:30)
- 場 所 新居浜市総合福祉センター
- 目 的 主に発達障がいの児童生徒を対象に他者との良好な関係を形成し、それを維持していくための知識やスキルを身につけるための指導を行い、社会性や対人関係能力等の向上を図る。
- 講 師 愛媛大学教育学部特別支援教育講座准教授 荻田 知則 研究室
にはまローズ
- 参加者 87名(延)

11 聴覚障がい児相談事業

- 日 時 月1回 (10:00～15:00)
- 場 所 新居浜市こども発達支援センター
- 目 的 聴覚の障がいや聞こえや言葉の獲得に課題のある子どもたちが、より豊かに自尊心を持って自立した生活ができることを目指す。
- 内 容 聴覚の発達の相談・聴覚の発達に必要な指導療育(手話等)に関すること
保護者への支援及び通所機関への助言と支援
- 相談員 愛媛県立松山聾学校教諭 河村 義和
- 相談件数 39名(延)

12 特別支援教育就学奨励費

【目的】

市町村が特別支援学級に就学する児童又は生徒の保護者の経済的負担を軽減するため、その負担能力の程度に応じ、特別支援学級への就学のため必要な援助をし、もって特別支援教育の振興に資することを目的としている。

【対象】

市内の小学校及び中学校の特別支援学級に就学する児童又は生徒の保護者

【就学奨励の種類】

学校給食費、通学費、職場実習交通費、交流及び共同学習交通費、修学旅行費、校外活動参加費(宿泊なし)、校外活動参加費(宿泊あり)、学用品・通学用品購入費、新入学児童生徒学用品・通学用品購入費等

【就学奨励の状況】

年度	区分	小 学 校		中 学 校		計	
		対象者	奨励金	対象者	奨励金	対象者	奨励金
16		36	1,080,939	8	335,512	44	1,416,451
17		37	1,113,729	11	457,135	48	1,570,864
18		40	1,085,946	12	502,556	52	1,588,502
19		38	1,059,076	17	529,097	55	1,588,173
20		37	1,075,878	15	601,833	52	1,677,711
21		37	1,019,641	21	766,194	58	1,785,835
22		50	1,533,286	16	526,473	66	2,059,759
23		51	1,346,323	19	659,141	70	2,005,464
24		58	1,634,988	25	990,264	83	2,625,252
25		67	1,876,018	27	973,808	94	2,849,826

学校給食課の主な施策と実績

1 学校給食の意義

- (1) 児童生徒に栄養のバランスのとれた食事を提供することにより児童生徒の健康の増進、体位の向上を図り、又、これらを通して日常における正しい食習慣を身につける。
- (2) 事前の準備、後片づけを通して児童生徒は大きな生活体験を持ち、共同生活の基本的態度を身につける。
- (3) 食事を共にすることにより、教師と児童生徒、児童生徒相互の心のふれ合いの場を作り、好ましい人間関係の育成を図る。

2 学校給食の運営等

各調理場の施設・設備の修繕、改善、更新等を適宜に行うとともに、安全で新鮮な物資の納入に努めた。また、学校給食会理事会、学校栄養職員会及び各専門部会を開催し、円滑な学校給食の運営を図った。

学校給食センター及び高津共同調理場を対象とした共同調理場運営委員会を開催し、共同調理場の円滑な運営を図った。

3 学校給食の充実等

地元の食材を使った郷土料理などの実施やより身近に実感を持って地域の産業、文化等の理解を深めることのできる地元農産物等の利用に努めた。

中学校給食の喫食率は、平成25年度92%と前年度に比べ2ポイント向上した。

4 主な主催行事

- (1) 新居浜市学校給食研究大会
平成25年6月28日(金) 於) 高津小学校
- (2) 調理部会、栄養士会合同部会
平成25年7月26日(金) 於) 学校給食センター
- (3) 学校給食研修会
平成25年7月26日(金) 於) 女性総合センター
〔内容〕・新居浜労働基準監督署「労働災害の具体的防止策について」
- (4) 新規給食献立調理実習試食会
平成25年8月13日(火) 於) 泉川公民館
- (5) 教育委員会調理場訪問衛生研修会
平成25年11月11日(日) 於) 宮西小学校
12月3日(火) 於) 新居浜小学校
平成26年1月20日(月) 於) 若宮小学校
1月23日(木) 於) 惣開小学校
- (6) 学校給食会各専門部会研究発表会
平成26年2月17日(月) 於) 学校給食センター

5 給食の状況

(1) 実施状況

(平成25年度)

区 分	完 全 給 食		給 食 未 実 施		備 考
小 学 校	17 校	6,518 人	校	人	大島小学校廃校
中 学 校	10	3,457	1	5	別子中学校休校 ひびき分校未実施
計	27	9,975	1	5	

(ひびき分校は児童自立支援施設につき別途実施)

(2) 一食当たり単価 (完全給食)

(単位：円)

区 分	平成2年～	平成6年～	平成21年9月～
小 学 校	200	220	240
中 学 校	220	260	280

スポーツ文化課の主な施策と実績

1 市民体育・スポーツの振興

- (1) 新居浜市における生涯スポーツの両輪ともいえる新居浜市体育協会(競技スポーツ)と新居浜市連合体育振興会(社会体育)との連携と協力体制の確立に努め、市民体育の振興を図ってきた。各々の団体においても、組織の充実を図るとともに、連携・協力することによって、社会体育の一大事業である「第44回市民体育祭」を成功させることができた。
- (2) 新居浜市の少年スポーツ指導者ならびに新居浜市教育委員会が委嘱している新居浜市スポーツ推進委員及び地区体育振興会に配置している新居浜市校区スポーツ普及員に対して、講習会・研修会を実施し、各指導者の資質・指導力の向上と後継者の発掘に努め、社会体育指導者制度の確立と充実を図った。また、各指導者団体独自の研修会を開催し、資質の向上に努めた。
- (3) 重点目標にもある「生涯スポーツ」の普及振興のため、「新居浜市スポーツ推進計画」を策定し、各種目競技大会及び地区における、スポーツ・レクリエーション行事の開催のための企画・プログラムの提供や、運営・指導の促進のための資料提供と広報活動に努めた。
- (4) 少年期のスポーツ活動の推進のため、研修会の開催による指導者の資質の向上を図り、スポーツ大会の開催による競技力の向上に努めた。また、愛媛国体等に向けて高校運動部活動への支援など各種スポーツの競技力の向上を図った。
- (5) 新居浜市(愛媛県・四国四県)の代表として、各種目競技の全国大会等へ選手派遣のために、出場選手派遣費の一部補助を行い、全国的に「新居浜」の名を残すことのできるように努めた。

2 市民体育振興事業

4/7	市民歩け歩け大会	山根市民グラウンド	150名
6/2	クロッケー大会	山根市民グラウンド	69名
6/16	ターゲットバードゴルフ大会	国領川緑地	30名
6/30	スマイルボーリング・シャフルボード大会	山根総合体育館	104名
9/19~12/15	市民体育祭	各会場	5,898名

3 競技力向上事業

4/28	第42回近県ソフトテニス新居浜大会	市民テニスコート他	190名
5/12	第33回全国招待少年剣道大会	市民体育館	3,000名
7/21~9/16	少年スポーツ大会	各会場	862名
11/3	市内駅伝競走大会	東雲競技場発着	35チーム
3/8~9	第23回近県招待中学生ソフトテニス大会	市民テニスコート他	延420名
年間	各種目競技大会(各種目協会)		

4 講習会・研修会事業

少年スポーツ指導者研修会

4/4、6/6、6/18、7/4・16 延8回 延579名

体づくり指導者講習会

4/24、5/10、6/26、7/17、8/7、10/23 6回 延386名

5 野外活動施設整備と運営

ハイキングコース等の維持管理

新居浜市指定のハイキングコース及び登山道については、登山者が安全に登山できるよう維持管理を行った。

6 芸術文化活動

地域の芸術文化の水準向上と、すそ野の拡大を課題とし、市民の自由な芸術・文化活動の促進を図るため新居浜文化協会を中心にして春の市民文化祭、秋の芸術祭、市美術展を開催するなど、地域住民が積極的に各種の芸術文化活動に参加し、創作や表現の喜びを味わえる機会の拡大を図った。

また、市内の小中学生に学校施設において優れた芸術に触れる機会を提供する「学校出前コンサート」、「芸術文化出前講座」を行った。

さらに、合併10周年記念として、NHK公開収録「みんなDE どーもくん！」を実施した。

7 文化財の保存活用

郷土に残された優れた文化遺産に対する正しい理解と認識を深め、その保存活用を図るための調査、文化財めぐり等を実施した。

- ・市指定天然記念物「アッケシソウ」保存保護事業補助
- ・文化財めぐりの実施 41名 西予市卯之町の町並み、西予市野村シルク博物館、宇和米博物館

8 体育文化施設の充実

体育文化施設の充実を図るために武徳殿、河川敷テニスコート、市民文化センター等の改修を行った。また、(公財)新居浜市文化体育振興事業団及び別子校区連合自治会を指定管理者とし、体育文化施設の管理運営や文化及び体育に関する事業を行うことによって、施設の利用促進や効率的な管理運営を図り、体育文化の振興に努めた。

9 総合文化施設建設計画

総合文化施設建設資金の確保

平成26年3月31日現在の文化振興基金積立金額 1,518,840,492円

10 総合体育施設建設計画

体育施設建設資金の確保

平成26年3月31日現在の体育施設建設基金積立金額 692,451,361円

11 総合型地域スポーツクラブ設立

平成20年6月8日に金子地域文化スポーツクラブを設立し、活動を行っている。

また、船木校区においても平成26年2月23日に総合型地域スポーツクラブを設立した。

12 (公財)新居浜市文化体育振興事業団

新居浜市の文化及び体育施設の管理運営を受託するとともに、文化及び体育に関する事業を行なうことによって、施設の利用促進及び効率的な管理運営を図り、もって文化及び体育の振興に寄与することを目的に、昭和61年8月1日に設立され、平成18年4月からは各施設の指定管理者となっている。平成26年1月6日、公益財団法人に認可された。

所在地 繁本町8番65号

T E L 33-2180

組織 理事9人 監事2人 評議員9人

事業内容 (1) 文化体育施設の指定管理

市民文化センター、市民・山根総合・多喜浜体育館、市営野球場、山根市民グラウンド、市民・山根公園テニスコート、東雲市民・山根公園屋内プール、武徳殿、弓道場、重量挙げ練習場、東雲競技場、市営サッカー場、銅山の里自然の家、文化振興会館、女性総合センター

(2) 文化事業の企画及び実施に関すること

健康食の料理教室、演劇鑑賞教室、市民茶会、市民音楽祭、美術実技講習会、外

(3) 体育事業の企画及び実施に関すること

綱引き大会、市民クロッケー大会、市民軽スポーツ大会、小学生バレーボール講習会、
外

13 銅山の里自然の家利用状況

月	年度	平成21年度	平成22年度	平成23年度	平成24年度	平成25年度
4		81人	52人	69人	54人	155人
5		449	708	372	320	306
6		191	153	177	154	42
7		759	464	641	0	350
8		955	1,092	1,240	334	1,255
9		165	138	299	194	17
10		160	138	217	331	41
11		331	109	62	24	54
12		0	0	0	0	0
1		0	0	0	0	0
2		0	0	0	0	0
3		18	22	12	20	12
合計(延人数)		3,109	2,876	3,089	1,431	2,232

使用料納付者のみの利用者数であり、短時間の見学的利用者は含まない。

利用者の平均形態 1泊2日

14 体育施設・文化施設年度別利用状況

施設名	年度	平成23年度	平成24年度	平成25年度
市民体育館		86,727人	84,312人	93,206人
山根総合体育館		53,673	56,877	56,399
多喜浜体育館		18,519	19,886	19,726
東雲市民プール		51,515	52,338	54,040
山根公園屋内プール		25,756	26,581	22,873
別子山市民プール		276	232	183
市営野球場		14,290	14,550	16,858
武徳殿		27,030	30,300	28,000
弓道場		4,400	4,620	4,460
重量拳練習場		9,700	10,100	10,300
文化振興会館		22,462	20,411	21,662
山根市民グラウンド		84,255	64,352	81,724
別子山市民グラウンド		0	127	305
市民テニスコート		35,909	43,797	52,117
山根公園テニスコート		57,179	53,314	49,832
東雲競技場		44,232	28,873	23,261
市営サッカー場		34,476	29,721	30,994
合計		570,399	540,391	565,940

施設名 項目		平成23年度		平成24年度		平成25年度	
		回数	利用者数	回数	利用者数	回数	利用者数
市民文化センター	大ホール	327	100,080人	300	80,292人	324	76,185人
	中ホール	314	50,018	320	47,898	271	38,399
	別館会議室等	3,604	105,300	3,555	100,945	2,281	59,462
小計		4,245	255,398	4,175	229,135	2,876	174,046
ふるさと館			2,422		2,532		2,860
合計		4,245	257,820	4,175	231,667	2,876	176,906

15 平成25年度 体育施設等月別利用状況

施設名 月	市民体育館	東雲市民プール	市民テニスコート	山根公園テニスコート	山根公園屋内プール	山根市民グラウンド	山根総合体育館	市営野球場	東雲競技場
4	7,785	0	5,157	4,716	1,764	4,407	4,901	1,207	1,762
5	11,717	0	6,634	5,054	2,164	6,809	5,458	4,202	2,195
6	8,469	4,663	4,745	4,314	3,368	3,524	5,224	2,101	1,862
7	7,262	26,380	5,315	4,550	3,971	5,275	4,770	1,808	1,430
8	6,803	22,997	4,369	5,020	4,289	3,505	4,009	2,134	1,612
9	7,665	0	3,464	3,673	2,729	5,007	4,231	1,284	1,774
10	8,316	0	3,069	3,213	2,272	36,326	5,613	1,080	2,410
11	7,680	0	3,899	4,171	1,670	3,652	4,828	1,645	2,511
12	6,986	0	3,820	3,690	646	3,309	4,129	550	919
1	6,480	0	4,243	3,649	0	2,939	4,459	70	1,969
2	6,807	0	2,937	3,056	0	2,820	4,145	67	3,269
3	7,236	0	4,465	4,726	0	4,151	4,632	710	1,548
小計	93,206	54,040	52,117	49,832	22,873	81,724	56,399	16,858	23,261

(山根市民グラウンドは、公式大会参加者のみ)

武徳殿	弓道場	重量挙 練習場	銅山の里 自然の家	市 営 サッカー場	多喜浜 体育館	別子山市民 グラウンド	別子山市 民プール	文 化 振興会館	計
2,700	450	800	155	0	1,575	0	0	2,169	39,548
2,800	350	800	306	0	1,440	0	0	1,039	50,968
2,300	350	800	42	3,475	1,739	0	0	1,728	48,704
2,200	350	900	350	2,570	2,120	280	25	2,937	72,493
2,200	360	900	1,255	5,533	1,609	25	158	839	67,617
2,200	360	900	17	4,943	1,801	0	0	1,842	41,890
2,400	500	900	41	3,637	1,497	0	0	2,145	73,419
2,300	320	900	54	2,753	1,876	0	0	2,213	40,472
2,500	360	900	0	3,350	1,301	0	0	2,065	34,525
2,300	330	900	0	3,549	1,446	0	0	1,217	33,551
2,000	330	800	0	984	1,493	0	0	1,573	30,281
2,100	400	800	12	200	1,829	0	0	1,895	34,704
28,000	4,460	10,300	2,232	30,994	19,726	305	183	21,662	568,172

16 平成25年度 月別利用状況（市民文化センター）

施設名 月	大ホール	大・ロビー	中ホール	大会議室	中会議室	小会議室	和室
4	5,508	0	5,157	1,378	3,138	523	30
	(22)	(0)	(28)	(22)	(131)	(61)	(6)
5	4,662	0	3,515	1,443	3,835	688	155
	(27)	(0)	(31)	(21)	(146)	(72)	(16)
6	6,454	0	4,748	1,445	3,943	695	155
	(24)	(0)	(28)	(17)	(144)	(72)	(14)
7	7,205	0	5,780	1,725	4,381	525	63
	(31)	(0)	(33)	(23)	(155)	(58)	(12)
8	8,438	0	4,753	1,491	3,918	626	221
	(36)	(0)	(37)	(25)	(164)	(69)	(26)
9	6,574	500	1,713	1,290	1,331	331	40
	(28)	(1)	(18)	(18)	(61)	(35)	(10)
10	5,054	0	1,100	15	215	55	35
	(32)	(0)	(10)	(2)	(12)	(7)	(6)
11	13,096	0	1,480	580	623	90	63
	(37)	(0)	(12)	(9)	(29)	(9)	(14)
12	4,448	0	2,384	475	755	151	5
	(22)	(0)	(17)	(8)	(41)	(19)	(4)
1	5,680	0	450	438	795	225	5
	(23)	(0)	(7)	(6)	(45)	(23)	(2)
2	5,646	0	2,368	720	855	188	47
	(21)	(0)	(23)	(10)	(48)	(22)	(12)
3	3,920	0	4,951	1,135	2,203	459	50
	(20)	(0)	(27)	(15)	(83)	(49)	(8)
累計	75,685	500	38,399	12,135	25,992	4,556	869
	(323)	(1)	(271)	(176)	(1,059)	(496)	(130)

上段：人数
下段：回数

視聴覚教室	料理教室	茶華教室	展示室	プラネタリウム	ふるさと館	月 計	累 計
940	20	146	295	0	291	17,426	17,426
(13)	(1)	(7)	(16)	(0)		307	
1,695	156	188	321	0	339	16,997	34,423
(22)	(7)	(8)	(18)	(0)		368	
1,750	103	293	197	391	191	20,365	54,788
(25)	(5)	(10)	(13)	(19)		371	
1,315	89	251	247	222	251	22,054	76,842
(19)	(8)	(11)	(15)	(19)		384	
1,176	306	305	406	118	344	22,102	98,944
(21)	(17)	(15)	(21)	(19)		450	
1,018	15	15	15	0	211	13,053	111,997
(16)	(1)	(1)	(1)	(0)		190	
300	0	0	0	0	242	7,016	119,013
(6)	(0)	(0)	(0)	(0)		75	
550	0	0	0	0	421	16,903	135,916
(10)	(0)	(0)	(0)	(0)		120	
675	0	0	0	0	180	9,073	144,989
(10)	(0)	(0)	(0)	(0)		121	
600	0	0	0	0	118	8,311	153,300
(7)	(0)	(0)	(0)	(0)		113	
492	0	0	0	0	91	10,407	163,707
(9)	(0)	(0)	(0)	(0)		145	
1,055	85	46	114	0	181	13,199	176,906
(14)	(5)	(3)	(8)	(0)		232	
11,566	774	1,244	1,595	731	2,860	176,906	176,906
(172)	(44)	(55)	(92)	(57)		2,876	

郷土美術館の主な施策と実績

1 展示内容と開設教室

(1) 常設展示

新居浜の地質、出土品、むかしの暮らし、日本のおもちゃ、太鼓台等の展示

(2) 企画展

〈特別企画展〉	野分のあと 白岡順写真展	9月 6日(金)～ 9月29日(日)	2,575人
〈企画展〉	文化教室成果発表会	3月13日(木)～ 3月23日(日)	714人

(3) 主催展

● 第46回にはま春の市民文化祭(美術の部)前期	4月13日(土)～ 4月18日(木)	974人
● 第46回にはま春の市民文化祭(美術の部)後期	4月20日(土)～ 4月25日(木)	1,379人
● 第63回新居浜市美術展覧会(市展)前期	10月24日(水)～ 10月29日(火)	1,279人
● 第63回新居浜市美術展覧会(市展)後期	10月31日(木)～ 11月 5日(火)	1,750人
● 第33回新居浜こども美術展	2月 5日(水)～ 2月14日(金)	2,621人
● 平成25年度新居浜市小中学校ふるさと学習奨励賞作品展	2月28日(金)～ 3月 7日(金)	99人

(4) 共催展

● 第12回楽描会展	5月15日(水)～ 5月19日(日)	571人
● 第22回新居浜南高等学校美術・書道展	7月26日(金)～ 7月28日(日)	221人
● 第62回秋季県展新居浜移動展	11月 8日(金)～ 11月17日(日)	5,203人
● 第27回高齢者「趣味の作品展」	12月 4日(水)～ 12月 6日(金)	266人
● 第41回えひめこども美術展	2月15日(土)～ 2月20日(木)	585人

(5) 一般展

● 趣味の二人展	5月 8日(金)～ 5月12日(日)	1,107人
● 創立45周年記念 水墨白樺会展	5月22日(水)～ 5月26日(日)	1,015人
● 第67回同美会展	5月29日(水)～ 6月 2日(日)	365人
● 第23回方墨会水墨画展	6月 5日(水)～ 6月 9日(日)	377人
● サンシャイン写真展	6月11日(火)～ 6月16日(日)	584人
● 第55回グループどんぐり絵画展	6月18日(火)～ 6月23日(日)	678人
● 第7回書楽会合同展	6月26日(水)～ 6月30日(日)	298人
● パッチワーク作品展	7月 3日(水)～ 7月 7日(日)	566人
● 新世紀会油絵展	7月12日(金)～ 7月21日(日)	1,306人
● アメリカンハンドキルト展	8月 6日(火)～ 8月11日(日)	703人
● 別子銅山そして本市に係る先人展	8月18日(日)～ 8月25日(日)	447人
● 平成25年度住友化学愛媛社友会作品展	8月28日(水)～ 9月 1日(日)	963人
● 第38回みなづき会写真展	10月 1日(火)～ 10月 6日(日)	860人
● 秋の現美展	11月27日(水)～ 12月 1日(日)	411人
● サンシャイン写真展	12月10日(火)～ 12月15日(日)	569人
● 高齢者生きがい創造学園 書道サークル合同展	12月18日(水)～ 12月22日(日)	454人
● いつかどこかのあの風の色 片平和夫油彩展	1月22日(水)～ 1月26日(日)	412人
● シルバー会員作品展	1月29日(水)～ 2月 2日(日)	554人
● 墨萩会・遊墨会 合同水墨画展	2月23日(土)～ 2月28日(金)	519人
● 第22回書神会新居浜支部書道展	3月 6日(木)～ 3月 9日(日)	413人
● アートクラブ院絵画教室作品展	3月26日(水)～ 3月30日(日)	351人

(5) 年度別・月別入館者数

月別 \ 年度別	平成20年度	平成21年度	平成22年度	平成23年度	平成24年度	平成25年度
4 月	2,840 人	2,719 人	2,663 人	3,381 人	3,481 人	3,071 人
5 月	1,606	1,733	2,237	2,240	2,104	3,650
6 月	2,891	3,042	1,993	2,770	4,228	2,711
7 月	1,828	2,351	2,346	1,907	3,749	2,765
8 月	4,284	2,100	5,192	2,562	13,483	2,730
9 月	1,610	1,387	2,262	2,821	5,025	3,055
10 月	3,543	3,517	2,894	3,918	4,641	3,279
11 月	7,784	7,452	7,999	8,127	9,053	7,870
12 月	1,171	2,193	2,066	6,113	1,945	1,621
1 月	3,951	3,780	3,945	2,368	3,026	981
2 月	2,968	6,570	1,931	3,858	3,217	3,417
3 月	1,421	1,872	1,911	2,667	2,512	1,017
計	35,897	38,716	37,439	42,732	56,464	36,167

2 文化教室

書道教室 (漢字部門)	4月1日～3月31日	月2回	年24回	講師：越 智 秀 園
書道教室 (かな部門)	”	”	”	講師：神 野 俊 山
水墨画教室	”	”	”	講師：西 山 悦 兆
銅アート教室	”	”	”	講師：井 上 文 子
自然写真教室	”	”	”	講師：北 添 伸 夫
自然散歩の集い	5月12日	年1回		講師：田 尾 邦 雄
夏休み親子野外教室	7月28日	年1回		講師：新居浜市小中学校 理科同好会

広瀬歴史記念館の主な施策と実績

1 展示内容等

(1) 展示館の内容

広瀬宰平の一生を、テーマごとに映像や実物資料、パネルを用いて紹介する。別子銅山の経営維持に奔走し、採鉱・精錬・陸運の近代化を推進するなど、わが国の殖産興業に尽力した宰平の姿をみることができる。

(2) 旧広瀬邸(国指定重要文化財)の内容

母屋は明治10年建築、明治20年に現在地に移築、新座敷と庭園は明治22年に建築・造園された。伝統的な日本建築様式を持ちながらも、開国により西洋から輸入されたマントルピース、洋式便器、板ガラス、避雷針といった新しい文化が取り入れられており、そのふたつが見事に調和している。

2 資料の収集状況

広瀬家所蔵品、古文書など約3,740点（平成3年5月7日現調）

3 平成25年度事業実績

(1) 特別企画展

① 特別企画展「別子銅山の近代化と端出場水力発電所」

と き 平成25年11月1日(金)～12月1日(日)

② 記念講演会「別子銅山の近代化を支えた端出場水力発電所」

と き 平成25年11月23日(土)

講 師 末岡照啓（住友史料館副館長・新居浜市広瀬歴史記念館特別顧問）

参加人数 130名

(2) 第7回 台所喫茶店

と き 平成25年11月23日(土)・24日(日)

4 平成25年度月別観覧者内訳

年 月	開館 日数	観 覧 人 数						
		一 般				小 計 ①	中学生以下 ②	人 数 (①+②)
		個 人	個人減額	団 体	免 除			
平成25年 4月	26	333	28	40	2	403	61	464
5月	27	354	22	58	378	812	307	1,119
6月	26	217	7	95	41	360	25	385
7月	25	186	4	63	5	258	57	315
8月	27	214	17	0	24	255	155	410
9月	23	205	5	80	25	315	27	342
10月	26	240	17	103	152	512	240	752
11月	26	327	48	132	965	1,472	286	1,758
12月	23	180	16	0	272	468	35	503
平成26年 1月	23	157	5	24	11	197	200	397
2月	23	115	7	25	0	147	25	172
3月	25	259	15	166	18	458	76	534
計	300	2,787	191	786	1,893	5,657	1,494	7,151

図書館の主な施策と実績

1 図書館の利用状況

(1) 貸出図書

(25.4.1～26.3.31)

ア 本館

開館日数 268日

分類 区分	0 総記	1 哲学	2 歴史	3 社会	4 自然	5 工学	6 産業	7 芸術	8 語学	9 文学	C 紙芝居	E 絵本	その他	雑誌	計
貸出 冊数	5,985	11,794	24,854	22,515	32,129	51,567	11,194	49,669	4,110	190,103	5,958	93,427	195	28,745	532,245

イ 移動図書館

運行日数 145日

分類 区分	0 総記	1 哲学	2 歴史	3 社会	4 自然	5 工学	6 産業	7 芸術	8 語学	9 文学	C 紙芝居	E 絵本	その他	雑誌	計
貸出 冊数	704	979	2,402	754	2,972	3,578	633	7,048	401	17,942	470	10,605	0	285	48,773

ウ 角野分館

開館日数 220日

分類 区分	0 総記	1 哲学	2 歴史	3 社会	4 自然	5 工学	6 産業	7 芸術	8 語学	9 文学	C 紙芝居	E 絵本	その他	雑誌	計
貸出 冊数	656	1,121	2,717	1,595	3,656	4,565	812	4,454	450	21,058	441	10,515	8	2,672	54,720

エ 合計

分類 区分	0 総記	1 哲学	2 歴史	3 社会	4 自然	5 工学	6 産業	7 芸術	8 語学	9 文学	C 紙芝居	E 絵本	その他	雑誌	計
貸出 冊数	7,345	13,894	29,973	24,864	38,757	59,710	12,639	61,171	4,961	229,103	6,869	114,547	203	31,702	635,738

オ AV資料

	館内	館外	計
C T		2	2
V T	876	1,604	2,480
C D	0	12,062	12,062
DVD	1,565	14,348	15,913
L D	0		0
計	2,441	28,016	30,457

(2) 登録者数

(26.3.31現在)

区分	児童 (小学生以下)	一般 (中学生以上)	団体	計
登録者	9,600	42,630	245	52,475

(3) 団体貸出

市内の幼稚園、学校、福祉施設、読書会等に貸出をしている。

貸出冊数 100冊以内、貸出期間は 4 週間。

平成25年度貸出冊数 25,879冊

(4) 心身障害者に対する図書貸出

市内に在住する心身障害者（身体障害者の場合は 1 級～ 3 級の手帳を有する者）が、貸出希望を申し出た場合、郵送による貸出及び連絡車による配送を実施している。（郵送に要する費用は図書館が負担している。）

貸出冊数 5 冊以内、貸出期間は30日間。

(5) 開架図書冊数

(26. 3. 31現在)

館別	区分	一 般	児 童	計
本 館		116,209	37,921	154,130
移 動 図 書 館		3,327	7,976	11,303
角 野 分 館		8,608	9,011	17,619
計		128,144	54,908	183,052

(6) リクエスト

(25. 4. 1～26. 3. 31)

館別	区分	窓 口	館内OPAC	Web OPAC	携帯OPAC	合 計
本 館		6,420	1,468	8,973	135	16,996
移 動 図 書 館		919				919
角 野 分 館		1,460	59			1,519
合 計		8,799	1,527	8,973	135	19,434

(7) 相互貸借

予約された資料などが自館で手に入らない場合、他館から借用することがある。

(国立国会図書館総合目録ネットワークに参加)

(25. 4. 1～26. 3. 31)

借 受		貸 出	
県内図書館	県外図書館	県内図書館	県外図書館
221	74	160	12

2 主な事業

(1) 学校図書館支援推進事業

学校図書館を子どもたちが自主的に利用し、調べ物や読書が活発に行えるよう支援することを目的に、平成20年度から学校図書館支援員 4 人を市立図書館に配置し、学校図書館に派遣。平成25年度 2 名増員。小学校を中心に継続的な環境整備、読書指導、計画的な学校図書館活用指導、教職員と連携しながら授業や調べ学習における資料や情報の提供に取り組んでいる。

(2) 移動図書館運営事業

平成21年 4 月より小学校 6 校へ昼休みに移動図書館「青い鳥号」を乗り入れ開始。それにともない、ステーション停車時間の見直しを行い、6 ステーション追加。（うち小学校 13 校、中学校 2 校）市内 33 ステーションを運行。

(3) 地域活性化支援・行政支援

ビジネスや住民活動に関する新刊図書、関係機関からの配布資料等を集めた「地域活性化支援(ビジネス支援)コーナー」を設置。図書館入り口に行政の事業等をパネル展示し、関連資料の展示や図書リストの配布等により市民に情報提供。

「市民活動推進課消費者センター消費者月間ロビー展」等 計6回

(4) 健康支援

市民の多様な健康情報へのニーズにこたえていくため、医療機関と連携して健康講座を行い、所蔵する健康関係の図書リストを作成し、配布。(健康支援図書コーナーを設置)

「女性のためのメンタルヘルス」 平成25年8月1日(木)

「乳がん検診してますか？」 平成25年10月10日(木)

(5) 雑誌スポンサーの募集開始

平成24年7月1日より開始

「雑誌スポンサー制度」とは、雑誌そのものを寄贈してもらうのではなく、雑誌の購入代金を負担してもらう制度。雑誌は、図書館の中でも回転率の高い資料で、多くの人が毎日利用しているので、高い広告価値がある。(雑誌203タイトル中18タイトル)

(6) 夏休みは図書館へいこう！

第1弾「夏休み子ども探検隊&不思議なおもちゃに挑戦！」

平成25年7月25日(木)

図書館子ども探検隊・不思議なおもちゃ製作 10:00~12:00

書庫等の見学、本が書架にならぶまでのしくみや便利な図書館サービスの紹介。

不思議なおもちゃ作り(鶏コッコ、ガリガリ風車、ブンブン蝉)

講師 新居浜高専ものづくり教育支援センター 辻、伊藤、塩見先生

参加者(子ども25名 保護者22名)

第2弾「夏休み体験！子ども一日図書館員」

平成25年8月2日(金)

体験一日図書館員 13:00~16:30

図書館見学・図書館窓口体験、図鑑講座、オリジナルクイズづくり

参加者(小学生4~6年生19名 保護者4名)

第3弾「夏の夜のちょっと怖いお話会と夜の図書館探検」

平成25年8月9日(金)

子どもと大人対象の怖いお話と語り、図書館内できもだめし 19:15~20:30

参加者(子ども70名 大人55名)

(7) 別子銅山に関する本の解説講座「別子銅山を読む」

別子銅山に関する本の解説講座「別子銅山を読む」を継続開講。

第1回「鈴木馬左也」 平成25年5月18日(土) 参加者(大人52名)

第2回「歓喜の鉱山」 平成25年7月20日(土) 参加者(大人56名)

第3回「明治の別子」 平成25年9月7日(土) 参加者(大人64名)

特別講義(1)「旧泉寿亭とその周辺の話」

平成25年10月5日(土) 参加者(大人37名)

第4回「鉱山絵葉書から見た産業史に関する考察」

平成25年11月16日(土) 参加者(大人47名)

第5回「住友回想記」

平成25年11月30日(土) 参加者(大人30名)

- (8) 「パパ's 鈴木プロジェクト☆マジカル全国ツアー 2013 in 新居浜」
 安藤哲也さん、田中尚人さん、西村直人さんによる絵本ライブ
 平成25年8月30日(金)
 角野公民館 14:30～15:30
 参加者(子ども115名 保護者14名)
 平成25年8月31日(土)
 【午前の部】絵本ライブ(未就学児と保護者) 10:00～11:30 参加者(子ども98名 大人66名)
 【午後の部】絵本ライブ(小学生以上) 13:00～14:30 参加者(子ども52名 大人43名)
- (9) 図書館まつり
 平成25年11月23日(土) 9:00～16:00
 日頃、図書館を支えてくださっている市民の皆さんに感謝し、楽しんでもらうため開催
 総参加数約717名
 「ブックリサイクル」 9:00～
 図書館での役割を終えた本や雑誌、市民からの寄贈本(重複及び図書館において資料的価値のないもの)約4,330冊を市民に無償で提供した。
 参加者(来場者約621人)
 「図書館見学」 13:00～13:30
 図書館の概要、書庫、郷土資料室等施設の見学
 参加者(大人6名)
 歴史講演会「金子一族と天正の陣」 14:00～15:30
 西条市在住歴史小説家 菅靖臣先生を講師に招き歴史講演会を開催。新居浜にまつわる歴史という話で多くの参加があった。会場内には雑誌「月刊インタビュー」にて連載中の「天正の陣」の挿絵原画(はさみ切り絵作家 塩崎剛さん)の作品も展示した。
 参加者(大人90名)
- (10) ブックスタート事業
 毎月第1・2火曜日、保健センターの5か月児健康相談(対象1,063名)において司書が説明の言葉を添えて絵本等の入ったブックスタートバックを手渡す。 1,021名 配布率96%
- (11) 出前講座
 学校、高齢者福祉施設等へ出かけ「お話し会」を行い、本やお話に親しんでもらったり、図書館のPRも行った。
 学校図書館支援員、協力(ボランティア)回転木馬 計16回
 参加者(子ども792名、大人167名)
- (12) おはなし会
 本館 毎月第1木曜日(乳幼児0～3歳対象)
 毎月第2・4水曜日(幼児対象)
 毎月第3土曜日水曜日(小学生対象)
 角野分館 毎月第1・3水曜日(幼児対象)
 「紙芝居、絵本の読みきかせ、パネルシアター、エプロンシアター、ストーリーテリング」等を行った。
 協力(ボランティア)回転木馬、民話の里すみの
 参加者(子ども1,166名、大人752名)

新居浜市の教育

平成26年度版

平成26年7月発行

編集
発行 新居浜市教育委員会

〒792-8585

新居浜市一宮町一丁目5番1号

TEL (0897) 65-1300

FAX (0897) 65-1306
